

立法事項
ノ範圍及
其制限

オヤ彼ノ不便ヲ藉口シテ暫ラク論理ヲ枉ケンカ如キハ吾カ國ニ於テ全然無
用ノ心配タリ唯々近來吾カ國立法ノ職ニ在ル者慮ラス頻ニ法律ヲ濫發シテ
憲法特ニ用意セル命令ノ發動スル餘地ヲ奪ヒ去ラントス其ノ極憲法ノ主旨
沒シ法律ノ委任ヲ許スニ非サレハ漸ク實際ノ不便ヲ醸サントスルモノアリ
テ法律ノ委任又實際ニ行ハレタリ其ノ故ラニ斯クノ如キヲ致スモノ唯々悲
シムヘント爲ス學者ハ之レカ爲メニ強テ之レヲ辯護スルノ責任ヲ感セサル
ナリ要スルニ歐羅巴ニ於テ委任命令ノ說ハ法律ヲ以テ國家最高ノ法則ト爲
シ之レヲ以テスレハ何事ヲモ爲スコトヲ得ヘントスルノ思想ヲ根本トス我
カ憲法ハ憲法ヲ以テ最高トス法律ヲ以テ憲法ノ規定ニ反スルコトヲ許サス
固ヨリ法律ヲ以テ命令ニ委任シ直接ニ憲法ノ規定ニ反スルコトヲ得スト爲
ス所以ナリ委任ノ名ヲ以テスルモ命令ヲ以テ憲法上法律ヲ以テ定ムルコト
ヲ要件トシタル事項ヲ定ムルコトヲ得サルナリ
憲法上ノ立法事項ハ必ス法律ヲ以テ定ムヘキコトヲ要ストスル事項タルノ
ミ法律ヲ以テ定ムルコトヲ得ルトコロハ之レニ限ルニ非ス此ノ事項ノ外ニ

法律ヲ以
テ憲法ヲ
廢止變更
スルコト
ヲ得ス

法律ヲ以
テ皇室典
範ヲ廢止
變更スル
コトヲ得
ス

憲法上ノ

於テ廣キ活動ノ範圍ヲ有セリ天皇ハ此レヲ法律ノ形式ヲ以テ定メントスル
時ハ之レニ依ルコトヲ得ルコト云フヲ埃タス然レトモ法律ヲ以テ最高ナル
國家ノ意思ト爲シ法律ヲ以テスレハ何事ヲモ定ムルコトヲ得ヘシ法律ハ萬
能ナリ法律ノ範圍ハ廣クシテ及ハサルナントスルハ少クモ帝國憲法ノ主旨
ニ非ス帝國憲法ハ憲法法典ヲ以テ國家最高ノ法ト爲スコト前ニ詳述セリ憲
法法典ハ特殊ノ意義ヲ有シ一般普通ノ法律ト區別セラル憲法法典ノ改正ハ
特ニ其ノ手續ヲ定ムルコト極メテ鄭重ナリ法律制定ノ手續ト是ヲ異ニシ法
律ヲ以テ廢止變更スルコトヲ得サル固定ノ憲法法典タリ素ヨリ之レヲ法律
ヲ以テ廢止變更スルコトヲ得ス法律ノ定ムルコトヲ得ル範圍ノ第一ノ制限
タリ
次ニ皇室典範ハ特殊ノ形式ヲ有スル國法タリ其ノ改正ハ帝國議會ノ議ヲ經
ルヲ要セス天皇ノ特ニ定ムル方法ニ依テ勅定スルトコロタリ法律ヲ以テ之
レヲ變更スルコトヲ得ス

憲法ハ又一定ノ政務ヲ掲ケテ此ノ如キ政務ハ天皇之レヲ親裁シテ定ムルコ

大權事項
ハ法律ヲ
以テ之ヲ
定ムルコ
トヲ得ス

三六四

トヲ要スト爲ス前ニ之レヲ説ケリ此ノ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ憲法カ
天皇ノ親裁攝行スルコトヲ要件トスルコロナリ親裁ヲ要件トスト云フハ
議會ノ協賛ヲ容ルルコトヲ排斥スト云フニ由ル故ニ憲法上ノ大權ニ屬スル
事項ハ必ス天皇親裁スルトコロノ命令ヲ以テ定メサルヘカラス之レヲ法律
ヲ以テ定ムルハ憲法ノ違反タリ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ハ立法ノ干涉ヲ
排斥ス之レヲ或ハ憲法上ノ立法事項ハ法律ヲ以テ命令ニ委任シテ行フヲ妨
ケスト云フカ如ク大權ヲ以テ法律ニ委任スルヲ妨ケスト爲ス者アリ其ノ全
然不可ナルハ前ニモ説ケリ

國法ヲ制
定スル第
一ノ形式
ノ手續

法律ヲ制定スルハ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ以テ必要ナル手續トス憲法ハ法
律ヲ制定スル手續ヲ定メ如何ナル方法ニテ法律案カ提出セラルルカ議會ハ
如何ニシテ其ノ協賛ノ議決ヲ爲スヤ天皇ノ立法權ノ行使ハ如何ナル行爲ニ
形ハルルカラ定メ其ノ順序ヲ明カニシテ此ノ形式ヲ踐ムニ非サレハ法律ヲ
制定スルコト能ハス此ノ手續ニ依リテ法律ノ成立スルコトヲ定メタリ今憲
法ノ定ムルトコロノ天皇カ立法權ヲ行フノ手續ヲ順ヲ追フテ説明スヘシ

法律案提
出ノ意義

第一 法律案ノ提出

法律案ノ提出トハ帝國議會ノ議決ニ附センカ爲メニ法律案ヲ帝國議會ニ
提出スルコトヲ云フ帝國議會ニ向テ法律案ヲ提出スルコトヲ得ル者ハ政
府及ヒ貴族院衆議院ノ三者トス法律案ノ提出トハ草案ノ起草ニ非ス政府
及ヒ兩院ヨリ之レヲ議會ノ議決ニ附スルカ爲メニ提出スルコトヲ云フナ
リサレハ貴族院及ヒ衆議院ノ議員タル者カ法律ノ草案ヲ起草シ之レヲ其
屬スル院ニ差出シテ其議ニ附スルハ法律案ノ提出ニ非ス其院之レヲ可決
シ法律案トシテ他ノ院ニ廻附スルヲ提出ト爲ス

法律案提
出ノ權能

政府及ヒ兩院ノ法律案ヲ提出スル權能ニハ何等ノ差等ヲ設クルコトナシ
國ニ依リテハ或ハ或ル種類ノ法律案ハ例ヘハ上院ニ提出ノ權ナシトスル
者アリト雖モ我カ憲法ハ之レ等ノ制限ヲ設クルコトナシ豫算ハ唯タ政府
ノ提出スルトコロタリト雖モ豫算ハ素ヨリ法律ニ非サルナリ

法律案ノ
提出ニ方
法及制限
アル乎

政府カ法律案ヲ提出スルハ貴族院ヲ先キニスルモ衆議院ヲ先キニスルモ
可ナリ何等ノ制限アルコトナシ諸國憲法或ハ豫算ト同シク財政ニ關スル

同一法律案ハ同時提出スルコトヲ得ルコトナラズ

法律案ハ之レヲ先ツ衆議院ニ提出スヘシトスルモノアリト雖モ我カ憲法ノ探ルトコロニ非ス何レヲ先キニスルモ政府ノ隨意トスルトコロタリ又同一ノ法律案ヲ同時ニ兩院ニ提出スルモ亦憲法ノ禁スルトコロニ非ス或ハ斯クノ如キハ極メテ不便ナル結果ヲ生スルコトアリト爲シテ之レヲ非トスル者アリ若シ同一法律案ヲ同時ニ兩院ニ提出スルトキハ一院カ之レヲ否決シタル場合ニ之レニ拘ハラズ他院ハ尙ホ之レヲ討議スルノ結果ヲ來シ憲法第三十九條ニ兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得スト爲スノ主旨ニ反スルニ至ルヘシト爲ス然レトモ法律案ハ一院之レヲ否決スレハ當然消滅スルコトヲ性質トス一院之レヲ否決シタルニ他院之レヲ討議スルト雖モ無意義タリサレハ此ノ場合ニ一院カ之レヲ否決シタルトキハ他院ハ當然之レヲ知ルト共ニ其ノ討議ヲ止メサルヘカラス止メスト雖モ止メタルニ同シ法律案當然ノ性質タリサレハ同一ノ法律案ヲ同時ニ兩院ニ提出スルコトヲ許スト雖モ說者ノ云フカ如キ結果ヲ生スルコトアルナシ唯々此ノ如キハ或ハ立法論トシテ

法律案再議ノ禁

一議員ノ提出スル法律案ノ再提出スルコトヲ得ルコトナラズ

ハ希フヘカラサルトコロタラン然リト雖モ憲法ニ之レヲ禁セサル限リハ之レヲ不可ナリトスヘキ理由ト爲スコト能ハス或ハ議院法第五十三條ニ政府ノ法律案ヲ提出スルハ兩議院ノ何レヲ先キニスルモ便宜ニ依ルトアルヲ以テ必ス何レカ一ヲ擇テ先キニセサルヘカラサルノ意ナリト爲ス者アリト雖モ本條ハ唯々法律案ニ關シ兩院ノ一ニ先議權ヲ與フル豫算ノ如クナラス又諸國憲法ニ或ハ存スル財政ニ關スル法律案ノ如キ特例ヲ設クルコトナキヲ特ニ明カニシタルニ止リ同一法律案ヲ同時ニ兩院ニ提出スルヲ禁スルノ主旨ヲ示シタルモノト爲スコトヲ得ス

兩議院ノ一ニ於テ否決シタル法律案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス議院ノ議決ヲ尊重スル所以ナリ若シ再議ヲ許サハ百弊之レヨリ生スルコトアラン議院ノ議決ヲ尊重シテ苟モスルノ嫌ナカラシメ一事ニ拘ハリテ相争フコトナカラシメントスルニ出ツ然レトモ此主旨ヲ十分ニ達セントスレハ兩院ニ屬スル一議員カ法律案ノ提出ヲ發議シ否決セラレタルトキハ未タ法律案ノ提出アリタルモノニ非サルコト前述セルカ如シト

雖モ之レヲ再ヒ提出シテ再ヒ討議スルコトヲ禁セサルヘカラサルニ似タ
リ然レトモ憲法ハ之レヲ禁スルコトナシ唯タ再ヒ提出スルコトヲ許ササ
ルノミ一議員ノ決議ノ否決ハ法律案ノ否決ニ非ス法律案ハ未タ提出セラ
レサルナリ更ニ之レヲ提出討議スルヲ妨ケス

兩議院
通過シタ
ル未裁可
ナリ法律案
出スルコト
トナシ得ル
乎

兩議院ヲ可決通過シタル法律案ノ未タ裁可ヲ經サルモノハ再ヒ之レヲ提
出スルコトヲ得ルカ前案未タ消滅セサルニ同一法律案アルコトヲ得ス再
ヒ之レヲ提出スルコトヲ得サルハ事理ノ當然ナリ蓋シ天皇ノ法律案ヲ裁
可スルハ全然天皇ノ自由ナルトコロナリ之レヲ裁可スルトセサルト何時
ニ之レヲ裁可スルト凡テ天皇ノ欲スルトコロニ依ル法律案ハ裁可ニ供ス
ルノミ裁可ヲ要求スル者ニ非ス天皇若シ之レヲ嘉納スレハ以テ裁可ス嘉
納セサレハ裁可セサルノミ不裁可ヲ發表スルコトヲ要セス後ニ裁可ノ議
決ニ對スル關係ヲ述フルトコロニ依テ明カナリサレハ法律案ハ天皇ノ裁
可アル迄消滅スルモノニ非ス又憲法ハ裁可ノ時期ヲ定ムルコトナシ天皇
ハ何時ニテモ裁可スルコトヲ得ヘク隨テ法律案ノ消滅スヘキ期限アルコ
トナシ裁可ナキ法律案ヲ再ヒ提出スルコトヲ得サルハ云フヲ埃タサルト
コロタリ

法律案ハ
天皇ノ裁
可アル迄
消滅セス

トナシ裁可ナキ法律案ヲ再ヒ提出スルコトヲ得サルハ云フヲ埃タサルト
コロタリ

第二 法律案ノ議決

法律案ノ
議決

法律案ノ議會ニ提出セラレタルトキハ議會ハ之レカ可否ヲ議決ス又之レ
ヲ修正スルコトヲ得之レヲ法律案ノ議決ト云フ修正ハ之レヲ詳シク云ヘ
ハ提出シ兼テ自己カ提出シタルトコロヲ可決スルナリ故ニ諸國ノ憲法
ニ於テ或ル種ノ法律案ニ於テ提出ノ權ナシトセラレル者ハ又修正ノ權ヲ
有セス唯タ之レヲ可否スルノミ議決ハ法律案ニ對スル可否ノ意見ノ發表
ナリ

議案修正
ノ意義

帝國議會ノ議決ハ兩院ノ一致ニ依ル帝國議會ハ兩院ヲ以テ成レリ故ニ一
院先ツ否決スレハ他院ノ否決ヲ埃タスシテ法律案ノ否決アリタリト爲ス
兩院ノ意思合致セサレハ可決アルコトヲ得サレハナリ一院カ法律案ヲ提
出シタルトキ同時ニ之レヲ可決スルモノト見ルヘシ他院ノ可決アレハ議
會ノ可決アリタリト爲ス再ヒ原院ニ廻附スルコトヲ要セサルナリ議院ハ

議決ハ一
致トハ何
ソ

議決取消
ノ禁制

政府ノ議
案撤回

議決ノ法
律上ノ性

議決ハ法
律ノ實體
ヲ定ムル
モノニシ

テ立法ニ
協賛スル
ヲノミ法
律ノ制定
ハ立法ノ
非ス

自己ノ議決ヲ取消スコトヲ得ス既ニ他院ニ可決還附シタル法律案ヲ撤回
スルコトヲ得サルナリ政府ハ可否ノ議決未定ナル間之レヲ撤回修正スル
コトヲ得即チ一院否決スルカ又ハ兩院可決スルノ前ハ其提出シタルトコ
ロヲ撤回シ修正スルコトヲ得

帝國議會ノ議決ハ法律案ニ對シテ可否ノ意見ヲ發表スルノミ法律ヲ制定
スルノ必要ナル手續トセラルト雖モ自ラ法律ヲ制定スルモノニ非ス又天
皇ト共ニ法律ヲ制定スルモノニ非ス議會ハ獨立機關ニ非ス直接ニ國家ノ
意思ヲ發表スルコトヲ得ルノ地位ニ在ルモノニ非ス天皇ノ意思ヲ發表ス
ルニ協賛スルノミ議決ハ天皇ノ法律ヲ制定スルニ參與スルノミ天皇ハ議
會ノ協賛ヲ以テ立法權ヲ行フ議決ニ依リテ議會ハ立法權ノ一部ヲ行使ス
ルニ非ス學者之レヲ説明シテ議會ノ議決ハ法律ニ揭クル法規ヲ定ムルモ
ノナリ即チ法律ノ實體ヲ定ムルモノナリ然レトモ之レニ與フルニ遵由ノ
效力ヲ以テスルハ議決ノ爲ストコロニ非ス法律ノ命令ヲ與フルハ君主ノ
裁可ナリ立法ハ法律ノ命令ヲ與フル作用ナリ其ノ實體ヲ定ムルハ固ヨリ

立法ノ一大要部タリト雖モ立法ニ非ス議會ハ法律ノ實體ヲ定ムルニ參與
スルノミト爲セリ説キ得テ明瞭ナリト云フヘシ或ハ法律ノ實體タル思想
ハ議會ノ創造スルトコロニアラス法律ノ實體タルノ定マルハ其ノ國家ノ
命令トシテ確定スルトキニ在リ法律ノ實體ヲ定ムルハ即チ法律ノ命令ヲ
與フルナリ法律ノ命令ヲ與フルハ此ノ時ニ法律ノ實體定マル議會ノ議決
ハ此ノ如キ實體ヲ有スル法律ノ命令ヲ與フルコトヲ可否スルモノナリ漫
ニ實體ヲ定ムルニ非ス命令ヲ與フルコトニ參與スルモノナリトシ之レヲ
非難スル者アリト雖モ彼ノ學者ノ實體ト命令ノ説ハ稍詳細ナラサルノミ
議會カ法律ノ實體ヲ定ムルニ協賛スルハ素ヨリ之ニ命令ヲ與フルコトニ
協賛スルナリ然レトモ議會ハ毫モ法律ノ命令ヲ與フルコトニ參セス天皇
ハ議會カ之レニ命令ヲ與フルヲ可トスルモノニ命令ヲ與フ命令ヲ與フル
ハ全部天皇ニ屬ス議會ハ如何ナル實體ヲ有スルモノニ命令ヲ與フヘキカ
ヲ議決スルノミ此關係ヲ明カニスルニハ彼ノ學者ノ説タル甚々採ルヘシ
ト爲スヘシ難者ノ言ハ却テ誤解ヲ招カン議會ハ立法スルニ非ス議決ヲ以

法律案ノ
裁可

テ天皇ノ立法スルニ協賛スルナリ
第三 法律案ノ裁可

立憲政體ノ原始的形體ハ露骨ナル三權分立ト民主主義ニ在リテ之レヲ其ノ最初ノ理想ト爲セルハ屢々之レヲ説ケリ此ノ状態ニ在リテハ國會ハ人民ノ代表者トシテ最高ノ權力ヲ有スル立法者タリ君主大統領ハ行政ノ首長ニシテ之レト相對立シ又ハ之レカ下ニ立ツト見ラル共和國體ノ國ニ在テハ既ニ行ハルルトコロナリ此ノ組織ニ至リテハ國會ハ即チ立法者ナリ其ノ意思表示ハ即チ國法タリ直接ニ臣民ヲ羈束スルノ效力ヲ有ス行政ノ首長タル君主大統領ハ之レニ與カルコトヲ得ス國會ノ制定スルトコロヲ奉セサルヘカラサルナリ然レトモ斯クノコトキハ引テ國會ノ專政ヲ惹起シ三權分立シ相節制セシムルノ主旨ニ適ハス是ニ於テ君主大統領カ若シ國會ノ定ムルトコロヲ行政ノ實際ニ不可ナリトシ之レヲ法律トスルニ反對ノ意見ヲ有スルトキハ之レヲ法律トスルコトニ反對スルコトヲ得ルモノトセリ之レヲ拒否ト云フ國會ノ制定スルトコロヲ非トシ之レヲ法律ト

拒否ノ制
度

スルコトニ反對スルナリ君主大統領ノ拒否アリタルトキハ國會ノ制定シタルトコロハ法律トシテ行ハルルコト能ハス之レニ依リテ國會ノ專制ヲ節制シ立法ノ濫用ナカラシメントスルトコロナリ

斯クノ如キ君主大統領ニ拒否ノ權ヲ與フル思想ノ根據ハ國會ヲ以テ立法者ト爲スニ在リ故ニ拒否ハ立法ニ與ルノ行爲ニ非ス唯タ之レヲ非トスル場合ニ之レヲ法律トスルコトニ反對スルノミサレハ斯クノ如キ拒否ノ制度ハ之レヲ君主國體ノ國ニ用ユルコトヲ得ス君主國體ハ君主ヲ以テ統治權ヲ總攬スル者ト爲スナリ百般ノ統治ノ行爲ハ君主ニ出テサルハナシ立法モ亦君主ノ爲ストコロタリ然ラサレハ君主國體ノ旨ニ反ス君主國體ニ於テ拒否ノ制度ハ之レヲ存スルコトヲ得サルナリ最早ヤ國會ハ立法者ニ非ス君主カ立法スルニ參與スルノミ國會ノ議決ハ法律ノ制定ニ非ス法律案ノ議決タリ其ノ議決シタルトコロハ法律ニ非ス何ソ之レニ對シテ拒否アラシヤ君主國ニ於テ君主ヲ以テ立法者ト爲シ國會ハ唯タ其ノ議決ニ參與スルニ止マルト爲スニ至リテ拒否ハ其ノ存在ノ理由ヲ失ヘリ最早ヤ拒

拒否ノ制
度ハ君主
國體ニ存
セス

否アルコトヲ要セサルナリ君主ハ立法者ナリ故ラニ之レヲ拒否スルヲ用
キス國會ノ議決ヲ可トセハ之レヲ法律ト爲サンノミ之レヲ非トセハ唯々
之レヲ法律ト爲ササルノミ然ルニ拒否ノ制度ハ素ト立憲政體ノ要目ノ一
ト見ラレタルカ故ニ今ヤ不用ノ手續タリト雖モ其ノ形體ヲ變シ性質ヲ改
メテ尙ホ立憲君主國ノ憲法上法律制定ノ手續ノ一トシテ存在セリ之レヲ
裁可ト云フ

裁可ノ意
義及性質

裁可ハサレハ君主國ニ於テ今ヤ特別ノ意義ヲ有スルニアラス拒否ノ殘影
トシテ君主カ議會ノ議決ヲ嘉納シ法律ト爲スノ意アルコトヲ示スノ形式
タルノミ我カ憲法ニ定ムルトコロノ裁可モ亦此ノ性質ヲ有スルニ過キス
天皇カ議會ノ議決ヲ嘉納シ之レヲ法律ト爲スノ意ヲ有スルコトヲ示スノ
形式タリ素ヨリ今ヤ裁可ハ拒否ニ非ス議會ハ立法者ニ非ス天皇ハ之レヲ
節制スルニ止ル者ニ非ス自ラ立法者タリ故ニ不裁可ノ式アルコトナシ天
皇カ裁可セサルハ之レヲ法律ト爲スノ意ナキコトヲ示ス唯々裁可セサル
ノミ之レヲ拒否スルコトヲ故ラニ爲スヲ用キサルナリ裁可モ亦素ヨリ議

會ニ對スル返答ニ非ス立法ニ對スル節制ノ作用ニ非サルナリ拒否ト全然
其ノ性質ヲ異ニス然レトモ其ノ本ツクトコロハ拒否ニ在リ裁可ハ拒否ノ
變形タリ

裁可ノ形
式及效力

裁可ノ性質タル斯クノ如シ天皇カ議會ノ議決シタルトコロヲ法律トスル
コトヲ嘉納スルノ意ヲ表示スルナリ然レトモ憲法ニ之レヲ以テ法律制定
ノ手續ノ一ト爲スカ故ニ必ス此ノ手續ヲ經サルヘカラス之レナケレハ手
續ニ於テ欠缺ス法律ハ成立セス裁可ハ親署ニ依リテ與ヘラル親署ハ天皇
議會ノ議決ヲ編製シ之レヲ裁可スルコトヲ宣シ天皇親署スルナリ從テ此
ノ手續ハ天皇カ議會ノ議決カ正當ニ議決トシテ成立スルコトヲ認ムルコ
トヲ表示スルモノト云フコトヲ得ヘシ何トナレハ正當ニ議決トシテ成立
シタルモノニ非サレハ之レヲ法律トスルコト能ハサルトコロナレハナリ
既ニ之レヲ法律ト爲スコトヲ嘉納スト云フ天皇ノ裁可スルハ自ラ議決ノ
正當ニ成立シタルヤ否ヤヲ審査シ之レヲ正當ト認メタルコトヲ示スモノ
ナリ

第四 法律ノ公布

公布ノ性質

裁可シタルモノヲ公布スルニ依リテ法律成立ス公布ハ國家ノ法律トシテノ意思表示ナリ法律ハ茲ニ生ル公布ヲ以テ法律制定ノ手續ハ完了ス天皇ハ法律ヲ公布ス立法者タル所以ナリ天皇ノ立法權ヲ行フハ公布ニ形ハル公布ハ法律ヲ住民ニ命令スルナリ法律ニ命令タル力ヲ與フルハ公布ニ依ル公布ニ依リテ法律成立ス法律ハ臣民ヲ拘束スルノ力アル國家ノ命令ナリ公布ニ依リテ其ノ拘束ノ力ヲ生スルハ云フヲ埃タス公布アルニ至ルマテ法律ナシ議會ノ協賛ハ法律ヲ制定スル行爲ニ非ス裁可ハ法律ヲ制定スル行爲ニ非ス議會ハ唯タ法律案ヲ議定スルノミ天皇之レヲ嘉納スレハ裁可シ公布スルニ依リテ法律アリ立法行爲ハ唯タ公布ノミ他ハ公布ニ至ルノ手續タルノミ

裁可ト公布トノ區別及關係

論者裁可ヲ以テ法律ノ成立スル所以ト爲ス者アリ或ハ以テ適説ト爲スヘシ裁可ト公布トノ關係ハ一應ノ辯明ヲ必要トス學者ノ説ニ曰ク裁可ハ法律案ヲ國家ノ命令タル法律ト爲シ法律ヲ完成スル行爲ナリト蓋シ其ノ意

裁可ヲ以テ法律完成スルハ非ナリ

議會ノ協賛カ立法ノ手續ニ參與スルニ過キス天皇唯タ立法者タルコトヲ示スニ在リ然レトモ此ノ點ヲ明カニスルニ急ニシテ公布ヲ度外視シタルノ嫌アルヲ免レス予ハ公布ヲ以テ法律ヲ完成スル行爲トシ故ニ天皇ヲ立法者ト爲シ裁可ヲ解スルコト上述ノ如シ若シ論者ノ云フカ如ク裁可ヲ以テ法律ノ完成スル手續ト爲サハ公布ハ之レヲ如何ニ見ントスルカ裁可ニ依リテ法律完成スト爲サハ裁可アレハ茲ニ法律ハ完全ニ成立シ其法律タル性質要件ハ悉ク之レニ具備セラレ嚴然タル國家ノ命令ニシテ檢束強制ノ力アリ臣民ハ之レニ服從シ之レヲ遵行セサルヘカラスト爲ササルヘカラス更ラニ之レヲ外部ニ表白シ檢束遵行ノ效力ヲ生セシムル國家ノ行爲形式アルコトヲ要セザラン然ルニ裁可ヲ以テ法律ヲ完成スル行爲ナリトスル者ハ曰ク公布ハ之レヲ外部ニ表白シ從テ國家ニ對シ拘束力ヲ發生セシムルモノナリ公布ハ法律ノ檢束力ヲ生スル所由ニシテ法律ノ遵行ハ公布ヲ以テ標準ト爲スモノナリ公布ナキモノハ臣民遵行ノ效力ヲ有セス公布ハ立法ノ手續ヲ完成シ統治ノ諸機關ハ之レニ由リテ執行シ民衆ハ之ニ

公布手續外
法了シテ
完ニ對シ
テ檢束シ
テ檢束シ
行ノ效力
ナリシ
ナル形式

依リテ遵守ノ責ヲ負フ法律ノ實質ト形體トハ裁可ニ由リテ具ハリ其ノ執
行ト遵守ノ效力ハ公布ニ由リテ發生スルモノナリト憲法ハ裁可ノ外ニ法
律ノ公布アルコトヲ認ムサレハ法律ノ公布ナル行爲形式ノ存在ハ之レヲ
認メサルヲ得ス公布ニハ或ル意義效果アルコトモ亦之レヲ認メサルヲ得
ス然レトモ既ニ裁可ヲ以テ法律ヲ完成スル行爲ナリトスルトキハ立法ノ
手續順序ハ之レヲ以テ結了セリト云ハサルヘカラス既ニ完成シタル法律
ナランニハ拘束ノ力モアリ臣民遵行ノ效力モ具ハレリトセサルヘカラス
然ルニ更ラニ其上ニ拘束ノ力ヲ有セシメ遵行ノ效力ヲ與フルトコロノ行
爲タル公布アリトスルハ果シテ如何ナル意義ナルカ曰ク法律完成シテ拘
束力始メテ生スルカ故ニ公布前ニ法律ノ成立ヲ前定セサルヘカラスト然
ラハ法律ノ完成トハ拘束力即チ法律タル效力ナキ即チ法律タル性質ヲ有
セサル法律ノ完成スルノ意カ果シテ然ラハ之レ法律ニ非ルナリ法律ノ完
成ニ非ルナリ寧ロ拘束力ヲ發生スル公布ヲ以テ法律ヲ完成スル行爲ナリ
トセサルヘカラス之レヲ要言スレハ裁可ヲ以テ法律ヲ完成スル行爲ナリ

トスレハ拘束力ハ既ニ具ハル更ラニ此上ニ拘束力ヲ生スル公布アリトス
ルハ全ク之レヲ解スヘカラス公布ヲ以テ法律ノ拘束力ヲ生スル手續ナリ
トスレハ之レヲ以テ法律ハ完成スト云フヘク其前ニ法律ヲ完成スル裁可
アリトスルハ更ラニ解スヘカラサル論理タリ
或ハ公布ヲ以テ法律ノ成立スル手續ナリトシ裁可ハ國家ノ意思ヲ確定ス
ルノ行爲ニシテ國家ノ意思ヲ宣明スル者ニ非ルナリ法律ハ國家ノ命令ナ
リ故ニ裁可ニ由リテ確定シタル國家ノ意思ハ外部ニ對シテ之ヲ宣明セサ
ルヘカラス此ノ宣明ナキ間ハ國家ノ意思ハ存在スルコトヲ得ヘキモ法律
ハ決シテ存在スルコト能ハサルナリ國家ノ意思ヲ宣明スルノ行爲ヲ公布
トス公布ノ時ハ即チ法律ノ始メテ成立スル時ナリト爲ス者アリ其公布スル
ヲ以テ法律完成ノ手續形式ナリト爲スハ甚タ可ナリ然レトモ論者ノ意タ
ル蓋シ裁可ハ國家ノ意思ヲ成立セシムル行爲ニシテ公布ハ之レヲ表示シ
テ法律ト爲シ法律ヲ完成スル手續ナリト爲スニ在リ然レトモ意思ノ成立
ト其ノ表示トハ斯クノ如ク劃然之レヲ分別スルコトヲ得ル作用ナリヤ否

法律ハ裁
可ニ依リ
テ成立セ
ス公布ニ
ヨリテ成
立ス

ヤ凡ソ法律行爲ハ意思ノ表示ナリ表示セントスル意思ハ素トヨリ一タヒ
 確定成立セサルヘカラス然レトモ其ノ表示サルルニ至ルマテ吾人ハ如何
 ニシテ人ノ心裡内部ニ存スル成立ノ時期ヲ覺知スルコトヲ得ヘキヤ殊ニ
 意思ハ表示セラルルニ至ル迄之レヲ確定セリ成立セリト云フコト能ハス
 表示ニ至テ確定ス吾人心裡ノ作用ヨリ之ヲ云フモ事實ヨリ之レヲ見ルモ
 表示ノ外ニ成立ヲ認ムルコト能ハス表示ト同時ニ成立ス表示ノ時ニ確定
 ス語ヲ巧ニスレハ語ノ上ニハ或ハ表示ト成立トハ之レヲ分別スヘシ觀念
 上吾人ハ決シテ表示ト雖レテ別ニ成立ヲ認ムヘカラスナルナリ
 故ニ予ハ公布ハ實ニ國家ノ意思ノ表示ナリ又臣民ニ對スル拘束力ハ之レ
 ニ依リテ生ス法律ノ完成スル手續ナリト爲ス法律ハ公布ニヨリ人民ヲ拘
 束スルノ力ヲ生ス故ニ法律ハ裁可ニ依リ成立スルモノニ非ス公布ニヨリ
 初メテ完成スルモノナリト爲ス
 學者ノ假シ君主ノ裁可ハ其性質立法手續ニ於テ決定的ノ原素ナリトスル
 モ公布ニ依リテ外部ニ宣明セラルル迄ハ唯々純乎タル内部ノ手續タルニ

緊急命令

止レリ法律ハ裁可ニ依リテ宣明セラレス公布ニ依リテ宣明セラレ之ニ依
 リテ法律タリ公布ハ故ニ法律成立ノ必要ナル原素ナリト云ヘル又裁可ハ
 君主ノ一身ニ屬スル心裡ノ作用ニシテ某ノ事項ヲ以テ法律ノ實體ト爲サ
 ンコトヲ欲シ又タ此ノ實體ヲ命令センコトヲ決意スルモノナリ命令ハ之
 ヲ宣言スルニ及ンテ始メテ國法上成立ス宣明セサルノ意思ハ全ク法ノ關
 與セサルトコロナリト云ヘルハ甚タ眞理ニ近シト云フヘシ公布ハ法律完
 成ノ手續ナルカ故ニ此ノ前ニ更ラニ一ノ法律完成ノ手續アルコトナシ裁
 可ハ拒否ノ殘影タルノミ天皇カ議會ノ議決シタルトコロヲ嘉納スルノ意
 ヲ示スニ止ルノミ法律ハ公布ニ依リテ成立ス公布ノ外ニ更ニ法律成立ノ
 手續ナシ又素ヨリ法律ノ拘束ノ力モ此ノ時ニ生ス
 以上ハ法律ヲ制定スルノ手續順序ノ概要ナリ憲法上必ス法律ヲ以テ定ムル
 コトヲ要ストセラレタル數多ノ事項ニ就テ規定セントシ又既ニ一タヒ法律
 ヲ以テ定メタルトコロニ就キ之レヲ廢止變更セントスルトキハ必ス法律ニ
 依ラサルヘカラス必ス上述ノ手續ニ從ヒ議會ノ協賛ヲ經テ之レヲ定ムルコ

緊急命令
必要ノ理
山

トヲ要スルナリ然レトモ國家ノ生活ハ一日モ休止スルコトナク統治ノ活動ハ間斷スルコトヲ許サスシテ議會ハ常設ノ機關ニ非ス常ナキヲ以テ常アルヲ處セントス其ノ可ナルヲ知ラサルナリ國家一旦急迫ノ事アルニ臨ミ又ハ國民凶荒疫癘及ビ其ノ他ノ災害アルニ當テ公共ノ安全ヲ保テ其ノ災厄ヲ豫防救濟スル爲ニ力ノ及フトコロヲ極メテ必要ノ處分ヲ施ササルコトヲ得ス然ルニ法律ヲ以テセサレハ之レニ適當ナルノ規定ヲ爲スコトヲ得サルニ議會偶々閉會ノ期ニ在ランカ拱手シテ議會ノ開會ヲ待ツヘシト爲スハ憲法ノ爲メニ國家ノ存立ヲ危フスルモノト云フヘシ立憲政體ノ主旨トシテ一定ノ事項ハ法律ヲ以テ定ムヘク議會ノ協贊ヲ必要トスト雖之レカ爲メニ國家ノ存立ヲ害ヒ公共ノ急ヲ捨テテ顧サルコトニ非ス必スヤ變ニ應スルノ例外ヲ設クルモノナキコトヲ得サルナリ帝國憲法第八條ハ之レカ爲メニ定メテ曰ク天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發スト之レヲ緊急勅令ト云フ國家一時ノ變ニ方リ緊急ノ必要アリ議會ノ開會ヲ待ツコト能ハサルトキ

ハ立法ノ手續ヲ省畧シ議會ノ協贊ヲ經ス命令ノ形式ヲ以テ法律ヲ要スル事項ヲ定ムルコトヲ得ト爲スモノナリ

緊急命令
ノ内容

緊急命令ハ議會ノ協贊ヲ經ルモノニアラス故ニ命令タリ天皇親裁シテ制定スルトコロ然レトモ法律ニ代ルノ命令タリ其ノ内容ハ法律ヲ以テ規律スヘキトコロニ屬セリ一ニハ所謂立法事項タリ緊急命令ハ命令ヲ以テ法律ヲ要スル事項ヲ定ムルナリ二三ノ國ニ在テハ緊急命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ル事項ニ多少ノ制限ヲ設クト雖モ我カ憲法ハ緊急命令ノ範圍ヲ極メテ廣クシ何等ノ制限ヲモ置クコトナシニハ緊急命令ハ法律ヲ廢止變更ス命令ヲ以テ法律ヲ廢止變更スルコトヲ得ス然レトモ緊急命令ハ法律ヲ廢止變更ス法律ニ代ル命令タル所以ナル緊急命令ハ其ノ形式的效力ニ於テ法律タリ之レヲ法律ニ代ルト云フナリ後法カ前法ヲ廢止變更スルカ如ク後ノ緊急命令ハ前ノ法律ヲ變更ス毫モ法律ト異ルコトナシ

緊急命令
ノ形式的
効力

緊急命令
發布ノ條
件

緊急命令ヲ發スルハ憲法ノ許ストコロタリト雖モ素ヨリ緊急ノ時宜ニ處スルノ異例ニ屬ス最モ濫用ヲ慎マサルヘカラス憲法ハ緊急命令ヲ發スルニ必

要ナル條件ヲ定メ此ノ條件具フルニ非サレハ之レヲ發スルコトヲ得サルモ
ノトス

第一 帝國議會閉會ノ場合ナルコトヲ要ス

緊急命令ハ議會閉會中ニシテ立法ノ通常ノ手續タル議會ノ協賛ヲ經ルノ
途ナキカ故ニ特ニ之レヲ省畧スルコトヲ許スナリ固ヨリ之レヲ發スルハ
議會ノ閉會中ナラサルヘカラス

第二 之レヲ發スルノ必要ノ緊急ナルコトヲ要ス

必要ノ緊急ナリト云フハ議會閉會中ニ屬シ定期ノ開會ヲ待テ立法ノ通常
ノ手續ニ依リテ之レニ必要ナル規定ヲ爲サントスルトキハ時機ヲ失シ急
迫ノ需要ニ應スルコトヲ得サル事情ノ下ニ在ルコトヲ云フ開會ヲ待テ之
レヲ定ムト雖モ必スシモ不可ナリトセサルニ閉會中ナルヲ奇貨トシ立法
ノ通常ノ手續ヲ蹂躪スルコトヲ爲スハ憲法ノ許ルストコロニ非ス必スヤ
事目焦ノ間ニ迫リ一時モ緩ウスヘカラサル場合ナルコトヲ要ス但シ緊急
命令ヲ發スルハ次ノ議會ノ定期ノ開會ヲ待ツコト能ハサレハ足ル臨時ニ

議會閉會
中ナレハ
足リ臨時
議會ヲ召
集スル能
ハサルコ
トヲ要セ
ス

議會ヲ召集スルコト能ハサルヲ要セス

第三 之レヲ發スル必要アルコトヲ要ス

緊急臨時ノ變ニ處スルハ必スシモ法律ニ代ルヘキ命令ヲ以テスルヲ要セ
サルニ之レヲ發スルハ又憲法ノ許ササルトコロタリ

第四 公共ノ安全ヲ保存シ又ハ災厄ヲ避クル爲メナルコトヲ要ス

憲法ハ緊急命令ヲ發スルコトヲ得ル目的タル事項ヲ制限シタリ濫用ヲ防
クノ意ニ出ツ積極的ニ公共ノ利福ヲ増進スルカ爲メニ緊急命令ヲ發スル
コトヲ得ス緊急命令ヲ發スルハ常ニ公共ノ安全ヲ保存シ又ハ災厄ヲ避ク
ル爲ナラサルヘカラス

緊急命令
ハ公共ノ
ニ利福ヲ
進メルカ
爲メニ發
スルコト
ヲ得ス

以上ノ要件具ハラサルニ緊急命令ヲ發スルハ憲法ノ違反タリ然レトモ其ノ
果シテ要件ノ具ハルヤ否ヤハ事實ノ問題ニ屬シ之レヲ發スル天皇ノ認定ス
ルトコロニ依ルトセサルヘカラス唯タ議會ハ後ニ承諾ヲ求メラレタルトキ
之レヲ名トシテ承諾ヲ與ヘサルコトヲ得ヘシ

緊急命令ハ命令タリ一般命令ヲ發スル形式ニ依リテ之レヲ發ス必スシモ緊

緊急命令
ヲ發スル

ニ付特種
シノ形式ナ

急命令タル特種ノ形式アルニ非サルナリ其ノ緊急命令タルト一般ノ命令タルトハ一ニ其ノ内容ニ依リテ定マル法律ヲ要スル事項ヲ定ムルモノハ緊急命令タリ緊急命令ハ必スシモ其ノ緊急命令タルヲ標示スルコトヲ要セス立法事項ヲ規定シテ緊急命令タルコトヲ示ササルカ故ニ憲法ノ制限ヲ回避スルコトヲ許ササルナリ其ノ内容ニ依リテ緊急命令タルコトヲ知ル我カ憲法ハ又或ル國ノ憲法ノ如ク緊急命令ニハ全國務大臣ノ副署ヲ必要トスルカ如キ規定ヲモ設クルコトナシ

緊急命令
ト他ノ命令
別トサシ
別スル標
準ハ唯リ
其内容ニ
依ル

緊急命令ハ次ノ會期ニ於テ之レヲ帝國議會ニ提出シテ其ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス蓋シ緊急命令ハ立法ノ異例タリ止ムヲ得サルノ例外トシテ議會ノ協賛ヲ省畧スルコトヲ許ス立憲政體ノ理想ヨリスレハ最モ不可トスヘキトコロダリ唯タ議會ハ常ニ存セス急迫ノ必要ハ其ノ生スルコト時ヲ必セサルカ故ニ緊急命令アルノミ故ニ立憲政體ノ主旨トシテハ一タヒ急迫ノ必要ニ應シタル以上ハ後ニ議會ノ開會セラルルニ至ラハ之レヲ議會ノ議ニ付シテ果シテ之レヲ正當ノ手續ニ成レル法律ト共ニ國法トシテ存在スルコトヲ許

緊急命令
ニ對スル
議會ノ承
諾

議會ノ承
諾ノ性質

議會ハ追認
ニ非ス貴
任ノ非ス
事ノ非ス
ナリ

スヘキヤ否ヤノ議會ノ意見ヲ一應徴スルコトヲ希望セサルヘカラス之レ憲法ハ緊急命令ヲ次期ノ議會ニ提出スヘシト爲ス所以ナリ固ヨリ緊急命令ヲ發スルハ特例ニ屬スト雖モ憲法ノ之レヲ認ムルトコロ所定ノ條件具ハルニ於テハ之レヲ發スルハ適法ノ處置タリ西洋諸國ニテハ或ハ緊急命令ヲ發スルコトヲ憲法ニ認メス止ムヲ得サル急迫ノ變ニ當テハ國家ノ公ハ憲法ノ爲メニ廢スヘカラサルノ理由ニ依リ政府ノ專斷ヲ以テ適當ノ處分ヲ爲スコト實例多シト雖モ素ヨリ之レヲ憲法ニ許ササル違法ノ處置ト爲ス既ニ違法ノ處置タリ所謂命令ハ初メヨリ無効ノ命令ナリ是ヲ以テ次期ノ議會ニ之レヲ提出シ之レヲ追認シテ有效ト爲シ憲法ノ違反ヲ敢テシタルニ對スル責任ノ解除ヲ求ム我カ憲法ノ緊急命令ノ提出ヲ必要トスルハ此ノ主旨ニ非サルコト云フヲ埃タス既ニ適法ノ處置タリ何ノ責任ノ解除カ之レアラン又議會ノ承諾ヲ求ムルハ之レヲ以テ事前ノ協賛ニ代ヘ手續ノ欠缺スルヲ補充スルモノト爲スハ外國ノ成例學說之レアリ然レトモ又我カ憲法ノ主旨ニ非サルナリ緊急命令ハ適法ノ命令タリ不完全ナル法律ニ非ス手續ノ欠缺セル法律ニ

緊急命令
ハ適當目
ハ適法且
有テナリ
國家ノ命
令ナリ

議會ニ提
出スルハ
立憲政體
ノ主旨ニ
基キ果シ
テ之ヲ發
スルノ條
件ヲ具セ
ルヤ否ヤ
付テ之ヲ
見テ之ヲ
意見ナカ
カメ之レ
カカラシ
メテ之ヲ
濫用スル
コトナラ
ズトスル
ニテ

非ス後ノ議會ノ承諾ヲ條件トシテ成立スル法律ニ非スシテ完全ナル憲法ノ規定ニ合ヘル命令タリ後ノ承諾ヲ以テ補充セラレルニ至テ初メテ憲法ノ所定ノ手續ヲ具備スル有效ノ國法タルニ非ス初メヨリ有效ナル國家ノ命令タリ其ノ承諾ヲ求ムルハ之レニ依リテ不完全ナルモノヲ補充シ協替ニ成リシ法律ト同一ノ價值アルモノタラシメントスルニ非ス初メヨリ法律ト同一ノ價值アル國家ノ命令タリ憲法カ緊急命令ヲ次期ノ議會ニ提出スヘシト爲スハ之レ等ノ意ニ非サルコトヲ十分ニ覺知スルコトヲ要ス承諾ノ性質ヲ誤ルモノタリ予カ緊急命令ヲ提出スヘキコトヲ命スル憲法ノ主旨ハ立憲政體ノ希望スルトコロニ出ツト爲スヲ見テ承諾ノ性質ヲ誤ラサランコト極メテ肝要ナリ唯タ主旨然リト云フノミ固ヨリ承諾ヲ以テ政府ノ適法ノ行爲ノ追認ト爲シ責任ノ解除ト爲シ手續ノ補充ト爲スニ非サルナリ然リト雖モ憲法カ緊急命令ヲ次期ノ議會ニ提出スヘシト爲ス主旨ハ之レヲ以テ法律ハ議會ノ協贊ニ成ルノ本意ヲ貫キ止ムヲ得サルニ出ツト雖モ常例ニ反スルトコロ憲法ハ之レヲ許スト雖モ好ンテ爲スヘキトコロニ非ス極メテ濫用ヲ慎ムカ故

承諾ヲ求
メテ之ヲ
濫用スル
コトナラ
ズトスル
ニテ

ニ緊急命令ヲ名トシテ議會ノ協贊權ヲ蹂躪スルコトナカラシメンカ爲メニ果シテ之レヲ發スルニ憲法ノ必要トシタル條件ノ具ハルヤ否ヤニ就テ議會ノ意見ヲ一應確シメシメ以テ自ラ議會ヲシテ監視ノ地ニ居ラシメ緊急命令ノ濫用ナカラシメンコトヲ期ス或ハ我カ憲法ニ在リテハ緊急命令ヲ發スルハ適當ノ處置ナリ責任解除ヲ求ムルノ要ナク手續ヲ補充スルノ要ナシ憲法ノ之レヲ必要トシタルハ無用ノ規定ニシテ立法者ノ意窺フヘキナシト爲ス者アリ予ハ承諾ヲ以テ責任解除ニ非スト爲シ手續ノ補充ニ非スト爲スト雖モ其ノ主旨ハ大ニ重要ナルモノ之レアルコトヲ信スルナリ政府ハ次ノ會期ニ於テ緊急命令ヲ議會ニ提出シテ其ノ承諾ヲ求メサルヘカラス之レヲ求メサルハ憲法ノ違反ナリ而シテ之レヲ求ムルハ兩院ノ何レヲ先キニスルモ可ナリ次ノ會期トハ語通り次期ノ意ニ非サルハ云フ迄モナシ承諾ヲ求ムルノ主旨ハ議會ヲ以テ監視者ト爲スニ在リ必ス次ノ會期ニ提出セサルヘカラス次期ノ議會ニ未タ提出セサルニ解散スルカ如キコトアラハ次期ニ之レヲ提出スヘシ承諾ヲ求メシムルノ主旨ハ之レヲ必要トス

一、度、緊急命令ノ更ニ依リテ廢止セラレタルモ、之ヲ提出シテハ、カサ

承諾ヲ求ムル法律ニ非スニシテ、上ノ效果ハ、積極的ニハ、非ス

議會ニ提出シテ承諾ヲ求メシムルノ主旨ハ、議會ヲ以テ監視者ト爲スナリ故ニ一タヒ發シタル緊急命令ハ、次ノ會期前ニ其目的トシタル事件ノ完成消滅期限ノ到來等ノ事由ニ依リテ消滅シ又ハ更ニ命令ヲ發シテ之ヲ廢止スルモ必ス之レヲ議會ニ提出セサルヘカラス論者或ハ承諾ハ緊急命令ノ將來ニ向テ效力ヲ存續スヘキヤ否ヤヲ決スルノミ既ニ存在セサル緊急命令ハ之レカ承諾ヲ求ムルコトヲ要セスト爲ス者アリト雖モ非ナリ緊急命令カ議會ノ承諾ヲ得サルトキハ之レカ效力ヲ將來ニ失フコトヲ公布スヘキコト憲法ノ命スルトコロナリ議會ノ監視者タル所以ヲ完フシ承諾ノ實ハ之レニ依リテ舉ルトコロタリト雖モ承諾ノ主旨ハ唯リ此ニ在ラス一タヒ發セルトコロ必ス之レカ承諾ヲ求メサル可ラサルナリ責任ノ解除ヲ求ムルニ非スト雖モ必要ナルトコロタリトセサルヘカラス

論者或ハ假リニ承諾ヲ求メシムルノ主旨ハ、議會ヲ以テ監視ノ位ニ居ラシムルニ在リトスルモ憲法ハ唯タ議會カ緊急命令ニ承諾ヲ與ヘサルトキハ政府ハ其ノ將來ニ效力ヲ存續セサルコトヲ公布スヘント爲スノミ何等ノ積極的

緊急命令ノ違憲トナルハ、之ヲ發シタル條件ニ屬ス

效果ヲ定ムルモノアルコトナシ何ノ監視カ之レアラシキトコロタリト眞ニ然リ憲法ハ唯タ承諾ヲ求メシムルノミ不承諾ニ依リテ何等ノ效果アルコトヲ定メス然リト雖モ承諾ヲ求ムルハ既ニ其レタケニテ監視ヲ得ルモノ甚タ十分ナラスヤ政府ノ爲シタルトコロヲ審査シテ可否ノ意見ヲ述ヘシム監視タル所以ナリ別ニ積極的效果ノ附生スルモノナシト雖モ足レリ承諾ヲ求ムル法律上ノ效果ハ別段ニナシサレトモ其ノ主旨ハ此ニ在リ

サレハ緊急命令カ議會ニ提出セラレタルトキハ議會ハ其ノ果シテ發布ノ當時之レヲ發スルノ條件ノ具ハリシヤ否ヤヲ審査セサルヘカラス公共ノ安全ヲ保持シ其ノ災厄ヲ避クルニ必要ナリシカ議會ノ開會ヲ待ツ能ハサル程ニ急迫ナリシカ但ニ其ノ方法ナカリシカ委細ニ之レヲ審査セサルヘカラス固ヨリ實際ノ事實ニ就テ緊急ノ程度ヲ考量シテ緊急命令ヲ發スルマテモナカリシトスレハ之レヲ承諾セサルコトヲ得緊急命令ヲ發スルノ條件ハ素ヨリ事實ノ認定ニ屬ス事實ノ認定ハ緊急命令ノ違憲ト否トヲ決スルノ基礎ナリ之レヲ審査シテ意見ヲ定ムルコトヲ要ス又固ヨリ其ノ發布ノ當時之レヲ發

發命ノ條
件ハ發布
當時ノ必
要ヲ基礎
トス

議會ハ緊
急命令ニ
對シテ修
正シテ承
諾スルコ
トヲ得

議會ハ緊
急命令ニ
對シテ修
正シテ承
諾スルコ
トヲ得

承諾ハ單
ニ可否ノ

意見ノ發
表ニ過キ

議會ノ不
承諾ノ性

スルノ必發アリシヤ否ヤヲ審査スルナリ審査ノ時ニ之レヲ存續スルノ必要アリヤ否ヤヲ審査スルハ監視ノ目的ヲ超過ス緊急命令發布ノ處置ノ當否ヲ審査シ之レニ對シテ承諾ト否トノ意見ヲ示スノミ發布ノ當時其ノ必要アリシト雖モ今ヤ其ノ必要止メリトシテ承諾ヲ拒ムコトヲ得ス至當適法ノ處置ヲ非トスルコトヲ得ス若シ之レヲ今日以後將來ニ存續スルヲ不可トセハ別ニ之レカ廢止ヲ議スヘキノミ此ノ理由ヲ以テ直チニ承諾セサルコトヲ得スト爲スヘシ但シ議會ハ承諾ヲ與フルト否トニ拘ラス其ノ理由ヲ附スル必要ナキカ故ニ直チニ此ノ理由ニ依リテ承諾ヲ與ヘスト雖モ固ヨリ如何ントモスヘキトコロニ非サルナリ

緊急命令ノ承諾ヲ求ムルハ議會ノ可否ノ意見ヲ問フノミ協賛ニ代フルニ非ス故ニ議會ハ之レヲ修正シテ承諾スルヲ得ス承諾ヲ與フルト與ヘサルトアルノミ承諾ハ兩院一決スルコトヲ要ス一院承諾セサレハ他院ニ廻附スルヲ竣タス承諾ノ拒否タリ

ノ意見ノ發表ノミ議會カ緊急命令ニ承諾ヲ與フルハ唯タ議會カ緊急命令ノ發布ニ異議ナキコトヲ示スナリ此ノ外ニ意義效果ナシ承諾ハ責任ノ解除ニ非ス瑕疵アル行爲ノ追認ニ非ス又欠缺セル手續ノ補充ニ非ス承諾ニ依リテ緊急命令カ法律ト爲ルニ非ス完全ナル國家ノ命令ト爲スニ非ス初メヨリ完全ナル國家ノ命令タリ特ニ之レヲ廢止スルコトナケレハ何時迄モ效力ヲ存續スルコト原則タリ承諾ハ其ノ發布ヲ可トスルノミ之レニ依リテ效力新ニ完成シ又存續セラルルニ非ス

若シ議會カ承諾ヲ與ヘサルトキハ政府ハ將來ニ向テ效力ヲ失フコトヲ公布スヘシ憲法ノ定ムルトコロナリ然レトモ之レ不承諾ノ當然ノ效力ニ非ス不承諾ニ此ノ效果ヲ與フルニ依テ不承諾ノ實效大ニ舉ルコトヲ得ルトコロタリト雖モ不承諾ハ唯タ議會カ緊急命令ノ發布ヲ不當トシ之レヲ非トスルノ意見ノ表示タルノミ承諾アルニ依リテ緊急命令ハ完全ナル國家ノ命令ト爲ルニ非ス又承諾ヲ效力存續ノ條件ト爲スニ非サルコト前述ノ如クナルカ故ニ不承諾ニ依テ直チニ當然緊急命令カ效力ヲ失フト爲スコトヲ得ス完全ナ

議官ノ不承諾ニヨリ政府ノ向テ効力ヲ失フヘキコトヲ公布スルハ緊急命令ニシテ取消ス

緊急命令ニ依リテ廢止變更セラレタ

ル法律ハ其命令ノ廢止ニ依リテ復活ス

緊急命令ハ其命令ノ廢止ニ依リテ復活ス

ル國家ノ命令タル緊急命令ハ議會ノ不承諾即チ之レヲ非トスル意見ノ表示セラレタルカ爲メノ一事ノ故ニ消滅スルモノニ非ス更ラニ之レヲ廢止スルノ手續アルコトヲ必要トス然レトモ議會力之レヲ非トスルニ之レヲ廢止スルコトヲ要セストスレハ極メテ不都合ナル結果ヲ見ルト云ハサルヘカラサルカ故ニ憲法ハ議會力承諾セサルトキハ政府ハ特ニ之レカ効力ヲ將來ニ失フコトヲ公布スヘシト爲ス不承諾ニ依リ消滅シタルコトヲ公示スルニ非ス緊急命令ヲ廢止スルナリ茲ニ注意スヘキハ此ハ廢止ニシテ取消ニ非サルコト之レナリ將來ニ向テ効力ヲ失ハシムルナリ既往ニ溯テ初メヨリ緊急命令ナカリシト同一ノ状態ト爲スニ非ス承諾ヲ追認ト爲シ手續ノ補充ト爲シ効力存續ノ條件ト爲ス者ハ之レヲ取消ノ效果アルモノトス誤ラレサランコトヲ要ス將來ニ其ノ効力ヲ失フノミ既往ニ此ノ緊急命令ニ依テ爲サレタル行爲處分ハ其ノ效果ヲ左右セラルルモノニ非ス

緊急命令カ議會ノ不承諾ニ本ツキ將來ニ其ノ効力ヲ失フ旨ヲ公布セラレタルトキハ此ノ緊急命令ニ依リテ廢止變更セラレタル法律ハ其ノ効力ヲ復活スト爲ス者アリ又承諾ヲ以テ効力カ係ルノ條件ト爲スノ誤解ニ出ツ一應辯明スヘシ緊急命令ハ完全ナル國家ノ命令トシテ法律ニ代ルノ効力ヲ有スルコト前ニ説ケリ其ノ法律ヲ廢止變更スルモ法律ト異ルコトナシ條件付ニ之レヲ廢止變更スルニ非ス緊急命令ハ承諾アル不定ノ状態ニ在ルモノニ非ス手續ニ於テモ實質ニ於テモ完全ナル國家ノ命令タリ法律ニ代リ完全ニ法律ヲ廢止變更ス其ノ議會ノ不承諾ニ遇ヒ之レカ廢止ヲ公布シタレハトテ既往ニ溯テ嚴タル國家ノ命令ヲ以テ廢止シタル法律カ何ノ理由ニ依リ又更ニ復活セシヤ前ノ法律ハ緊急命令ニ依テ永久ニ埋沒了セラレタルトコロナリ假リニ條件付ニ之レヲ廢止シタルニ非ス前法ハ其ノ廢止ニ依リテ復活スヘキ理由アルコトナシ

緊急命令
ノ變更ハ
法律ヲ以
テセサル
ヘカラサ
ル乎

國法ヲ制
定スル

テ形式上命令タリ故ニ之レヲ廢止スルハ命令ノ形式ヲ以テスルコトヲ得ト云フヘシ或ハ緊急命令ヲ廢スルハ緊急命令ヲ以テスヘシト爲ス者アリ緊急命令タル何等特別ノ形式アルニ非ス其ノ内容ヨリシテ之レヲ緊急命令ト云フノミ其ノ形式ハ一般ノ命令ト異ルコトナキハ既ニ述ヘタルカ如シ緊急命令ヲ以テ廢スヘシト云フハ何ノ意タルヲ解スルコト能ハサラントス緊急命令トハ緊急ノ必要ニ依リ議會閉會ノ場合ニ於テ法律ヲ要スル事項ヲ定ムル命令タリ緊急命令ヲ廢スルハ必スシモ此ノ條件ニ當ラザラン緊急命令ヲ以テ廢スヘシト爲スノ意タル明ナラサルナリ緊急命令ヲ廢止スルハ命令ヲ以テスレハ足ル然レトモ之レヲ變更スルハ如何變更ハ命令ノ變更タリト雖モ實ハ自ラ法律ヲ要スヘキ事項ヲ規定スルナリ廢止ト同一ニ論スルコトヲ得ス之レヲ變更スルハ法律ヲ以テスルコトヲ要スト爲スヘシ其ノ緊急ノ必要ニ依リ議會閉會ノ場合ニ於テハ命令ヲ以テ之レヲ變更スルコトヲ得ルハ云フ迄モナシ

國家カ國法ヲ制定スル第二ノ形式ハ命令ナリ帝國議會ノ協贊ヲ經テ制定シ

第二ノ形式

命令ハ議
會ノ協贊
ヲ經スル
ヲ制定セ
ラレタル
命令ナリ
國家ノ命

タル國家ノ命令ヲ法律ト爲シ其ノ此ノ形式ヲ踐マスシテ制定スルモノヲ總稱シテ命令ト云フ法律ト命令トノ區別ハ立憲政體ノ下ニ初メテ生シタルトコロナリ專制政體ニ在テハ國家ノ命令ハ皆ナ命令タリ法律ト稱スルモノナシ特ニ之レヲ區別シテ命令ト云フコトヲ要セス立憲政體ニ在テハ議會ノ參與ニ成レルモノヲ特ニ法律ト稱スルカ故ニ之レヲ又特ニ別テ命令ト云フ法律ハ法律ヲ以テスルニ非サレハ變更スルコトヲ得ス命令ヲ以テ法律ヲ變更スルハ憲法ノ違反タリ是ニ於テ法律ト命令ノ分界ハ劃然タリ命令ハ議會ノ協贊ヲ經スシテ制定セラレタル國家ノ命令ナリ
法律ト命令トノ區別ハ唯此ノ點ニ在ルノミ法律ヲ以テ議會ノ制定スルトコロト爲シ命令ハ行政ノ首長タル君主ノ制定スルトコロト爲スハ我カ憲法ノ主旨ニ非ス天皇ハ統治權ヲ總攬ス國法ヲ定ムルハ一ニ天皇ノ爲ストコロタリ法律ヲ制定スル者ハ天皇タリ天皇ハ議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ命令ヲ制定スル者モ亦天皇タリ一ハ天皇カ議會ノ協贊ヲ手續トシテ之ヲ制定シ一ハ此ノ手續ヲ用キス親裁シテ之レヲ制定ス手續ニ簡易ナルト複雑ナルト

ノ區別アルノミ等シク天皇ノ制定スルトコロタリ唯々制定ノ手續方法形式ヲ異ニスルノミ

命令ハ實質ニ於ケル法律ノ一部タリ命令ヲ制定スルハ又實質的意義ニ於ケル立法タリ故ニ處分ニ非ス

詔勅ハ命令ノ一種ナリ

命令ハ法律ニ非サル國家ノ命令タリ法規ノ總稱ナリ凡テ議會ノ協贊ヲ經スシテ公布セラレタル國家ノ命令ニシテ法規ヲ定ムルモノハ命令タリ唯々此ノ一事ヲ以テ命令ト云フ故ニ等シク命令ト云フト雖モ其ノ類極メテ多シ内容ノ如何ヲ問ハス苟クモ議會ノ協贊ヲ經サルモノハ凡テ之レヲ命令ト爲ス法律ノ一變例タル緊急命令モ亦命令タリ又必スシモ命令ノ名ヲシト雖モ法律ニ非サルモノハ凡テ之レヲ命令ト爲ス(憲法法典及ヒ皇室典範ハ固ヨリ別段タリ)例ヘハ一般ニ詔勅ト云フモノノ如シ天皇ハ其ノ大權ニ屬スル處分ヲ爲シ又ハ一定ノ事實ヲ宣告シ又ハ政治上道德上ノ宣言ヲ爲スニ詔勅ノ名ヲ以テス詔勅ニシテ屢々法規ヲ定ムルモノアリ固ヨリ憲法ノ妨ケサルトコロ

大權命令

國務大臣ノ副署ヲ具フルトキハ完全ナル國家ノ命令タリ法律ニ非サル國家ノ命令タリ命令勅令ト名異ナルノミ實ハ即チ同シ
命令ノ形式ヲ有スルモノ之レヲ其ノ内容ニ從テ分類シ前ニ述ヘタル緊急命令ノ外特ニ大權命令ヲ舉ケテ一般ノ命令ト別ツコト極メテ肝要ナリ緊急命令ハ再說セス法律ト其ノ内容ヲ同フシテ形式ヲ異ニスルモノタリ
大權命令ハ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ヲ規定スルヲ以テ内容トスル命令タリ大權命令ハ諸他ノ命令ニ比シテ特異ノ效力ヲ有スルカ故ニ特ニ之レヲ區別スルコトヲ肝要トスルナリ蓋シ法律ハ命令ヲ以テ之レヲ變更スルコトヲ得ス複雑ナル手續ヲ經テ成レルモノヲ簡易ノ手續ヲ以テ動カサランコトヲ欲スルナリ之レヲ推シテ論スレハ法律ヲ以テ命令ヲ變更スルハ妨ケナシト爲スヘキニ似タリ一般ノ命令ハ法律ヲ以テ變更スルコトヲ得然レトモ唯リ大權命令ハ法律ヲ以テ變更スルコトヲ許ササルノ特色ヲ有ス其ノ理由ハ前ニ大權ノ特立ヲ說キタルトコロニ依リテ既ニ明白ナラン憲法上ノ大權事項ハ憲法ヲ以テ天皇之レヲ親裁シテ定ムヘキコトヲ要件トシタルトコロナ

大權命令ノ性質及其効力

リ親裁シテ定ムヘシト云フハ他ノ機關ヲシテ與ラシムルコト勿レト云フニ
 同シ他ノ機關ヲシテ與ラシムルコトヲ憲法ハ禁スルナリ憲法上ノ大權事項
 ハ全然天皇ノ親裁攝行スルトコロタラサル可ラス之ヲ法律ニ委任シテ定ム
 ルコトヲ許サス憲法ノ直接ニ禁スルトコロヲ犯スモノタルハ前ニ之レヲ説
 ケリ憲法上ノ大權事項ヲ天皇カ親裁シテ定ムルハ或ハ法規ヲ必要トシ之レ
 ヲ以テスルコトアラン或ハ個個ノ處分ヲ以テスルコトアラン其ノ法規ヲ以
 テ大權事項ヲ定ムルモノヲ大權命令ト云フ大權命令ト云フハ其ノ定ムル内
 容カ大權ニ屬スル事項タルノ意タリ命令ヲ定ムルコトカ大權タルノ意ニア
 ラス略易キノ法理タリ誤解ナカラシムルコトヲ要ス大權命令ハ憲法上ノ大權事
 項ヲ定ムル命令タリ天皇ノ親裁スルコトヲ憲法上必要トスル事項タルカ故
 ニ固ヨリ命令ヲ以テ之レヲ定メサルヘカラス曩キニ法律ト命令ノ分界ヲ論
 シテ所謂憲法上ノ立法事項ハ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得サルト共ニ憲法上
 ノ大權事項ハ法律ヲ以テ定ムルコトヲ得スト爲セルヲ參照セヨ之レヨリ推
 論スレハ大權命令ハ法律ヲ以テ變更スルコトヲ得サルコト固ヨリ明白ナラ

大權命令
 ハ法律ヲ
 以テ變更
 スルコト
 ナ得ル平

大權命令
 ナ以テ法
 律ヲ變更
 スルコト
 ナ得ル平

内容ニ關
 シテ效力
 ノ上ヨリ
 別法ヲ分
 段ト爲ス

ン深く論セサルナリ

憲法上ノ大權ノ特立ハ帝國憲法ノ特色タリ大權命令ノ法律ヲ以テ變更スル
 コトヲ得サルモ亦他ニ之レナキトコロタリ外國ノ法律ヲ論スル者法律ノ形
 式的效力トハ命令ヲ以テ法律ヲ變更スヘカラス又同時ニ法律ヲ以テ命令ヲ
 變更スルコトヲ得ルニ在リト爲ス我カ憲法ニハ命令ノ特殊ナルモノ大權命
 令アリ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得サルハ法律ノ素ヨリ有スル效力
 タリ大權命令ト雖モ亦法律ヲ變更スルコトヲ得サルハ云フヲ竣タス憲法定
 ムルトコロノ立法ノ形式ヲ紛更スルナリ命令ノ簡易ナル手續ヲ以テ法律ノ
 複雑ナル手續ニ成レルモノヲ動カスコトヲ得ス然レトモ法律ヲ以テ大權命
 令ヲ動カスコトヲ得ス一概ニ法律ハ命令ノ上ニ在リト云フコト能ハサルナ
 リ故ニ内容ニ就テ效力ノ上ヨリ國法ヲ區別スレハ別テ三ト爲スヲ或ハ至當
 トスヘキカ一ニ曰ク法律及ヒ其ノ變例タル緊急命令ニ大權命令三ニ曰ク
 一般ノ命令ト大權命令ハ此ノ點ヨリ論スレハ寧ロ一般命令ノ群ニ在ラス法
 律ト相對立セリ相互ニ相侵スコトヲ得ス各々獨得ノ領分ヲ有シ其ノ領分ニ

在テハ唯一ノ力アリ法律ノ侵スヘカヲサルカ如ク又法律ヲ以テ大權命令ヲ變更スルハ其ノ憲法ニ定メラレタル分界ヲ超越スルモノタリ唯々大權命令ハ其ノ形式ニ於テ一般ノ命令ト異ルコトナシ故ニ之レヲ命令トシテ舉ク其ノ内容ニ就テ效力ヲ區別スルコトヲ要ス

行政命令

天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲メニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム之レヲ行政命令ト云フ一般行政ノ目的ノ爲メニ發スルトコロタレハナリ西洋諸國ノ憲法ニハ或ハ國法ヲ定ムルハ唯リ法律ヲ以テスルコトヲ得ヘシト爲シ實際ノ不便ノ爲メニ命令ヲ以テ國法ヲ定ムルコトヲ許スモノト雖モ極メテ狹ク其ノ範圍ヲ限局セリ或ハ命令ハ法律ヲ執行スルカ爲メニ之レヲ發スルコトヲ得ルニ止ルト爲ス命令ヲ以テ獨立ニ國法ヲ定ムルハ三權分立ノ本旨ニ反スト爲シ嚴ニ立法ノ作用ヲ國會ノ獨占ト爲シ唯々法律執行ノ爲メニ命令ヲ以テ僅ニ國法ヲ定ムルコトヲ得ト爲スアリ學者或ハ之レヲ窮屈ナリトシ實際ノ便宜ヲ思ヒ命令ノ範圍ヲ稍廣カラシメントスル者アリ而カモ僅カニ公共ノ安寧秩序ヲ保

持スル警察ノ目的ノ爲メニ之レヲ發スルコトヲ得ト爲スノミ彼レノ憲法ヲ解スルトシテハ之レヲ當レリトスヘキヤ否ヤ既ニ甚々疑ハシ學者警察ノ目的ノ爲メニハ命令ヲ發スルコトヲ得ルヲ論スルニ腐心セリ其ノ說精妙ナリ然レトモ假シ之レヲ學理上正シトスルモ僅カニ命令ノ活動スルコトヲ得ル餘地ヲ法律ノ執行ト安寧秩序ノ保持トニノミ限局スルハ國家ノ行政ノ目的ノ爲メニ適切ナリト爲スコトヲ得ヘキカ以テ不便不都合ナシト爲スコトヲ得ヘキカ法律ヲ以テ一般ノ動イテ止マサル事物ノ一切ヲ規律シテ遺ストコロナカラントスルハ事實ニ於テ全然爲シ得ヘカラサルトコロ今行政ノ實際ニ當リテ一法律ノ制定ヲ竣ツヘシト爲スカ然ラサレハ行政ハ活動ニ由ナシトスレハ國家ノ行政ノ目的ヲ達スル一澁滯シテ進ムコトナカラン其ノ警察ノ目的ヲ以テ之レヲ限ルモ亦々狹シ近世ノ文化國家ハ唯リ警察ノ消極的ノ政務ノミナラス人ノ心身ノ福利繁榮ヲ助長スル重大ノ職分ヲ有ス然ルニ此ノ行政ノ部分ニ就テハ常ニ法律ノ定ムルトコロニ待タサルヘカラスト爲ス殆ンド理由ナキ無用ノ限界タラン是ニオイテ我カ憲法ハ廣汎ナル

立法ノ範圍ヲ命令ニ與ヘタリ一ニハ法律ヲ執行スル爲メニ二ニハ公共ノ安寧秩序ヲ保持スル爲メニ三ニハ更ニ進ンテ臣民ノ幸福ヲ増進スル積極的助長行政ノ目的ノ爲メニ命令ヲ發スルコトヲ得ルモノトセリ

行政命令ノ名ト法規命令

行政命令ノ名ハ屢々行政機關ノ内部ノ行政規則ヲ指稱スルニ用キラルコトアリ之レニ對シテ一般臣民ニ對スル命令ヲ法規命令ト云フ以上所謂行政命令ハ寧ロ此ノ法規命令ニ屬ス名同シキカ爲メニ混同スルコト勿レ

行政命令ノ效力

行政命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ス彼ノ複雑ナル手續ニ成レルモノヲ此ノ簡易ナル手續ヲ以テ動かスコトヲ欲セサルナリ大權命令モ亦同シキトコロナリ然レトモ實ハ大權命令ニ就テハ法律ト相變更スルヤ否ヤノ效力ノ差等ノ問題起ルコトナカルヘキ筈ナリ何トナレハ大權命令ト法律トハ其ノ規定スル事項ノ範圍異ル一ハ大權事項ヲ規定シ他ハ立法事項ヲ規定スルナリ故ニ之レヲ相變更スルコトヲ得スト云フハ寧ロ範圍相越エテ侵スコトヲ得スト云フヲ以テ近シトス然レトモ行政命令ニ就テハ眞ニ法律ヲ變更スルコトヲ得サルナリ法律モ固ヨリ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ臣民ノ幸福ヲ増

行政命令ト法律トハ同一ノ範圍ニ活動ス

進スルカ爲メニ發セラル行政命令ト法律トハ同一ノ範圍ニ活動スルコトヲ得ルナリ法律ハ立法事項ヲ定ム然レトモ之レヲ超ユルコトヲ得サルニ非ス行政命令ト共同ノ領分ニ規定ヲ設クルコトヲ得ルナリ故ニ行政命令ト相變更シ得ルヤ否ヤノ效力ノ差等ヲ論スルコト極メテ必要ナリ同一ノ事項ヲ法律ト大權命令トカ規定スルコトアルコトナシ行政命令トハ同一ノ事項ヲ規定スルコトアルカ故ニ何レカ效力ノ優等ナルヲ定メテ國法ノ統一ヲ保チ適用スルコトコロヲ知ラシメサルヘカラス行政命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得ス憲法ノ明言スルコトコロタリ之レヲ逆ニ法律ヲ以テ行政命令ヲ變更スルハ自由タリ之一切ノ命令ヲ通シテ然ルトコロニ非ス大權命令ハ法律ノ侵犯スルコトヲ得ルモノニ非ス唯リ行政命令ノミ法律ヲ以テ變更スルコトヲ得ル行政命令ハ法律ノ下ニ在リ

行政命令ト法律トハ同一ノ範圍ニ活動ス

行政命令ト法律トハ同一ノ範圍ニ活動ス

帝國憲法ノ認ムルコトコロノ行政命令ノ範圍ハ極メテ廣汎ナルコト前説ノ如シ然レトモ固ヨリ無制限ニ非サルナリ自ラ一定ノ範圍ノ憲法上定ルモノナクンハアラス行政命令ノ範圍ハ積極的ニ既ニ其ノ内容トスルコトヲ得ルト

第一ノ限
テ依リ
テ定マル
法律ヲ執
行スル目
的

保安警察
ノ目的
助長行政
ノ目的

コロノ事項ヲ數ヘ舉ケラル之レヲ越エテ行政命令アルコトヲ得サルナリ行政命令ノ範圍ハ其ノ目的ニ依リ定ムル者其ノ第一ノ限界ナリ行政命令ヲ以テ定ムルヲ得ルハ一ニハ法律ヲ執行スルカ爲メナリ法律ヲ執行スル爲メト云フハ唯々法律ノ文字ノ解釋ヲ決定シ其ノ施行ノ命令タルモノニ止ラス廣ク法律ヲ執行スルカ爲メ定ムルトコロノ法規ヲ含ム爲メニ臣民ノ自由ヲ制限スルノ規定ヲ爲スモ亦許サルコトコロタリニハ公共ノ安寧ヲ保持スルカ爲メナリ即チ保安警察ノ目的ノ爲メニ發スルナリ三ニハ臣民ノ幸福増進ノ爲メナリ臣民ノ幸福ヲ増進スルト云フハ之レヲ廣ク解スレハ一切ノ國家ノ行爲一トシテ臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲メナラサルハナシト云フコトヲ得ヘシト雖モ所謂特ニ臣民ノ幸福ノ増進ト云フハ特別ノ意義ヲ有シ保安警察ニ對シ臣民ノ精神上物質上ノ發達ヲ企圖スル積極的ノ行政タル助長行政又ハ福利行政ト稱スルモノヲ指スナリ行政命令ハ此ノ三種ノ目的ノ爲メニノミ發セララルコトヲ得ルトコロニシテ此ノ目的以外ノ目的ノ爲メニ發スルハ憲法ノ許ササルトコロタリ而シテ其ノ事タル之レ等ノ事項ニ屬シ或ハ

第二ノ限
事項ニ在
リ

憲法ニ於
テ法律ヲ
以テ定ム
シテ行政
命令ハ之
ノ範圍ニ
テ定マル

第三ノ限
法律ハ一
テ定メテ
在リ

保安警察ノ目的ノ爲メタリ或ハ助長行政ノ目的ノ爲メタリト云フト雖モ必スシモ凡テ無制限ニ行政命令ヲ以テ定ムルヲ得ルト爲スコトヲ得ス憲法ニ法律ヲ以テ定ムルコトヲ必要トシタル事項ハ假令如上ノ範圍ニ屬スト雖モ行政命令ヲ以テ定ムルコトヲ得サルハ屢々論シタルトコロニ依リテ明カナラン例ヘハ居住及ヒ移轉ノ自由ヲ制限スルハ公共ノ安寧秩序ヲ保持スルカ爲メタリト雖モ行政命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ス土地ヲ徵收スルハ臣民ノ爲メニ公益ヲ進ムルニ在リト雖モ行政命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ス憲法ハ必ス法律ヲ以テ之レヲ定ムヘキコトヲ命ス憲法上ノ立法事項ハ行政命令ノ第二ノ限界ナリ之レヲ法律ヲ以テ命令ニ委任スルモ亦許サルコトコロタルハ前ニ述ヘタルカ如シ次ニ行政命令當然ノ範圍ニ在テモ若シ法律カ先ツ之レヲ定メタルトキハ行政命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ス行政命令ノ第三ノ限界ナリ行政命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得サレハナリ故ニ若シ法律カ行政命令當然ノ範圍ニ屬スル事項ニ就テ一切之レヲ占領シテ規定スルトコロアルニ至テハ行政命令ハ爲メニ活動ノ餘地ヲ失フニ至ラントス一タヒ法

律ヲ以テ定ムレハ其ノ事ハ直チニ立法事項ト爲ル憲法ノ主旨ヲ考フルニ立法事項ヲ限局スルコト頗ル狭ク行政命令ヲ以テ規定シ得ルコロヲ極メテ廣汎ナラシメ以テ國家行政ノ目的ヲ遂ケラルルニ於テ遺憾ナク一モ滯滞スルトコロナキヲ期セリ然ルニ今法律ヲ以テ行政命令當然ノ範圍ヲ奪ヒ細微ノ事モ變シテ立法事項タラシム憲法ノ精神ヲ害フコト極メテ大ナリト云フヘシ深ク立法ノ濫用ヲ慎ム

行政命令
ノ形式

行政命令ヲ發スルハ之レヲ行政機關ニ委任シテ行フコトヲ得ルハ憲法ノ認ムルトコロナリ天皇ハ行政命令ヲ發シ又ハ發セシム行政官吏ヲシテ之レヲ發セシムルハ官制ノ規定ニ依リ又天皇ノ特別ノ命令ニ依ルトコロナリ行政官吏ノ命令ヲ發スル權ノ委任ハ其權限タル事項ノ全部ニ涉ルコトアリ又特定ノ事項ニ就テノミ之レヲ與ヘラルルコトアリ現行ノ官制ニ在テ内閣總理大臣、各省大臣及ヒ北海道廳長官、府縣知事ハ一般ノ命令權ヲ有シ又特別ノ委任ニ依リ命令ヲ發スルコトヲ得ル郡長島司ハ特別ニ委任セラレタル事項ニ就テ之レヲ發スルコトヲ得ルノミ天皇親裁シテ發スルトコロノ命令ヲ勅令ト

命令成立
ノ形式

云フ以テ行政官廳ニ委任シテ發セシムルトコロノ閣令、省令、警視廳令、北海道廳令、府縣令、島廳令及郡令ト區別ス
命令成立ノ手續ハ特ニ憲法ニ定マルモノアルコトナシ法律ト區別スル所以ナリ唯公布アレハ足ル素ヨリ協贊ナシ從テ法律ニ於ケルカ如キ裁可アルコトナシ公布ニ依リテ國家ノ命令表示セラル唯々貴族院令ハ議院法ニ於テ貴族院ノ同意ヲ經テ之レヲ定ムヘキコトヲ規定ス然レトモ憲法上ノ要件ニハ非サルナリ命令ノ成立ニハ別段ノ手續ノ定メナシ

法令公布
ノ形式

法律及ヒ命令ノ公布ニ付キ法ニ其ノ式一定スルモノハ之レニ依ラサルヘカラス明治十九年二月勅令第一號公文式ハ其ノ公布ノ形式ヲ規定シタリ之レニ依レハ法律ハ親署ノ後御璽ヲ銜シ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ主任大臣ト共ニ之レニ副署ス其ノ各省主任ノ事務ニ屬スルモノハ主任大臣年月日ヲ記入シ之レニ副署ス法律公布ノ方法ニ付公文式第十條ニ於テ官報ニ掲載スルヲ以テ其ノ形式ト定メタリ法令ハ凡テ公布ノ日ニ成立シ別段ノ規定ナキトキハ即時ヨリ施行セラルルモノト爲ササルヘカラス然レトモ如此キハ實

法律公布
ノ形式及
施行時期

實際上甚々不便ナリト爲スヘキカ故ニ法律ノ施行期限ニ關シテモ或ハ各法律ニ明定スルコトアリ或ハ總テノ法律ニ共通スルトコロノ原則ヲ定メテ之レニ依ラシムルコトアリ或ハ時ヲ以テ之レヲ定メス特定ノ事實ノ發生ヲ以テ其ノ施行期限ト爲スコトアリ要スルニ何レニ依ルモ法律制定者ノ隨意ニ任ス明治三十一年六月法律第十號法例第一條ハ總テノ法律ニ關スル施行期限ヲ定メタリ即チ法律ハ公布ノ日ヨリ起算シ滿二十日ヲ經テ之ヲ施行ス但シ法律ヲ以テ別ニ之レニ異ナリタル施行時期ヲ定メタルトキハ之レニ從フ臺灣北海道沖繩縣其他島地ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ施行時期ヲ定ムルヲ得ヘシ

命令公布ノ形式

勅令ハ親署ノ後御璽ヲ鈐シ内閣總理大臣又ハ各省專任ノ事務ニ屬スル者ハ主任大臣年月日ヲ記入シ内閣總理大臣主任大臣ト共ニ副署ス閣令ハ内閣總理大臣年月日ヲ記入シ之レニ署名ス省令ハ主任大臣年月日ヲ記入シ之レニ署名スルモノトス警視廳令以下ニ就テハ明治二十六年十月勅令第百九十九號ヲ以テ之レヲ定ム警視廳令北海道廳令府縣令島廳令及郡令ニハ其ノ警視

命令ノ施行

廳令北海道廳令府縣令島廳令又タハ郡令ナルコトヲ明記シ警視總監北海道廳長官府縣知事島司又ハ郡長各之レニ署名シ公布ノ年月日ヲ記入スヘキモノトス公布ノ方法ハ官報ヲ以テスルコト公文式ニ定マル警視廳令北海道廳令及ヒ府縣令ヲ發スル方法ハ警視廳令北海道廳令又ハ府縣令ノ定ムルトロニ依ル島廳令及ヒ郡令ヲ公布スル方法ハ北海道廳令又ハ府縣令ノ定ムルトコロニ依ルコト明治二十六年十月勅令第百九十九號ノ定ムルトコロナリ斯クノ如ク公布ノ式及ヒ方法ノ定マルモノハ一ニ之レニ依ラサルヘカラス然ラサレハ法律命令ノ公布アリタルコトヲ認ムヘカラサルナリ命令ハ元則トシテ官報各府縣到達日數ノ後七日ヲ以テ施行ノ期限トス而シテ官報到達日數ハ明治十六年五月太政官第十四號布達ニ依リテ定マル但シ天災時變ニ依リ官報到達日數ニ到達セサルトキハ其ノ到達ノ翌日ヨリ起算シ北海道及沖繩縣ハ官報到達日數ヲ定メス現ニ道廳又ハ縣廳ニ到達シタル翌日ヨリ起算シ島地ハ所轄郡役所ニ到達シタル翌日ヨリ之ヲ起算スルコトト爲シタリ

憲法發布ノ國家ハ
前ノ命令ニ依リ
憲法ノ效力ナリ
布如テハ
有スルナリ
憲法發布
前ニ於ケル
命令ノ効
力形式的ナリ

法律命令ハ前述ヘタル如ク公布ノ日ニ成立ス之レニ關シ別段ノ確定ナキト
キハ其ノ時ヨリ施行セラルルモノト爲ササルヘカラス然レトモ斯クノ如キ
ハ實際上未タ人民ノ知ラサルニ行ハルルモノタラシムルモノニシテ不便ナ
リトスヘキカ故ニ一定ノ日ヲ經テ之レヲ行ハルルト爲スコト前已ニ説ケリ
但シ法律命令ニ明文ヲ設ケテ即日之レヲ施行スルコトヲ命シ又ハ別ニ施行
期限ヲ定ムルコトヲ得又規定ノ性質上之レヲ推測シ得ルトキハ之レニ依ル
法律ト命令トノ分界ハ憲法ノ發布ヲ以テ初メテ存在スルトコロ憲法以前ニ
在テハ素ヨリ二者ノ分界ナク從テ效力ノ差等アル事ナシ然ルニ憲法發布以
前ノ國家ノ命令ハ憲法ノ發布ニ依リテ必スシモ其ノ效力ヲ失フモノニ非ス
帝國憲法ハ之レヲ定メテ法律規則命令又ハ何等ノ名稱ヲ用キタルニ拘ラス
此ノ憲法ニ矛盾セサル現行ノ法令ハ從テ遵由ノ效力ヲ爲セリ然ラハ憲法發
布以前ノ國家ノ命令ハ尙ホ國家ノ命令トシテ存在ス然カモ法律ト命令ト何
等ノ形式ノ定マルコトナシ如何ンカ其ノ形式的效力ヲ有スト見ルヘキヤ其
ノ一モ議會ノ協贊ヲ經サルカ故ニ凡テ命令ヲ以テ廢止變更スルコトヲ得ヘ

立憲ノ關係
立憲ノ關係

キカ又ハ立法事項ヲ定ムルモノハ其ノ内容ノ故ヲ以テ法律ヲ以テスルニ非
サレハ廢止變更スルコトヲ得サルカ思フニ憲法發布ノ際既行ノ法令ハ遵由
ノ效力ヲ有スルコトヲ定メラレタルハ唯々其ノ國家ノ命令トシテ存續スル
コトヲ定ムルノミ内容ノ立法事項ヲ定ムルモノ變シテ形式上法律トナレリ
ト爲スニ非ス形式ハ依然トシテ憲法ニ所謂法律ニ非サレハ又從テ法律タ
ルノ形式ヲ有セス内容ノ如何ヲ問ハス命令ヲ以テ廢止スルコトヲ得ヘシト
爲スヘシ然レトモ之レヲ變更スルハ變更スルト共ニ自ラ規定スルナリ憲法
所定ノ形式ニ從ハサルヘカラス其ノ事立法事項ニ屬セハ法律ヲ以テセサレ
ハ之レヲ變更スルコトヲ得ス其ノ事大權事項ニ屬セハ法律ヲ以テ之レヲ變
更スルコトヲ得スト爲スヘシ

立法作用ノ講説ヲ終ル前ニ尙ホ一事ノ説明スヘキ重要ナルモノアリ條約ト
立法トノ關係之レヲ前ニ之レヲ述ヘタルカコトク條約ヲ締結スルハ凡テ
天皇ノ大權ニ屬ス親裁專行スルコトコトタリ議會ノ容喙スルトコロニ非サル
ナリ然レトモ天皇カ憲法ノ立法事項トスルトコロヲ内容トスル條約ヲ締結

條約ノ性質
法上ノ性質

條約ノ効力
國際的方面
國內的方面
對シテ命令
スルモノト
ナリキ

條約ノ履行
內容ノ別
ニシテハ
命令ノ必要
トスルモノ
トナリキ

憲法ノ內容
約法ノ內容
立法ノ事項
大權ノ事項
ニシテハ
命令ノ必要
トスルモノ
トナリキ

シ之レヲ今國內ニ行ハントスルトキハ自ラ條約ト立法トノ交渉ヲ生セント
ス爲メニ屢々實際上ノ困難ヲ惹起シ之レニ關スル學者ノ論モ亦一ナラス我
カ憲法ノ主旨トスルトコロヲ概説セン
抑モ條約ハ國ト國トノ約束タリ天皇ノ大權ニ屬スルトコロハ國ヲ代表シテ
外國ト國家ヲ拘束スルノ約束ヲ結フナリ條約ハ斯クノ如キノミ以テ國內ニ
於テ臣民ヲ拘束スル効力アルモノニ非ス學者或ハ國家カ義務ヲ負フハ當然
其ノ分子タル臣民モ亦義務ヲ負フト爲シ又ハ天皇カ條約ヲ締結スルハ外國
ト約束スルト共ニ臣民ニ對シテ命令スルナリト爲スト雖モ國家ト臣民トハ
素ヨリ別個ノ人格タリ國家義務ヲ負フト雖モ別個ノ人格ナリ之レカ三者タ
ル臣民ハ當然義務ヲ負フノ理由アルコトナシ國家ハ臣民ノ總代人ニ非ザル
ナリ法律上獨立ノ一人タリ又條約ヲ締結スルハ同時ニ臣民ニ對シテ命令ス
ト爲スハ何ノ根據アリテ之レヲ云フカ解スルコト能ハス條約ハ外國ニ對ス
ル國家ノ意思表示ナリ命令ハ國內ニ對スル意思表示ナリ條約ハ國際的方面
ニ効力ヲ有スレトモ國內的方面ニ國法タルノ効力ヲ有シ當然臣民ヲ拘束ス

ルコトヲ得ルモノニ非ス之レ條約ノ概念ナリ
サレハ若シ條約ヲ以テ外國ト國內ノ臣民ニ一定ノ義務ヲ負ハシムヘキコト
ヲ約束シタルトキハ國家ハ別ニ國法ノ形式ヲ以テ之レヲ臣民ニ命令セサル
ヘカラス臣民ハ條約ニ依リテ當然義務ヲ負フモノニ非サルカ故ニ之レニ義
務ヲ負ハシメテ條約ノ內容ヲ履行セントスルニハ之レヲ臣民ニ命スルコト
ヲ必要トス北亞米利加合衆國ノ憲法ハ一般ニ條約ヲ以テ直チニ國法トシテ
遵由セラルヘキモノトセリ斯クノ如クナレハ極メテ便利ナリト云フヘシ斯
カル規定ノ之レナキニ於テ特ニ臣民ニ對シ條約ノ內容トスルトコロノ義務
ヲ負ハシムヘキコトヲ國法ノ形式ヲ以テ命令セサルヘカラサルナリ
國法ノ形式ヲ以テ臣民ニ命令スルハ憲法ニ一定ノ形式定マル或ハ法律或ハ
命令タリ若シ其ノ事ニシテ憲法上法律ヲ以テ定ムルコトヲ必要トスル事項
タリ又ハ既ニ法律ヲ以テ規定スルトコロタルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムル
コトヲ得ス法律ヲ以テセサルヘカラス又若シ大權事項ニ該ルトキハ法律ヲ
以テ定ムルコトヲ得ス命令ヲ以テセサルヘカラス其ノ法律ヲ以テスヘキヤ

命令ヲ以テスヘキヤ一ニ憲法ノ分界ニ依ル其ノ條約ノ内容タルノ故ヲ以テ
 一概ニ命令ヲ以テ定ムルコトヲ得ト爲スコト能ハサルナリ蓋シ其ノ憲法第
 十三條ヲ以テ大權ニ屬セシメ天皇ノ親裁專行スルコト爲セルハ國際ノ
 條約ヲ締結スルナリ國ヲ代表シテ他國ト約束スルコトナリ其ノ内容トスル
 トヨロヲ國內ニ命スルハ第十三條ノ以テ大權ニ屬セシメタルトコロニ非ス
 條約ノ締結ハ直チニ國法の效力ヲ生セサルト同シク之レカ内容トスルトコ
 ロヲ國內ニ命スルヲ以テ直チニ又大權事項トシタルニ非サルナリ國法ノ命
 令ヲ制定スルハ別ニ憲法ノ他ノ條規ノ定メニ依ル法律ヲ必要トスルモノニ
 在テハ命令ヲ以テスルヲ得ス一概ニ論シテ命令ヲ以テスルヲ得ト爲スヲ得
 サルナリ

立憲法ノ事項ニ
 關スル條約ノ締結
 能ハサルコト
 平ルモナシ

同一ノ誤解ニ出テテ或ハ天皇ハ法律ヲ以テスルニ非サレハ臣民ニ條約ノ内
 容トスルトコロノ義務ヲ負ハシメテ之レヲ履行スルコト能ハサルカ如キ條
 約ヲ締結スルコトヲ得スト爲ス者アリ曰ク憲法ハ立法事項ト大權事項トヲ
 分ツ大權ヲ以テ立法事項ヲ侵スヲ得ス條約ヲ以テ之レヲ定ムルヲ得サルナ

條約トハ
 關セズ

條約ノ履行ノ
 困難ニ關スル
 上

リト條約ヲ以テ之ヲ定ムト云フ誤解タル所以ナカ條約ハ國ト國トノ約束ナ
 リ何ソソ立法事項ヲ定メンヤ立法事項ニ就テ國法ヲ制定センヤ條約ハ國ト
 國トノ約束ニシテ國法ニ非サルハ分明ニ之レヲ認ムルコトヲ要ス立法事項
 ト大權事項ノ區分ハ國法ヲ制定スルニ就テノ分界ヲ示スモノナリ國ト國ト
 ノ約束ノ内容ニ就テ定ムルモノニ非ス若シ條約ヲ以テ當然國法タル效力ア
 リト爲スモノハ素ヨリ立法事項ヲ内容ト爲スヲ得ストセサルヘカラス然レ
 トモ條約ハ國法ニ非ス國法ヲ定ムルニ就テノ憲法ノ法規ハ之レカ準則タル
 コトナシ極メテ簡單ナル論理タリ

然レトモ斯クノ如キハ理論ノ指示スルトコロニ從ヒ枉クルトコロナクシテ
 之レヲ云フノミ爲メニ實際上極メテ重大ナル不便ニ遭遇セサルコトヲ得ス
 何トナレハ議會ノ協贊ハ立法ノ必要手續ニシテ議會ハ自由ニ協贊ヲ拒ムコ
 トヲ得レハナリ今若シ天皇外國ト條約ヲ締結シ之レヲ實行スルカ爲ニ法律
 ヲ制定スルコトヲ要スルノ故ヲ以テ法律案ヲ議會ニ提出スルコトアランカ
 議會ハ自由ニ之レヲ拒否スルコトヲ得サルヘカラス素ヨリ議會當然ノ權限

實際以上ノ
困難ヲ以テ
理論ヲハナ
シテ非ナリ

トシテ憲法上與ヘラルルトコロタリ其ノ實際上ノ結果ハ問フトコロニ非ス
若シ之レヲ國內ニ命スルコトヲ不可トセハ議會ハ斷斷乎トシテ之レヲ拒ム
ヘキノミ若シ此ノ如キ事情ニ至ランカ條約ハ締結セラレタリ之レヲ履行セ
サルヘカラス履行セントスルニハ議會ノ協賛ヲ經テ法律トシテ國內ニ命令
セサルヘカラス而モ議會之レヲ拒ム如何ントモスルコト能ハサルトコロ憲
法ハ重ンスヘシ議會ノ正當ナル權能ヲ蹂躪スヘカラス而カモ條約ハ履行セ
サルヘカラス外國ニ對スル義務ニ背反ス
如上ノ理論ノ結果ハ動モスレハ此ノ如キ重大ナル困難ヲ惹起ス止ムヲ得サ
ルトコロナリ法理ノ實際ニ合ハサルハ屢々見ルトコロタリト雖モ此ノ如キ
ハ其ノ最モ著明ニシテ重大ナルモノタリ然レトモ理論ハ枉クヘカラス其ノ
結果ノ困難ヲ生スルコトアルハ理論ノ罪ニ非ス止ムヲ得サルトコロタリ之
レヲ避クルハ立法論トシテ講究スヘキモ解釋論トシテハ論理極メテ簡單明
白一毫ノ動スヘキ餘地ナキナリ然ルヲ世上ノ學者此ノ如クニ重大ナル不都
合ヲ生スルヲ見テ翻テ如上ノ明白ナル理論ヲ枉クルニ至ラントス種種迂餘

學說ノ二
條約ノ締
結ハ同時
ニ國內ニ
命令スル
ナリトス
ル

議會ノ同
意ヲ以テ
性質上約
件ノ成立
トモトス
ル

曲折ノ説明ヲ爲スニ至レリ其ノ意ハ酌ムヘシト雖モ到底論理ノ正鵠ヲ得ル
コト能ハサルハ其ノ處タリ一應其ノ著シキモノ二三ヲ擧ケテ之レヲ示スヘ
シ
其ノ條約ニ依リテ臣民ハ當然義務ヲ負フ必スシモ別ニ之レヲ命令スルノ手
續アルコトヲ要セスト爲シ又條約ノ締結ハ同時ニ國內ニ對スル命令ヲ與フ
ルナリト爲スノ條約ノ觀念ニ反スルハ前述セルカ如シ此ノ如キ見解ヲ採レ
ハ如上ノ困難ハ發生スルコト固ヨリナシト雖モ條約ハ國ト國トノ約束タル
性質上到底之レヲ採ルコトヲ得サルナリ
或ハ曰ク條約ノ内容カ立法事項ニ關スルトキハ後ニ議會ノ協賛アルニ非サ
レハ行ハルルコト能ハス故ニ天皇カ斯ル内容ヲ有スル條約ヲ締結スルハ議
會ノ同意ヲ以テ性質上其成立ノ條件トスル者ナリト然レトモ二三ノ國ノ憲
法ノ如ク一定ノ條約ノ締結ハ議會ノ同意ヲ經ル事ヲ要スト爲ス者ニ在テハ
或ハ斯ノ如シト爲スコトヲ得ヘシト雖モ此ノ如キ憲法ニ就テモ學者ハ或ハ
議會ノ同意ハ條約ノ國內ニ行ハルル效力ヲ發生スルノ要件タリト爲ス者ア

リ假シ之レヲ條約ノ條約トシテ成立スルノ要件ト爲スモ斯クノ如キ特別ノ規定ヲ俟テ初メテ然ルトコロニシテ帝國憲法ノ如ク條約ノ締結ハ絶對的ニ天皇ノ大權ニ屬スト爲スモノニ在テハ條約ノ實行ノ爲メニ議會ノ協賛ヲ必要トスルコトアリト雖モ條約其ノ者ノ成立ハ天皇ノ獨リ任スルトコロニシテ國ト國トノ約束トシテノ成立ハ議會ノ同意ヲ要スルモノニ非スト爲ササルヘカラス

或ハ曰ク議會ハ國家ノ機關タリ國家ノ機關ハ國家ノ一部タリ國家カ義務ヲ負フトキハ當事者ノ一部タル議會ハ當然之レカ拘束ヲ受クルモノニシテ其ノ執行ノ爲メニ必要ナル法律ノ協賛ヲ拒ムコトヲ得スト之レ他ノ極端ヨリ前述ノ困難ヲ救ハントスルモノナリ之レヲ憲法ノ規定ニ就テ天皇ハ條約ヲ締結スト爲ス之レカ爲メニ議會ノ協賛權ヲ眼中ニ置カサルヲ得ルコトヲ例外トシテ認ムルナリト論スル者アリ北亞米利加ノ憲法ハ條約ハ直接ニ國法タリト爲ス此ノ規定ノ下ニ在テハ或ハ條約ハ當然議會ヲ拘束スト論スルノ餘地アラン然レトモ我カ憲法ノ如キ規定ノ下ニ在テ斯ノ如キ結論ヲ採ルト

議會ハ條約履行ノ爲メニ必要ナル法律ヲ協賛スルコトヲ得ルノ説トス

キハ天皇ハ隨意ニ條約ヲ以テ立法事項ヲ定メ之レヲ國內ニ行ハントスルトキハ議會ハ協賛ノ自由ヲ失フト爲スモノニシテ憲法ノ特ニ立法事項ヲ定メ之ヲ定ムルハ法律ヲ以テスヘシト爲セル所以ノ主旨ヲ没却スルニ至ラントス議會カ協賛ヲ拒ムコトヲ得ストスレハ協賛ハ何ノ爲メノ手續ナルカ天皇ノ親ヲ專行シテ定ムルト異ルコトナシ法律命令ノ分界亡ハル憲法ハ重ンセサルヘカラス立憲政體ハ重ンセサルヘカラス條約ノ履行ノ故ヲ以テ憲法ヲ蹂躪スルハ特ニ憲法之レヲ許スノ明文アルニ非サレハ認ムヘカラサルトコロタリ加之此ノ説ハ條約ヲ以テ當然ニ國內ニ效力アリト爲スモノ其ノ誤謬深ク論セサルナリ

結論

之レヲ要スルニ帝國憲法ノ定メニ在リテハ條約ノ締結ハ全然天皇ノ大權ニ屬ス其ノ内容ノ如何ヲ問ハス天皇ハ絶對的ニ無制限ニ之レヲ他國ト約束スルコトヲ得議會ノ干與ヲ容レサルナリ之レヲ憲法第十三條ノ定ムルトコロナリ而シテ他方ニ立法事項ヲ定ムルハ必ス法律ヲ以テセサルヘカラスシテ議會ノ協賛ノ拒否ハ常ニ自由ナリ若シ條約ヲ實行スルカ爲メニ國內法ヲ必要

トスルアリテ立法事項ヲ内容トスルアラハ必ス議會ノ協賛ヲ經テ之レヲ國內ニ命セサル可ラス而シテ議會ハ其獨立ノ意見ニ依リ自由ニ協賛ヲ與フルコトヲ拒ムコトニ付キ憲法ハ之レニ何等ノ制限ヲ設ケサルナリ爲メニ條約ハ履行スルコトヲ得サルノ結果ヲ來シ外國ニ對シテ義務ヲ履行スルコトヲ得サルニ至ルト雖モ又止ムヲ得サルトコロタリ憲法ノ自然ノ結果ナリ爲メニ重大ノ困難ヲ生スト雖モ止ムヲ得サルナリ唯タ此ノ困難ヤ國際上ノ困難不都合タリ國際上ノ義務履行ノ問題タリ國內ノ關スルトコロニ非ス理論上國際關係ト國內關係トハ明白ニ之レヲ區別スヘキナリ

或ハ立法政策ノ講究トシテ如上ノ實際上ノ不都合ヲ救フカ爲メニ天皇ハ條約ヲ締結スルニ一定ノ事項ニ關スルモノハ豫メ議會ノ同意ヲ經ヘシト爲スヘシト爲ス者アリ或ハ適切ナリトセン然レトモ之レ立法論タルノミ現行憲法ノ解釋ニ非サルコトヲ注意セサルヘカラス又天皇ハ條約ヲ締結スルニ當リ之レニ附隨シテ議會ノ同意ヲ經テ成立スルコトヲ約定スヘシト爲スモノアリ極メテ適當ノ手段タラン然レトモ之レモ亦或ハ之レヲ希望スト云フノ

立法政策ノ講究問題トシテハ如何

ミ憲法上之レヲ必要トスト爲スハ非ナリ

第二節 帝國議會

議會ヲ設ケルハ立憲政體ノ要義ニシテ統治ノ作用ニ民主的原素ヲ加味スルニ在リ——議會ヲ組織スルノ主旨ハ依テ國民カ選舉ヲ方法トシテ國政ニ參與スルナリ——議會ノ國法上ノ地位及性質——議會ハ法律上臣民ヲ代表スル者ナリト論スルハ非ナリ——選舉ハ法律上ノ授權行爲ニ非ス——立法ニ參與スルモノハ議會ニシテ臣民全體ニ非ス——議會ヲ設ケルノ主旨ト其ノ法律上ノ關係トヲ混同セザランコトヲ要ス——議會ハ選舉區ヲ代表スルモノニ非ス——議員ハ選舉人ヲ代表スルモノニ非ス——帝國議會ハ間接機關ニシテ直接機關ニ非ス——帝國議會ハ國家ノ立法作用ノ機關ニシテ又行政ヲ監視スルノ職分ヲ有ス——帝國議會ハ天皇ノ立法スル手續ニ參與ス——帝國議會ハ非獨立機關ナリ——帝國議會ノ定義——帝國議會ノ權限——權限ノ範圍ハ一ニ憲法ニ依リテ定マル——第一、立法作用ニ參與スル權限——立法ニ參與スル形式——協賛ノ特質——承諾ノ特質——協賛ト承諾トノ差異——上奏、建議、請願——上奏ノ内容及方式——建議ノ内容及方式——請願ノ受理——議會ノ國務大臣ニ對スル質問——第二、行政作用ヲ監視スルノ權限——行政作用ノ監視ハ極メテ眼局セラル——行政監視ノ形式——豫算ニ對スル協賛及豫算外支出ノ事後承諾及其他ノ事項——帝國議會附隨ノ權限——議院内部ノ整理ニ必要ナル規則ヲ制定スルコト——議院内部ノ警察ヲ行フコト——懲罰ヲ課スルコト——議院内部ノ組織ヲ定ム

ルコト——議員ノ資格ヲ審査スルコト——議員ノ逮捕ニ付許諾ヲ與フルコト——請暇及辭職ヲ許可スルコト——帝國議會ノ組織——二院制度ノ組織——一院制度ト二院制度トノ利害ヲ論ス——二院制度ハ事ヲ慎重ニス——二院制度ハ議會ト政府トノ衝突ヲ緩和ス——二院制度ハ多數專制ノ弊ヲ匡正ス——二院議決ノ一致ハ帝國議會ノ議決ヲリ——二院ノ議決ノ權限ハ對等タリ——兩議院協議會——貴族院ノ組織——資格——衆議院ノ組織——選舉人——有權者ノ資格——選舉權ヲ有セサル者——制限選舉ト普通選舉——選舉名簿ニ關スル異議ノ申立——被選舉資格——被選舉權ヲ有セサル者——選舉區——小選舉區ト大選區ト——選舉ノ方法——間接選舉ト直接選舉——投票——單記投票ト連記投票トノ利弊——制限連記法——集積投票法——順位投票法——單記投票ノ方法ハ比例代表少數代表ノ目的ニ出テタルモノナル乎——比例代表少數代表ハ實際ニ於テ行ハルルモノニ非ス——無記名投票ト記名投票トノ利弊——投票ハ一人一票ニ限リ代理投票ヲ許サス——投票區及選舉會——當選人——當選人ハ當選諾否ノ自由ヲ有ス——當選證書——選舉訴訟——當選訴訟——選舉ヲ行フ定時——議員ノ自ラ集會シテ會議スルモ議會ト認メス——議員ノ召集——定時議會——臨時議會——召集ノ方式——兩議院ノ成立——議會ノ開會——議事ノ定足數——議事ノ整理——議事日程——法律案ノ議決方法——政府提出ノ議案ニ對スル議決ノ方式——委員會——議案修正ノ動議——國務大臣及政府委員ノ發言權——會議ノ公會——議會ノ停會——停會日程ノ制限——停會ハ全會期ヲ盡スコトヲ得ル乎——停會ト閉會ト異ナル點——議會ノ休會——休會ト停會トノ異ナル點——議會ノ閉會——會期不繼續ノ原則——議會ノ會期——會期ハ天皇ノ閉會ヲ命スルノ標準ニシテ之レヲ經過ニ依リテ

テ當然閉會スルモノニ非ス——閉會ノ時期——會期ノ延長——臨時議會ノ會期——衆議院ノ解散——解散ノ主旨——天皇ハ便宜ノ爲メニ解散ヲ命スルコトヲ得ル乎——解散後ノ選舉及召集——衆議院解散ノ場合ニ於ケル貴族院ノ停會——此停會ハ通常ノ停會ト異ナル——議員タル地位喪失ノ原因——議員ノ權利——發言表決ノ自由——發言表決ノ自由ハ單純ナル事實ノ陳述ニモ及フヤ——發言表決ノ自由ハ委員會ニ於ケル意見ノ陳述ニモ及フヤ——議長ノ許可ヲ得サル發言ニ付テ其ノ責ヲ負フヤ——議院内ニ於テハ無責任ナキ乎——身體ノ自由——議院ノ許否——身體自由ノ範圍ハ犯罪ノ種類及時期ニ制限セラル——歳費ノ受領——議員ノ義務——義務違背ノ制裁及代理ノ禁制

民選ノ原素ヲ具フル議會ヲ以テ國家ノ立法作用ニ參與スルノ機關ト爲スハ立憲政體ノ最重要ナル綱目タリ議會ハ以テ臣民ヲシテ國政ニ參與セシムル所以ノ具タリ議會ヲ設クルノ精神ハ此ニ臣民ヲ代表セシメ一般臣民ノ之ヲ行フカ如ク國政ニ參與セシムルニ在リ立憲政體ノ要義ノ一ハ統治ノ作用ニ民主的原素ヲ加味スル事ニ在リト云ヘル者實ニ議會ニ於テ具ハル議會ハ此ノ主旨ニ依リ臣民ヲシテ國政ニ參與セシムルノ具トシテ立憲政體ノ國ニ於テ存スルトコロナリ

蓋シ立憲政體ノ最初ノ起原ハ實ニ民主主義ノ理想ノ實現其ノ一ニ居リシコ

議會ヲ立設クルハ立憲政體ノ要義ニシテ統治ノ作用ニ加味スルニ在リ

議會ヲ組織スルノ主旨

依テ國民
カ選舉シ
方トシテ
法政ニ
ナリ
ナリ
ナリ
ナリ

ト屢々之レヲ説ケルカ如シ民主主義ハ議會ヲ以テ人民ノ代表者ト爲シ之レ
ヲ以テ立法者ト爲シ其ノ定ムルコロヲ以テ國家最高ノ意思ト爲シ之レヲ
以テ諸他ノ國家ノ作用ヲ制御セシムルコロヲ希望セリ此ノ希望ハ立憲運動
ノ諸國ニ傳播スルト共ニ漸ク圓熟シテ君主國體ヲ調和シ憲法ノ君主國體ノ
國體ニ制定セラレルニ及ンテハ固ヨリ其ノ儘ノ理想ノ如クニ形ノ上ニ見ハ
レテ採用セラレタルコトナシト雖モ此ノ理想希望ノ結果トシテ國民代表ノ
主旨ニ成ル議會ヲ以テ立法ニ參與スルノ機關ト爲シ之レヲ立憲政體ノ一要
素ト爲スニ至レリ君主國ニ於ケル議會ハ固ヨリ之レヲ立法者ト爲スコト能
ハス統治權ヲ總攬スル者ハ君主タリ立法モ亦君主ノ總攬シ行フトコロニ屬
ス露骨ナル民主主義ノ思想ノ如ク議會ヲ以テ立法者ト爲スハ君主國ノ憲法
ノ規定ニ非ス然レトモ議會ヲ以テ國民ノ代表者ト爲シ以テ國民ノ國政ニ參
與スルノ具ト爲スハ實ニ民主主義ノ思想ノ流影ニシテ諸國ノ憲法ノ皆主旨
トスルコロナリ此主旨ニ成ルヲ以テ議會ハ立憲政體ノ主要ナル一原素タ
リ中世ニ在テ社會ノ階級ヲ代表スル議會アリ近世立憲政體ノ議會ハ之レニ

議會ノ國
法上ノ地
位及性質

反シ國民ヲ代表スルモノナルコトヲ以テ主旨トス云ハハ全國民ノ總會ヲ以
テ主旨トスルモノナリ唯々全國民ノ總會ナルモノハ小國ニ非サレハ行ハル
ルコト能ハズ又々極メテ實際上ノ不便ヲ多シトスルカ故ニ國民ノ中ヨリ少
數ノ人物ヲ選出セシメ之レヲ以テ議會ヲ組織セシム依テ以テ國民ハ全體ニ
參與スト爲スナリ國民ガ自ラ國政ニ參與スルハ選舉ヲ其ノ方法トシ之レニ
依リテ組織シタルモノハ國民全體ノ代表者ト爲スコト近世議會制度ノ主旨
タリ要スルニ立憲政體ニ於ケル議會ハ國民ノ代表者タルコトヲ主旨トシ之
レヲ以テ立憲政體ノ一要素タルナリ
議會ハ國民カ國政ニ參與スル所以ノ具タルコトヲ主旨トス我カ憲法ノ之レ
ヲ設ケタル所以モ亦是ニ在リ然レトモ唯々主旨精神ニ於テ然リト云フノミ
其ノ法律上ノ性質ニ至テハ素ヨリ天皇ノ立法ノ事ヲ行フカ爲メニ用ユルト
コロノ機關タリ臣民ヲ代表スト爲スハ法律上何等ノ意義ナシ其ハ唯々政治
上ノ關係ヲ云フノミ制度ノ主旨然リト云フノミ素ヨリ明白ナルトコロタラ
ン然レトモ或ハ法律上ノ意義ニ於テ議會ハ臣民ヲ代表スル者ナリト論スル

議會ハ法律上代表スル民
トナレバ代表スル民
ハ非ナリ

選舉ハ法律上ノ權
行爲ニ非ス

立法ニ參與スルモ議會ニ
非ス

議會ヲ設ケルノ主
旨トシテ其ノ上ノ
關係ヲトサシテ
混同ス

者アリ一應辯明シテ誤解ヲ防クコトヲ要スルニ似タリ抑モ憲法ニ議會ヲ設
クルハ臣民全體ノ意見ヲ聽テ國家ノ立法ノ事ヲ行ハンコトヲ欲シ臣民全體
ヲ事實上適當ニ代表スルコトヲ得ル方法トシテ主トシテ選舉ノ方法ニ依リ
テ之レヲ組織シ而シテ之レヲ立法ノ手續ノ間ニ參與セシメテ以テ立法ノ公
正ヲ誤ルコトナカラシムコトヲ期スルニ在リ然レトモ議會ハ法律上臣民ヲ代
表スル者ニ非ス之レヲ以テ臣民ヲ代表スル者ト爲スハ臣民全體ナル者カ團
體トシテ人格ヲ有スト爲ササルヘカラス然ルニ臣民全體ナル者ハ素ヨリ一
ノ獨立ナル人格ヲ有スルモノニ非ス其ノ權利ヲ委任シテ代表セシメ自己ノ
意思ヲ發表セシムルコトアルヲ得ス或ハ必スシモ委任ナシトテ代表アルコ
トヲ得ヘシト雖モ臣民全體トシテ人格アルコトヲ認ムルニアラザレハ其ノ
代表者アルコトヲ認ムルコトヲ得サルナリ加之レヲ代表スル者ト爲スト
雖モ議會ヲ以テ臣民全體ノ機關ナリト云フニ至テハ斷シテ非ナリ機關ノ眞
義ハ前ニ述ヘタリ臣民全體ト議會トノ間何等ノ機關タル關係アルコトヲ認
ムルコトヲ得サルナリ選舉ハ臣民ニ議會ヲ組織スルニ就テ參與セシムルノ

ミ其ノ主旨ハ素ヨリ臣民ノ意見ヲ代表スル者ヲ以テ之レヲ組織セシムルニ
在ランモ選舉權ヲ臣民ニ與フルハ立法ニ參與スルノ權ヲ臣民全體カ有スル
コトヲ認メ之レヲ代表シテ實行セシムルカ爲メニ選舉セシムルニ非ス立法
ニ參與スル者ハ議會ニシテ臣民全體ニ非ス臣民全體ハ立法ニ參與スル機關
タル地位ヲ與ヘラレタルニ非サルナリ選舉ノ法律上ノ意義ハ唯タ臣民ヲシ
テ議會ヲ組織スル議員ヲ舉ケシムル方法タルノミ代表委任ノ方法ニ非サル
ナリ論者或ハ議會ヲ以テ臣民ヲ代表スル者ニ非スト爲ストキハ立憲政體ノ
主旨トスルトコロヲ沒ス立憲政體ノ下ニ於ル臣民ハ議會ヲ以テ自己ノ代表
者タルコトヲ確信スルニ反スト爲シ其ノ說ヲ主張スル者アリ此ノ點ニ注意
シテ誤解セサランコトヲ要ス予モ亦立憲政體ノ主旨ハ議會ヲ臣民ノ代表者
ト爲スニ在リトセリ然レトモ之レ立法ノ主旨此ニ在リト云フノミ法律上ノ
觀念ニ非サルナリ分リ易ク云ヘハ議會ハ事實上臣民ノ政治上ノ輿論ヲ代表
シ民情ヲ表彰ス所謂臣民全體ノ地圖タルコト事ノ自然ニシテ憲法ノ望ムト
コロナリ然レトモ法律上代理代表ト爲シ得ヘキ關係ハ臣民ト議會ノ間ニ成

立スト爲スヘカラスト云フナリ選舉ハ政治上臣民ヲシテ代表者ヲ出サシムル所以ナリ然レトモ法律上代表ノ關係ヲ生スル原因ニ非スト云フナリ法律上ノ意義ニ於テ代表ノ關係ナシト云フハ論者ノ所謂立憲政體ノ主旨モ此ニ在ラスト爲シ臣民ノ確信モ誤謬ナリトスルニ非ス主旨ハ此ニ在リ確信ハ正シ然レトモ法律上ノ説明トシテハ代表ト云ハスト云フナリ再思シテ其ノ誤レルコトヲ覺ルヘシ譬ヘハ日本ハ東洋ヲ代表スト云フハ政治上正シケレトモ法律上意義ナシト同シ或ハ二三ノ國ノ憲法ニ議會ハ全國民ノ代表者ナリト斷言スルモノアリ之レ等ノ國ニ在テモ議會ハ國民ノ代表者ナリト爲スコトヲ得ス之レ等ノ規定ノ主旨ハ中世ノ議會ノ如ク或ル階級ヲ代表スルモノニ非サルコトヲ示スノ意ヲ存スルモノニシテ進ンテ積極的ニ法律上議會ハ國民ノ代表者タリト宣言スルニ非サルナリ

議會ハ臣民全體ノ代表者ニ非ス又各選舉區ヲ代表スル者ニ非ス此ハ主旨ニ於テモ既ニ然ラサルトコロタリ主旨ニ於テ議會ハ臣民全體ノ代表者ナリ一地方ノ利益ヲ代表スル者ニ非ス國家ノ公ノ機關ニシテ一地方ノ私ノ機關ニ

議會ハ選
舉區ヲ代
表スルモ
ノニ非ス

非ス國家ノ公益ニ考ヘテ立法ノ事ヲ議スヘク地方ノ利益ノ爲メニ國家ノ公益ヲ忘ルルコトヲ許サス加之法律上ノ觀念トシテ選舉區ハ素ヨリ權利主體ニ非ス立法ニ參與スルコトヲ得ル者ニ非ス何ソ代表者ヲ出シテ立法ニ參與スルコトヲ委任スルコトアルヲ得ンヤ

議員ハ選
舉人ヲ代
表スルモ
ノニ非ス

議會ヲ組織スル議員ハ又各選舉人ヲ代表スル者ニ非ス選舉人カ或ル人ヲ投票スルハ自己ヲ代表スルコトヲ委任スルモノニ非ス議會ノ議員ハ憲法ノ定ムルトコロニ依リ一定ノ地位ヲ有シ國家ノ立法ノ作用ニ參與スルナリ選舉ハ斯クノ如キ憲法上ノ地位職分ヲ有スル國家ノ機關ヲ組織スル人ヲ定ムル方法ノミ此ノ意義ニ於テ選舉モ任命モ又抽籤モ異ルコトナシ特ニ選舉ノ方法ヲ用ユルハ政治上ノ意義ヲ有スレトモ法律上選舉ノ方法ニ別段ノ意義アルコトナシ選舉ヲ以テ議會ヲ組織スルノ方法ト爲スハ政治上臣民ヲシテ國政ニ參與セシムルノ主旨ヲ有スレトモ臣民カ各々國家ノ立法機關タルニ非ス立法機關タルハ此ノ方法ニ依リテ組織セラレタル議會ナリ議會ハ獨立ニ臣民ノ選舉トハ關係ナク國家ノ機關タリ議員ハ憲法ノ定ムルトコロニ依リ

帝國議會
ハ間接機
關ニシテ
ハ直接機
關ニ非ス

議會ヲ組織ス其ノ權利ヲ臣民ヨリ附與セラレ委任セラレテ行使スルモノニ
非ス議員ノ選舉ハ代理ノ委任ノ方法ニ非ス唯リ法律上然リト云フノミナラ
ス政治上ノ意義ニ於テモ議員ハ各々全國民ノ代表者タリ各々自己獨立ノ意
見ヲ以テ全國民ノ公益ヲ考ヘ立法ノ事ニ參與スヘキナリ
議會ハ立憲政體ノ要素ナリ立憲政體タレハ必ス政治上臣民ノ代表者タル主
旨ヲ有スル議會アリテ國家ノ立法作用ニ參與セシメラル如上ノ説明ノ如シ
然レトモ之レヲ誤リ解シテ議會ハ國家ノ直接機關タリト爲スコト勿レ直接
機關トハ國家ノ組織ノ要素トシテ國家ノ組織ト共ニ存在スル機關ヲ云フ前
ニ之レヲ説キ盡セリ直接機關トハ國家ノ根本的必要ナル機關ニシテ之レナ
ケレハ國家ノ組織アルコト能ハサルノ機關ヲ云フ天皇ハ帝國ノ直接機關ナ
リ帝國ノ存在ト共ニ存在シテ帝國ト終始シ帝國ノ組織アルト共ニ直接ニ固
有ニ國家機關タリ議會ノ直接機關ニ非サルハ之レト比較スレハ極メテ明白
ナリ議會ハ帝國ノ存在ト共ニ存在セルトコロニ非ス帝國ト終始ズルトコロ
ニ非ス議會ナシト雖モ帝國ハ存在ス不具ノ國家トハナラサルナリ議會ハ帝

帝國議會
ハ國家ノ
立法作用
ニシテ機
關トシテ
又ハ行政
ノ監視
シテ政治
ヲ監督ス
ルナルヲ
分ナル有
ス

國カ立憲政體ヲ採用スルト共ニ特ニ設ケラレタル國家ノ機關タリ帝國ノ組
織アルト共ニ當然ニ直接ニ存在スルモノニ非ス立憲政體ハ國家ト區別スヘ
シ國ノ根本ノ組織ノ問題ニ非ス議會ハ立憲政體タルニ缺クヘカラサルノ要
素ナレトモ國家ノ直接機關ニ非ス間接機關タリ天皇カ之レヲ設ケ之レニ一
定ノ權限ヲ與ヘ之レヲ國家ノ機關ト爲スニ依リテ國家ノ機關タル者ナリ
議會ノ立憲政體ノ要素タルハ三權分立ノ主旨ニ從ヒ國家ノ立法作用ノ機關
タルニ在リ露骨ナル三權分立ハ君主ヲ以テ行政作用ノ機關ト爲シ裁判所ヲ
以テ司法作用ノ機關ト爲シ議會ヲ以テ立法作用ノ機關ト爲スニ在リ其ノ漸
成圓熟シテ君主國ノ立憲憲法ニ採用セラレタルモノ議會ハ立法作用ノ機關
タルコトヲ立憲政體ノ要求トス帝國憲法ハ定メテ曰ク天皇ハ帝國議會ノ協
贊ヲ以テ立法權ヲ行フ又曰ク凡テ法律ハ議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ要ス法律
ハ立法作用ノ最モ主要ナルモノタリ議會ハ之レニ協贊スルコト憲法上ノ要
件タリ而シテ議會ハ其ノ主タル職分ヲ立法作用ノ機關タルニ存スト雖モ亦
立憲政體ノ三權相節制シテ專横ニ至ラシメサルノ主旨ニ依リ行政ノ全般ニ

對シテ監視ノ職分ヲ附與セラレタリ其ノ最モ著シキハ國家ノ歲入歲出ハ每年豫算ヲ算ヲ議定スルコトナリ帝國憲法ハ定メテ曰ク國家ノ歲入歲出ハ每年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシト其ノ他議會ハ國家ノ財政ヲ監視スル種種ノ方法ヲ與ヘラル又上奏建議等ノ方法ヲ以テ國家ノ行政作用ノ全般ニ就イテ監視スルノ機關タリトセラル後ニ詳述スルカ如シ議會ハ之レヲ以テ立憲政體ノ要素タリ國家ノ立法作用ノ機關ニシテ又行政ヲ監視スルノ職分ヲ有ス議會ハ國家ノ立法作用ノ機關タリ而シテ其ノ立法作用ニ干與スルノ程度ハ國國必スシモ同一ナラス極メテ廣キモノヨリ甚ク狹キモノニ及フ然レトモ如何ニ之レヲ廣クスルモ君主國體ノ國ニ在リテハ議會ヲ以テ立法者タリ立法權ノ主體タリト爲スコト能ハサルハ云フ迄モナシ固ヨリ我カ純正ナル君主國體ニ在リテハ帝國議會ハ天皇ノ立法スルニ參與スルノミ自ラ立法スルモノニ非サルハ又論スルコトヲ用キサラン民主主義ノ極端ナル理想ハ議會ヲ以テ立法者ト爲スニ在リ國家最高ノ機關ト爲スニ在リ然レトモ之レ君主國體ニ採用スルヲ得ルトコロニ非ス君主國體ニ在テハ君主ハ統治權ヲ總攬

帝國議會
ハ天皇ノ
立法スル
手續ニ參
與ス

帝國議會
ハ非獨立
機關ナリ

帝國議會
ノ定義

ス帝國憲法ハ特ニ之レヲ明カニシテ天皇ハ統治權ヲ總攬スト爲セリ立法作用モ亦統治ノ一部タリ天皇ノ行フトコロタラスンハ非ス天皇ハ議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ天皇之レヲ行フナリ議會ハ之レニ協贊スルノミ協贊スルハ天皇カ立法スル手續ニ與ルコトヲ云フ此ノ他ニ意義ナシ議會ハ自ラ立法スルニ非ス議會ハ獨立ニ國家ノ意思ヲ生シ得ルモノニ非ス之レヲ立法者トスルハ君主國體ノ義ト相容レス天皇ノ地位ニ反スルナリ又議會ハ天皇ト共同シテ立法スルニ非ス議會ト天皇トノ合同體ヲ以テ統治權ノ總攬者ト爲スハ我カ國家ニ非ス我レハ純正ナル君主國體ナリ一人ノ天皇ヲ以テ統治權ノ總攬者トス議會ハ天皇ノ之レヲ行使スルノ手續ニ參與スルノミ議會ハ非獨立機關タリ其ノ意思ハ直ニ其ノ儘ニ國家ノ意思トシテ臣民ニ對シ效力アルモノニ非ス天皇ノ立法スルニ參與スルノミ

以上議會ノ國法上ノ地位性質ヲ約言スレハ議會ハ立憲政體ノ要素タル機關ニシテ臣民全體ヲ代表スル政治上ノ主旨ヲ有シ立法ニ參與シ行政ヲ監視スル國家ノ間接機關ナリ而シテ非獨立機關ナリ

議會ハ國家ノ間接機關タリ天皇ナル直接機關ニ依テ生スル國家ノ意思ヲ以テ設クルトコロナリ其ノ地位權限ハ天皇ノ定ムルトコロニ依ル國家ノ組織上直接ニ議會タルノ性質トシテ定マルトコロアルニ非サルナリ議會ハ立憲政體ノ要素ニシテ從テ所謂憲法上ノ機關タリ憲法ニ依リテ其ノ地位權限定メラレ憲法ヲ變更スルニ非サレハ議會ヲ廢シ其ノ權限ヲ伸縮スルコトヲ得ス普通ノ立法ノ方法ヲ以テ之レヲ動カスコト能ハサルナリ然レトモ前ニ述ヘタル如ク帝國憲法ハ純粹ナル欽定憲法ナリ憲法ハ天皇ノ定メタルトコロナリ之レヲ改廢スルモ亦一ニ天皇ノ權能ニ屬ス議會ヲ憲法上ノ機關ト云フハ其ノ地位權限一ニ天皇ノ定ムルトコロタルヲ示ス間接機關タル所以ナリサレハ議會ハ憲法ノ定ムルトコロニ依テ國家ノ機關タル地位ヲ保有シ其ノ權限ノ範圍一ニ之レニ依テ定マル憲法アリテ初メテ存スルトコロ憲法ノ定ムルトコロノ外ニ其ノ權限ヲ推擴シテ解釋スルコトヲ得サルナリ議會ノ權限ハ實質上積極的ニ憲法ノ與ヘラレタルトコロニ限リ消極的ニ憲法ノ許ササルトコロニ及ハス而シテ其ノ之レヲ行フノ形式モ亦憲法ニ定マル議會ノ

權限ハ積極的ニ消極的ニ實質ニ形式ニ定マル消極ノ禁止ニ非サルカ故ニ凡テ之レヲ行フコトヲ得ルニ非ス實質上其ノ權限ニ屬スルカ故ニ凡テノ方法ヲ以テ之レヲ行フコトヲ得ルニ非ス又議會ノ權限ハ同時ニ其ノ職務ナリ憲法ノ命スルトコロ必ス之レヲ行ハサルヘカラス

帝國議會ノ權限ニ屬スル事項ノ第一ハ前ニ說ケルカ如ク國家ノ立法作用ナリ憲法ノ定ムルトコロ天皇ハ議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フ凡テ法律ハ議會ノ協贊ヲ要ス立法權及ヒ法律ノ何タルコトハ既ニ之レヲ述ヘタリ天皇カ議會ノ協贊ヲ經テ定ムルトコロノ國法ヲ法律ト云ヒ此ノ作用ヲ立法ト云フ形式的ノ意義ナリサレハ凡テ國法ヲ制定スルハ議會ノ參與スルノ範圍ニ非ス國法ヲ定ムルハ別ニ命令ノ形式アリ議會ノ參與スルトコロニ非サルナリ唯テ所謂立法事項ハ議會ノ參與ヲ竣テ定メサルヘカラス積極的ニ議會ノ權限ニ屬スル事項ヲ定ムルナリ此ノ事項ヲ外ニシテ天皇カ法律ノ形式ヲ以テ之レヲ定メントスルトキハ議會ヲシテ之レニ參與セシムルコトヲ得ヘシ立法事項ハ議會ノ權限ヲ積極的ニ定ムルヨリモ寧ロ命令ノ範圍ヲ消極的ニ限

ルナリ然レトモ議會ノ立法ニ參與スル範圍ニモ亦消極的ノ限界ノ定マル
リ前ニ法律ノ限界トシテ述ヘタルトコロヲ參照セヨ一ニハ憲法ヲ以テ定ム
ル事項ナリ二ニハ皇室典範ヲ以テ定ムル事項ナリ三ニハ憲法上ノ大權事項
ナリ憲法上ノ大權事項ヲ以テ立法ノ消極的限界ト爲スハ我カ憲法ノ特色ナ
リ特ニ注意スルコトヲ要ス

立法ニ參
與スル形
式

以上ノ範圍ニ於テ議會ハ立法作用ニ參與スルノ權限ヲ有ス然レトモ範圍ニ
屬スル事項ニ就テ議會ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ之レニ參與スルコトヲ
得ト爲スヘカラス憲法ハ其ノ方法形式ヲ定メタリ議會ハ此ノ形式ヲ以テ立
法ニ參與ス此ノ形式ニ依ラズシテ立法ニ參與スルコトヲ得ス

協贊ノ特
質

議會カ立法ニ參與スルノ形式トシテ憲法ニ定ムルトコロノ第一ハ協贊ナリ
協贊ハ議會カ立法ニ參與スルノ形式ノ主タルモノナリ協贊ハ法律案ノ議決
ヲ以テ天皇ノ立法スルニ與ルコトヲ云フ法律制定ノ手續ノ一ニ與ルコトヲ
云フ協贊ハ自ラ法ヲ制定スルカ爲ニ非ズ天皇ト共同シテ立法スルニ非ズ天
皇カ法律ヲ制定シ之レヲ命令スルニ當リ何ヲ其ノ內容實體トスルカニ就テ

天皇ニ意見ヲ上ルナリ此ノ如キ內容ヲ有スルモノ之レヲ法律トスルコト可
ナラント思意スルノ意見ヲ上申シテ天皇ノ嘉納ニ供スルナリ之レ協贊タリ
協贊ハ政府ノ提出シタル法律案ヲ議定スルニ依ル可否スルノミナラス又之
レヲ修正シテ議定ス又自ラ法律案ヲ提出スルコト憲法ニ認メラル之レ議會
ノ立法ニ參與スルノ形式タリ

承諾ノ特
質

緊急命令ニ承諾スルハ議會カ立法ニ參與スル形式ノ二ナリ緊急命令ヲ發ス
ルハ憲法ノ許ルストコロナリト雖モ立法ノ常ニ對スル一時ノ變ナリ協贊ノ
手續ヲ省略シテ法律ヲ要スル事項ヲ定ムルナリ最モ其ノ濫用ヲ慎ム是レヲ
以テ之レヲ後ニ議會ノ議ニ附シ承諾ヲ求メシム議會ヲシテ緊急命令ノ發布
ヲ監視セシムル所以タルコト前ニ述ヘタリ又議會ノ立法ノ事ニ參與スル形
式ノ一タリ唯タ承諾ハ協贊ト異ル承諾ハ缺ケタル協贊ヲ後ニ補充スルモノ
ニ非サルコト前ニ述ヘタリ學者或ハ之レヲ事後ノ協贊ト爲ス誤マレリ議會
カ政府ノ緊急命令ヲ發布セルニ對シ可否ノ意見ヲ述フルノミサレハ常ニ政
府ノ之レヲ提出スルヲ待ツ自ラ進ンテ承諾スルト云フコトナシ從テ緊急命

協贊ト承
諾トノ差
異

令ヲ修正シテ承諾スルコト能ハス修正シテ承諾スルハ不承諾ナリ唯々可否ノ意見ヲ問ハルルノミ可否スレハ足ル協賛ノ如ク之レヲ國法ト爲スコト可ナラントノ意見ヲ述ルニ非ス既ニ國法タルモノノ正當ニ發セラレタルヤ否ヤノ見ルトコロヲ表示スルノミ承諾ハ協賛ト異レリ獨立ノ立法ニ參與スル形式タリ

上奏、建議、請願

議會ハ上奏、建議ヲ爲シ又臣民ヨリ提出スル請願ヲ受理ス憲法ノ認ムルトコロノ議會行動ノ形式ナリ之レ等ノ方法ハ唯リ立法ノ事ニ關スルニ非ス凡テ議會ノ權限タル事項ニ關シテ之レ等ノ方法ヲ用ユルコトヲ得ルナリ然レトモ亦立法ノ事ニ關シテ天皇ニ意見ヲ上奏シ政府ニ建議スルコトヲ得ヘシ又立法ニ參與スル形式ト爲スヘシ上奏ハ兩議院各々之レヲ爲スヲ法トス議會トシテ之レヲ爲スニ非ス或ハ立法上將來ノ希望ヲ述ヘ或ハ天皇ノ立法行爲ニ關シテ批評ヲ加ヘテ議院ノ信スルトコロヲ上申ス協賛又ハ承諾ノ如ク主旨ノ一定スルトコロナシ汎ク諸種ノ内容ヲ有スルコトヲ得ヘシ然レトモ上奏ハ上奏ニ止ル立法ノ手續ニ非ス何等ノ法律上ノ效果アルコトナシ協賛モ

上奏ノ内容、及方式

建議ノ内容、及方式

意見ヲ上奏スルナリ然レトモ協賛ハ立法ノ要件ニシテ之レナケレハ天皇ハ立法スルコトヲ得ス上奏ハ單ニ意見ノ上奏ニ止ルノミ
建議ハ政府ニ對シテ之レヲ爲ス直接ニ君主ニ對スルモノニ非ス其ノ内容ハ必スシモ行政ノ事ニ關スルニ限ラス立法上ノ意見ヲ政府國務大臣ニ對シテ陳述スルコトヲ得憲法ハ法律又ハ其ノ他ノ事項ニ付キ建議スト爲セリ又立法ニ參與スル一ノ形式タリ建議モ亦上奏ト同シク立法ノ必要手續タルカ如キ結果ヲ有スルモノニ非スシテ建議ヲ以テ終了ス何等ノ法律上ノ效果ヲ發生セス從テ議定シタル法律案カ裁可ヲ得ルニ至ルマテ存在シ同一會期中再ヒ之レヲ提出スルコト能ハサルヲ事理ノ當然トスルニ反シ幾タヒ之レヲ繰返ストモ事理ニ於テ差支ナシ然レトモ憲法ハ其ノ紛議強迫ニ至ルヲ恐レ建議ノ採納ヲ得サルモノハ同會期中ニ於テ再ヒ之レヲ建議スルコトヲ得サルモノトセリ

請願ノ受理方式

議會ハ臣民ヨリ呈出スル請願書ヲ受クルコトヲ得請願ハ臣民カ自己又ハ一般國家ノ利害ニ就キ信スルトコロヲ述ヘテ立法行政ノ作用ニ關スル希望ヲ

議會ノ國
對大臣ニ
問答スル
質ニ

第二、
行政作用
ヲ監視ス
ルノ權限

行政作用
ノ監視ハ
極メテ限
局セラレ

述フルナリ議會ノ之レヲ受理スルハ又立法ニ參與スル所以ノ一形式ト爲スヘシ

以上憲法ヲ以テ認ムルトコロノ方法ノ外議院法ノ定ムルトコロニ依リ議會ハ國務大臣ニ對シテ質問ヲ爲スコトヲ得其ノ事立法ニ關スルコトアラン又立法ニ參與スル法ノ認ムル形式ノ一タリトスヘシ質問ハ建議ト異リ意見ヲ述フルニ非スシテ其ノ意答辯ヲ求ムルニ在リ國務大臣ハ之レニ答辯セサルヘカラス各議院ハ國務大臣ニ向テ審査ノ爲メ必要ナル文書報告ヲ求ムルコトヲ得國務大臣ハ秘密ニ涉ルモノノ外ハ之レニ應シテ之レヲ交附セサルヘカラス

議會ノ權限ニ屬スル事項ノ第二ハ國家ノ行政作用ヲ監視スルコト之レナリ諸國憲法ノ皆認ムルトコロニシテ範圍極メテ廣キト狹キトアリ帝國憲法モ亦議會ヲ以テ行政ヲ監視スルノ具ト爲ス唯タ議會ハ本來立法ノ機關タリ行政ノ行動ヲ節制スルノ主旨ニ出テテ此ノ權アラシムルノミ故ニ之レヲ限局スルコト確的嚴格ナルコトヲ要ス若シ議會ニシテ如何ナル方法ヲ以テシテ

モ行政ヲ監視スルコトヲ得ト爲サハ議會ハ全然行政作用ノ上ニ居ルニ至リ三權分立ノ主旨沒却スルニ至リ議會ノ專制ヲ招クニ至ラン我カ憲法ハ深ク之レヲ慮リ嚴ニ議會ノ行政ニ干與スルノ方法ヲ劃リ又爲メニ行政ヲ以テ議會指揮ノ下ニ立ツカ如キ方法ハ之レヲ與フルコトナシ之レヲ解釋スルハ深ク憲法ノ意ノ存スルトコロヲ察シテ嚴ニ之レヲ憲法ノ許ストコロニ限局シ議會ノ行政ヲ監視スル放漫ニ過キテ遂ニ議會ノ專制ヲ招キ行政ノ萎微ヲ招クニ至ラランコトヲ注意スヘシ而シテ議會ハ素ヨリ行政ヲ監視スルノミ自ラ行政スルニ非ス行政ヲ監視スル機關タルノミ自ラ行政機關タルニ非ス監視ヲ廣メ解シテ自ラ行政スルカ如キノ觀アラシムルヲ得ス其ノ行政監視ノ方法トシテ與ヘラルルトコロハ此ノ方法ヲ外ニシテ議會ハ監視ノ術ヲ有セサルナリ實質ニ於テハ必スシモ制限ナシ特別ノ禁止アラサル限リ一般ノ行政ニ涉リテ所定ノ形式ニ從ヒ之レヲ監視スルコトヲ得然レトモ其ノ形式ハ憲法ノ認ムルトコロノ外ニ出ツヘカラス唯タ此ノ方法形式ヲ以テ行政ヲ監視スルコトヲ得ルノミ

行政監視
ノ形式

四四四

豫算ニ對
スル協贊
及豫算外
支出ノ事
後承諾及
其他ノ事
項

行政ヲ監視スルノ目的ハ行政運用ノ資源タル國家ノ收入支出ノ會計ヲ以テ
議會ノ監視ノ下ニ置クニ依リテ最モ適切ニ達セララルコトヲ得ヘシ國家ノ
財政ニ關シ議會ニ重要ナル干與ノ權ヲ與フルハ立憲政體ノ憲法ノ皆ナ然ル
トコロ特殊ノ沿革ニ出ツト雖モ其ノ主旨ハ此ニ在リ議會ハ國家ノ財政ニ干
與シ依テ以テ行政ヲ監視スルコトニ就テハ後ニ行政ヲ論スルニ當テ別ニ詳
述スヘシ其ノ方法形式トシテ憲法ニ認ムルモノ國家ノ歳入歳出ノ豫算ニ對
スル協贊ナリ豫算外支出ノ事後承諾ナリ國債ヲ起シ及ヒ豫算ニ定メタルモ
ノヲ除ク外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スニ對スル協贊ナリ財政上ノ緊
急處分ノ事後承諾ナリ會計検査ノ報告ヲ受クルコトナリ後ニ詳述スルトコ
ロアラシ

上奏建議及ヒ請願ノ受理ハ又行政ノ全般ヲ通シテ議會ノ監視スル所以ノ形
式タリ唯リ立法ノ事ニ關スルニ非ス行政ノ作用ニ就キ議院ノ意見ヲ上奏シ
行政機關ノ行動ヲ非難批評シ之レカ改良ノ希望ヲ述ヘ政府ニ建議シテ行政
上ノ意見ヲ開陳ス臣民ノ行政ニ關スル希望請願ヲ受理シ皆ナ行政ヲ監視ス

帝國議會
附隨ノ權

議院内部
ノ整理ニ
必要ナル
規則ヲ制
定スルコ
ト

議院内部
ノ警察ヲ
行フコト

ル所以ナリ議院法認ムルトコロノ政府ニ質問スル又行政ヲ監視スルノ有力
ナル方法タラン

此ノ他尙ホ諸國ノ憲法ハ議會ニ裁判權ヲ與フルモノアリ然レトモ我カ憲法
ノ認メサルトコロタリ唯々帝國議會ハ以上ノ二種ノ權限ニ屬スルトコロヲ
遂行スルカ爲メニ其ノ内部ノ組織ニ關シテ行動スルコトヲ得附隨ノ權限タ
リ即チ

第一 各議院ハ内部ノ整理ニ必要ナル諸規則ヲ定ムルコトヲ得又其ノ解釋
ニ關スル疑議ヲ決スルコトヲ得之レ等ノ規則ハ素ヨリ院内ノ規則ニシテ
其效力院外ニ及フモノニ非ス然レトモ院内ニ在リテハ唯リ議員ノミナラ
ス國務大臣政府委員傍聽人モ其ノ支配ヲ受ケサルヘカラス但此ノ規則ヲ
以テ國務大臣等當然ノ權能ヲ奪フコトヲ得ス

第二 議院内部ノ警察ヲ行フハ各議院ニ屬シ議長之レヲ施行ス議院内部ノ秩
序ヲ維持スルカ爲メニ行ントコロナレハ院内ニテハ何人ニ對シテモ行ハ
ル

懲罰ヲ課スルコト

第三 各議院ハ議員ニ對シテ懲罰ヲ課スルコトヲ得懲罰ハ唯リ議員ニ對シ

テノミ行ハル懲罰ハ(1)公開シタル議場ニ於テ譴責スルコト(2)公開シタル議場ニテ適當ノ謝辭ヲ述ヘシムルコト(3)一時ノ期間出席ヲ妨止スルコト及ヒ(4)除名ノ四種トス

議院内部ノ組織ヲ定ムルコト

第四 各議院ハ議院内部ノ組織ヲ定メ議長其ノ他ノ職員ヲ選任シ又ハ任命ノ豫備トシテ之レヲ選舉ス

議員ノ資格ヲ審査スルコト

第五 各議院ハ議員ノ資格ヲ審査ス貴族院ハ又選舉訴訟ヲ判決ス

議員ノ逮捕ニ付テハ内亂外患ニ關ル罪ヲ除ク外ノ犯罪ニ依リ會期中議員ノ逮捕セラルルニ付キ許諾ヲ與フ

第六 各議院ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ關ル罪ヲ除ク外ノ犯罪ニ依リ會期中議員ノ逮捕セラルルニ付キ許諾ヲ與フ

請假及辭職ヲ許可スルコト

第七 各議院ハ議員ノ請假及ヒ辭職ヲ許可ス

帝國議會ノ組織

以上ヲ以テ議會ノ權限ノ大要トス

二院制度ノ組織

帝國議會ハ貴族院衆議院ノ兩院ヲ以テ組織ス貴族院ハ皇族華族及ヒ勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス衆議院ハ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス帝國議會ヲ兩院ヲ以テ組織スルハ立憲政體ノ諸國多クハ皆然リ之レヲ二院制度

一院制度ト二院制度トノ利害ヲ論ス

二院制度ハ事ヲ慎重ニス

ノ組織ト云フ二院制度ハ其ノ原英國ニ起レルトコロタリ立憲政體ノ傳播ト共ニ流布シ諸國ノ採用スルトコロトナリシモノニシテ之レヲ從來ノ實驗ニ徵スルニ其ノ利頗ル大ナリ一院制度ハ屢々厭フヘキノ流弊ヲ醸生セントス帝國憲法ノ二院制度ヲ採用シタルモ亦之レニ依ル蓋シ一院ノ制度ハ一時ノ勢ニ依ル多數ノ雷同附和ニ依テ事ヲ決シ慎重ナラサルヲ致スノ虞アリ而カモ一タヒ之レヲ決スレハ最早ヤ如何トモスヘカラス之レヲ議會ノ議決トシテ尊重セサルヘカラス然ルニ立法ノ事タル極メテ慎重ノ考慮ニ成ラサルベカラス屢々國家百年ノ患ヲ貽サントス二院ノ設ケ之レアルトキハ一院假令多數ノ勢ニ乘シ輕卒ニ事ヲ決スト雖モ二院ノ議合スルニ非サレハ議會ノ議決アリト爲ササルカ故ニ之レヲ以テ直チニ事ヲ決シ立法ニ協賛スルコト能ハス他院ハ熟慮深思シテ其ノ輕舉ニ附和セサルコトヲ得衆議院ハ臣民ノ公選ニ成ルヲ以テ輿論ノ存スルトコロヲ代表スヘシト雖モ貴族院ハ年齒地位ニ於テ國家ノ長老タル者ヲ以テ組織ス以テ其ノ妄動ヲ制スヘシ二院制度ハ事ヲ慎重ニスル所以ナリ

サレハ二院制度ハ一院ヲ以テ他ヲ制限スルノ力ト爲スナリ若シ一院ヲ以テ議會成立スト爲サンカ屢々多數ノ勢ヲ張り其ノ權限ヲ妄用シテ專横ヲ行ヒ三權分立ノ主旨ヲ事實上沒シ去ラントスルノ事ナキヲ保セス此ノ時他ニ一院アリ靜カニ利害ヲ考量シ一時ノ勢ニ驅ラルルコトナク之レヲ抑制ス二院制度ノ妙用タリ

サレハ又二院制度ハ議會ト政府トノ衝突ヲ緩和スルノ效用アルモノト云フコトヲ得ヘシ一院ノ議會ハ一タヒ決スルトコロアレハ之レヲ其ノ意見トシテ強持シ屢々政府ト衝突スルニ至ラントス或ハ之レヲ悔ユルニ至ルト雖モ枉クルニ術ナキナリ二院ノ制ニ從フトキハ他ノ一院之レカ局外ニ在リテ調和ノ作用ヲ爲スコトヲ得ヘシ

之レヲ要スルニ二院制度ノ政治上ノ理由ハ立憲政體ノ自然ノ弊害ヲ緩和セントスルニ在リト爲スヘシ立憲政體ハ政治上多數支配ノ政體ナリ臣民多數ノ意見ヲ以テ國家ノ事ヲ決ス其ノ餘動モスレハ多數ノ專制ヲ惹起サントス立憲政體ノ往往ニシテ陷ラントスルノ弊害タリ多數專制ノ弊ハ極メテ恐ル

二院制度
ハ議會ト
政府トノ
衝突ヲ緩
和ス

二院制度
ハ多數專
制ノ弊ヲ
匡正ス

ヘシ專制君主ノ恐ルヘキヨリモ甚タシ人ノ自由ハ全然失ハレテ伸ヒサラントス少數ノ人怨嗟スト雖モ多數ノ勢ハ之レヲ如何トモスルコト能ハス加之多數ノ意思ハ君主一人ノ爲ストコロト異ナリ輿論公論ト云フカ如キ美名ヲ荷ヒ恰モ常ニ正理タルカ如ク人目ヲ眩惑シ一國政治ノ腐敗ヲ釀成シ國運ノ衰亡ヲ見ルニ至ラントス多數ノ信スルトコロハ必スシモ常ニ正理ニ非ス却テ社會ハ衆愚ノ巷雷同ノ市ナレハ眞ニ多數ノ意見ナルモノハ素ヨリ深思ノ餘ニ成ルモノニ非ス無意味ノ蛙鳴蟬噪タルコト寧ロ社會ノ實狀タリサレハ識者ハ代議政治ノ初メヨリ深ク多數妄動壓制ノ弊ニ至ランコトヲ恐レ少數ノ健全ナル思想ヲ此ノ間ニ代表セシメント期シ之レヲ以テ多數ノ專制ニ趨クノ節制ノ力ト爲サンコトヲ企畫セリ二院制度ハ頗ル此ノ主旨ニ適ストシテ經世家ノ主張スルトコロタリ之レニ依リ多數一決ノ輕舉ナザランコトヲ期シ健全ナル少數ノ意見ニ依リテ之レヲ調節センコトヲ欲スルナリ殊ニ他ノ一院ヲ以テ貴族長老ヲ以テ組織スルトコロノ貴族院ト爲スニ於テ其ノ適切ナルヲ見ル一國ノ貴族長老ハ常ニ保守ノ傾向ヲ有シ一時ノ新ニ動

二院ノ議決ニ致スルハ
帝國議會
ノ議決ヲ

捨セサルノ性質ヲ有スルモノナルヲ常トシテ自ラ事ヲ謀ル慎重謹嚴ナルヘシ
我カ貴族院ハ皇族華族富豪國家ニ功勞アル者學識アル者ヲ以テ組織ス實ニ
多數ノ輕舉妄動ニ對スル節制者タル所以ニ適ヘリト云フヘシ加之レ等ノ
階級ハ社會ノ勢力アル階級ナリ多數代表ハ數ヲ以テ勢力トス實際社會ノ勢
力ノ所在ト必スシモ相合ハサルナリ若シ實際社會ノ勢力ヲ議會ニ表出セン
トスレハ之レ等階級ニ特ニ之レヲ代表表出スルノ機會方法ヲ與ヘサルヘカ
ラス貴族院ノ設ハ此ノ目的ヲ有スルモノナリ
世或ハ貴族院ノ設アルトキハ立法ノ事爲メニ澁滯阻碍ス宜シク廢スヘシト
爲ス者アリ思ハサルノ甚シキモノナリ澁滯阻碍ハ貴族院ヲ置クノ目的ナリ
何ソ之レヲ弊ト爲サン
二院ヲ設クルハ之レヲシテ相節制セシムルニ在リ二院ハ各々別々ニ議事ヲ
開キ議決スルコト其ノ本旨タリ貴族院ト衆議院トハ別々ニ議決ス
二院ノ議決一致シタルトキハ議會ノ議決アリタリトス茲ニ一院否決シタル
トキハ他院ノ議決ヲ待タスシテ議會ノ否決アリダリトスヘシ

二院ノ議決ニ對等タ
リハ對等タ

二院ノ議決ノ權能ハ對等タリ憲法ハ豫算ハ先キニ衆議院ニ提出スヘキコト
ヲ定ム然レトモ唯タ提出ノ先後ヲ定ムルノミ議決ノ權能ニ差等ヲ設クルニ
非サルナリ或ハ貴族院ハ豫算ヲ修正議決スルコト能ハスト爲ス者アリ或
國ノ憲法ノ如ク明文ヲ以テ之レヲ定メサル限リハ素ヨリ何等ノ制限アルモ
ノニ非スト爲ササルヘカラス貴族院ヲ置クノ主旨ニ鑑ミ宜シク深思シテ修
正スヘキハ修正スヘキナリ事ニ付キ二院交々修正ヲ加ヘ又ハ一院可決スル
トコロニ修正ヲ加ヘ之レヲ他ニ回附シ再議ス而カモ二院ノ議一致セサルト
キハ全體トシテ否決アリタルモノトスヘシ然ルニ議院法ハ此ノ場合ニ之レ
ヲ成立セシムルノ方法ヲ設ケ兩院協議會ヲ開クモノトス兩院協議會ハ各院
十人以下同數ノ委員ヲ選出シテ之レヲ組織シ協議決定セシメ再ヒ兩院ノ議
ニ上スモノトス

兩院協議會

貴族院ノ組織

貴族院ハ皇族華族及ヒ勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス憲法ノ定ムル
コトヲ其ノ組織ノ方法及ヒ範圍ハ貴族院令ヲ以テ之レヲ定ム之レニ依ルニ
貴族院ヲ組織スルハ左ノ五種類ノ議員タリ

資格

第一 成年ニ達シタル皇族

第二 滿二十五年ニ達シタル公侯爵

第三 伯子男爵ニ在リテハ各々其ノ同爵中ヨリ選舉セラレタル者

第四 國家ニ勤勞アリ又ハ學識アル滿三十才以上ノ男子ニシテ特ニ勅任セラレタル者

第五 各府縣ニ於テ土地又ハ工業商業ニ付キ最多額ノ直接國稅ヲ納ムル滿三十才以上ノ男子十五人中ヨリ互選セラレテ特ニ勅任セラレタル者

衆議院ハ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス憲法ノ定ムルトコロ臣民ノ中ヨリ公選スルハ憲法ノ必要トスルトコロタリ選舉ノ資格方法等ハ別ニ選舉法ヲ以テ之レヲ定ム以下目ヲ分テ其ノ概要ヲ説明スヘシ

選舉人

第一 選舉人

選舉法ハ一定ノ要件ヲ定メ之レニ該ル者ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得ル即チ選舉權アル者ト定ム其ノ要件左ノ如シ

有權者ノ資格

一 帝國臣民タル男子ニシテ滿二十五年以上ナルコト

二 選舉人名簿調製ノ期日前滿一個年以上其選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者

三 選舉人名簿調製ノ期日前一年以上地租十圓以上若クハ地租ト其他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者但シ家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ハ其財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其者ノ納稅シタルモノト看做ス

選舉權ヲ有セサル者

但シ左ノ如キ者ハ例外トス

イ 華族ノ戸主

ロ 陸海軍人ニシテ現役中ノ者及戰時又ハ事變ニ際シ召集中ノ者

ハ 官立公立私立學校ノ學生生徒

ニ 禁治產者及準禁治產者

ホ 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若クハ破產ノ宣告ヲ受ケ其確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

へ 剝奪公権者及停止公権者

ト 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ル迄ノ者

制限選挙ト普通選挙ト
如上ノ我カ國ノ制度ハ通常制限選挙ト稱スルモノナリ制限選挙トハ普通選挙ニ對シ選挙人タル一定ノ要件ヲ定メ財産年齢等ヲ以テ選挙權ヲ限ルモノナリ普通選挙ハ一切之レ等ノ制限ヲ撤去シ凡テ臣民ヲシテ選挙ニ與ラシメシコトヲ期スルモノニシテ近來人ノ多ク主張スルトコロタリ唯々選挙ハ臣民全體ノ代表者ヲ出タサシムル所以ノ方法ニシテ其ノ普遍ナルヲ望ムヘキヨリ云ヘハ之レニ制限ヲ加フルハ誠ニ以テ不當ト爲スヘシト雖モ國家ヲ組織スル各員ハ必スシモ皆ナ恒産ヲ有シ恒心ヲ具ヘ自己ノ判斷ヲ以テ國家ノ立法ノ事ニ參與スルニ足ルノ人ヲ選フノ能力アルモノニアラス寧ロ多數ハ無知ノ愚民タリ普通選挙ハ必スシモ臣民全體ヲ代表セシムル適當ナル方法ニアラスシテ動モスレハ野心家ノ乘スルトコロトナリ動亂ヲ惹起セントス其ノ採用ハ暫ク之レヲ慎重ニスヘシト爲スヘシ須ク適當ノ制限ヲ加ヘ多少ノ財産ヲ有シ相當ノ教育アル者ニ限リテ選挙ニ與ラシムヘキナリ

選挙名簿ニ關スル申立異議ノ中

選挙人タル者ハ市町村長ニ於テ毎年之レヲ調査シ之レヲ登録シタル選挙人名簿ヲ調製ス選挙人名簿ハ一定ノ期間之レヲ公示シ縦覽セシム若シ選挙人ニ於テ其ノ脱漏誤載ヲ發見シタルトキハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得一定ノ期間ヲ過クレハ此ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス名簿ハ確定ス異議ノ申立アリタルトキハ一定期間内ニ之レヲ審査決定ス決定ニ不服ナル者ハ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ許セリ名簿ノ確定シタルトキハ之レニ記載セラレサル者ハ投票ヲ行フコトヲ得ス確定判決ニ依ルニ非サレハ名簿ニ記載セラレサル者カ投票ヲ行フコト能ハサルナリ

第二 被選挙資格

被選挙資格
選挙セラレテ議員タルコトヲ得ルノ資格ヲ被選挙資格ト云フ選挙法ノ定ムルトコロニ依ル年齢滿三十歳以上ノ男子タルコトヲ要スルノ外別段ノ制限ヲ置カス但シ左ノ如キ者ハ被選挙資格ヲ有セス

被選舉權
ヲ有セザ
ル者

- イ 歸化人歸化人ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及日本人ノ養子
又ハ入夫ト爲リタル者但シ日本ニ特別ノ功勞アル外國人ニシテ內務大
臣勅裁ヲ經テ其歸化ヲ許可シタル者ニ付テハ國籍取得ノ時ヨリ五年ノ
後其ノ他ノ者ニ付テハ十年ノ後內務大臣勅裁ヲ經テ此制限ヲ解除スル
コトヲ得
- ロ 宮內官判事檢事行政裁判所長官行政裁判所評定官會計検査官收稅官
吏及警察官吏
- ハ 神官神職僧侶其他諸宗教師小學教員及其ノ之レヲ罷メタル後三ヶ月
ヲ經過セサル者
- ニ 政府ノ爲メ請負ヲ爲ス者又ハ政府ノ爲メ請負ヲ爲ス法人ノ役員
- ホ 選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其選舉區内ニ於テ被選舉權ヲ有セス
其之ヲ罷メタル後三ヶ月ヲ經過セサル者亦同シ
- ヘ 華族ノ戶主
- ト 陸海軍人ニシテ現役中ノ者及戰時若クハ事變ニ際シ召集中ノ者

チ 官立公立私立學校ノ學生生徒

リ 禁治產者及準禁治產者

又 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若クハ破産
ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ
者

ル 剝奪公權者及停止公權者

ヲ 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ裁判確定スルニ至ルマ
テノ者

ワ 府縣會員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス之レ被選舉資格ヲ有セ

サル者ニアラサルモ一ノ制限トシテ茲ニ掲ク

第三 選舉區

選舉ノ便宜上國ヲ數多ノ區ニ分テ各區ニ於テ選舉ヲ行ハシメ議員ヲ出ス
ヲ法トス之レヲ選舉區ト云フ選舉區ヲ定ムルハ選舉ノ便宜ノ爲ニシテ選
舉區ヨリ代表人ヲ出スノ主旨ニ非サルハ前ニ述ヘタリ選舉法ハ各選舉區

小選舉區
大選舉區

選舉ノ方
法

第四 選舉ノ方法

選舉ノ方法ニ直接選舉ノ方法ト間接選舉ノ方法トアリ間接選舉トハ二重ニ選舉ヲ行フモノニシテ各選舉人ハ議員ノ選定人ヲ選舉シ選定人ニ於テ議員ヲ選定スルヲ云フ此方法ハ選舉ヲ慎重ナラシメ適任ノ良才ヲ得ルノ目的ヲ有ス然レトモ必スシモ實際ニ於テハ希望ノ如クナルヲ得サルノミナラス屢々單ニ形式ニ流レ徒ニ煩雜ナルノミニ過キササルノ嫌アリ我カ國法ハ直接選舉ノ方法ヲ採レリ

第五 投票

投票ハ單記ヲ法トス單記トハ一人ノ選舉人カ一人ノ被選舉人ヲ投票スルヲ云フ一人ノ選舉人カ選出セラルヘキタケノ數人ノ被選舉人ヲ投票スルコトヲ得ルヲ連記投票ノ方法ト云フ連記投票ノ方法ハ唯リ多數ヲ占ムル政黨ニノミ代表者ヲ出ス事ヲ得セシメ少數ヨリ一人少クトモ一人モ代表

間接選舉
ト直接選舉

投票

單記投票
連記投票
弊トノ利投票

制限連記
法

集積投票
法

者ヲ出スコト能ハサラシムルノ結果ヲ生スル者ニシテ選舉ノ主旨タル全國民ヲ議會ニ普ク代表セシ所謂之ヲ以テ國民ノ縮圖タラシムル所以ニ反ス少數政黨少シモ議會ニ代表セラルルコトナカラシム若シ政黨カ數個ニ分ルルトキハ一黨ハ過半ニ非サル比較的多數ヲ有スルヲ以テ悉ク自黨ヨリノミ議員ヲ出スコトヲ得ヘシ益々議會ヲ全國民ノ代表タラシムル所以ニ反シ僅カニ一部ノ意見ヲ代表スルニ止マラシム況ンヤ政黨ニ屬セサル者ハ毫モ代表セラルルトコロナキナリサレハ連記投票ノ制度ハ多數專制ノ弊ヲ生シ議會ヲシテ國民一部ノ代表者タラシメ少數者ノ意見ハ更ニ代表セラルルヲ得サラシムルノ方法タリ故ヲ以テ學者經世家ハ此方法ノ不當ヲ唱ヘ少數者ヲモ代表者ヲ議會ニ出スコトヲ得セシムル方法ヲ考案セリ少數代表ノ方法トシテ案出セラレタルモノハ或ハ制限連記法タリ制限連記法トハ選出スヘキ議員ノ一部ヲ連記セシムル方法タリ或ハ少數者ヲシテ代表者ヲ出タサシムルコトヲ得ヘシ然レトモ此ノ方法ハ必スシモ少數者ヲ代表セシメテ完全缺クルナシトスヘカラス又或ハ集積投票法ナル

順位投票法

單記投票法ハ
ノ比例代表ハ
少數代表ニ
出テタル
モテタル
乎

モノヲ案出シタリ連記ノ法ニ依リ同一人ヲ連記スルコトヲ得セシムルモ
ノナリ之レモ亦少數代表ノ目的ヲ遂ケ得テ完シト爲スコトヲ得ス又或ハ
順位投票法トモ名ツクヘキ連記ノ順位ニ依リ投票ノ計算ヲ異ニセシムル
ノ方法ノ如キモ巧ト雖モ盡サス要スルニ皆國民ノ縮寫ヲ作り出タスコト
能ハサルナリ進ンテ當ニ少數者ヲ代表セシムルノミナラス實際政黨ノ勢
力ニ比例シタル代表者ヲ出タサシメントスルノ主張比例代表ノ考案ヲ爲
スニ至レリ少數代表ノ進歩シタル者ナリ然レトモ其方法タル例ヘハ候補
者ヲ豫メ定メテ投票セシムル如キ或ハ當選ノ高數ヲ定メテ之ヲ超エタル
トキ他ノ自黨ノ候補者ニ譲ラシムル如キ數多ノ考案アリト雖皆思ヲ費ス
コト愈々巧ニシテ遂ニ未タ完全ナル比例代表ノ方法立案セラレタルモノ
ヲ見ス我單記投票ノ方法モ亦此ノ目的ニ出テタルモノナリ然レトモ固ヨ
リ完全ナラス然レトモ予ハ遂ニ比例代表少數代表ノ完全ナル方法ハアリ
得ルモノニ非サルコトヲ信ス何トナレハ最モ完全ナル比例代表少數代表
ハ各人代表ナラサルヘカラスシテ苟クモ一人ノ意見タリトモ代表セラ

比例代表ハ
少數代表ニ
於テ行ハニ
ルモス

ルコトナクハ完全ナル比例代表少數代表ト爲スコトヲ得サレハナリ若
シ一人ノ少キヲ眼中ニ置カサルコト差支ナシトセハ何ソ二人ニシテ代表
セラレヘシト爲スカ三人ニシテ代表セラレヘシト爲スカ百人ニシテ代表
セラレヘシト爲スカ或ハ之ヲモ眼中ニ置カサルコトヲ差支ナシトセサル
ヘカラス然ラハ固ヨリ完全ナル少數代表比例代表ニ非サルナリ加之國民
ハ必スシモ數個ノ政黨ニ分カルルモノニ非ス政黨ニ加入セサル者モ亦頗
ル多シ政黨ハ又同一ノ標準ヲ以テ一様ノ分類ヲ爲スコトヲ得ルモノニ非
ス從テ一人ニシテ政黨ニ屬スルコトヲ得ヘシ之レヲ比例代表スト云フ事
實ニ於テ不可能ナルノミナラス思想ニ於テモ無意義タラン比例代表少數
代表ハ到底行ハルルコトヲ得ルモノニ非ス既ニ代表ト云フ原物ト異ルハ
其ノ所タリ代表ハ自ラ多數代表タル性質ヲ有ス或ハ僅カニ之レカ極端ナ
ルモノヲ制限スルコトヲ得ヘシト雖モ之レヲ止ムルコトヲ得サルナリ若
シ代表制度ヲ不可ナリトシ之レヲ更革セントスルナラハ甚タ可ナリ然レ
トモ代表制度ヲ用キテ比例代表少數代表ノ完全ナランコトヲ求ムル固ヨ

無記名投票
利弊トノ

投票ハ一人一
票ニ限リ代理

リ徒勞タルノミ次ニ選舉法ハ投票ハ無記名ヲ法トスルコトヲ定ム無記名投票トハ選舉人ノ氏名ヲ投票ニ記載セシメサルヲ云フ又秘密投票トモ云フ何人カ投票シタルヤヲ明カニセサルナリ無記名投票ノ制度ハ記名投票ノ弊ニ懲リテ生シタル所ナリ記名投票ノ方法ニ依ルハ固ヨリ事理ノ當然ニシテ投票選舉ノ公事ヲ行フニ之レヲ秘密ニスルノ要ナキナリ又以テ責任ノ存スルトコロヲ明カニシテ之ヲ執ル慎重正確ナルコトヲ得ヘシ之レヲ秘密ナラシムル諸弊ノ根源タリト云フヘキカ如シ然レトモ實際世間ハ斯ノ如ク單純ナルコト能ハス選舉ニ方リテハ諸種ノ運動行ハレ賄賂強迫ノ如キ不正ノ勢力行ハレ又他人ニ對スル感情被選舉人トノ身上ノ關係等ハ必スシモ信スルトコロヲ執テ公平ニ投票ヲ行フコト能ハサラシム之レカ弊害ヲ去リ不當ノ勢力ヲ容レズ賄賂強迫ヲ無効ナラシメ己レノ任スルトコロヲ以テ投票セシメンハ之レヲ無記名投票ノ方法ニ望マサルヘカス之レ選舉法ノ無記名ヲ法トシタル所以タリ

投票ハ一人一葉トシ代理人ヲ以テ之レヲ行フコトヲ得ス自ラ被選舉人ノ

投票ナ許
サス
投票區及
選舉會

當選人

當選人ハ
當選者
ノ自由ヲ
有ス
當選證書

選舉訴訟

氏名ヲ記セサルヘカラス

投票ハ投票所ニ於テ之レヲ行フ選舉區ヲ數投票區ニ分テ各區ニ投票所ヲ設クルナリ之レヲ開票所ニ於テ纏メテ開票シ各選舉區ヲ通シテ選舉會ヲ開キ開票ノ結果ヲ調査シ當選人ヲ定ム

第六 當選人

有效投票ノ比較的最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シ得タル數ノ五分ノ一以上ノ投票ヲ得ルコトヲ要ス

當選人ハ當選ヲ承諾スルト否トノ自由ヲ有ス當選ノ告知ヲ受ケタル後二十日以内ニ承諾ヲ届出テサルトキハ之レヲ辭シタルモノト看做ス當選ヲ承諾シタルトキハ當選證書ヲ附與ス

第七 選舉訴訟

選舉ノ效力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ相手取り控訴院ニ出訴スルコトヲ得

當選訴訟

第八 當選訴訟

選舉ヲ行フ定時

當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アル時控訴院ニ出訴スル事ヲ得選舉ハ每四年ニ之レヲ行フ議員ノ任期ヲ四年トスレバナリ關員ヲ生シタルトキハ其ノ選舉區ニ於テ補闕選舉ヲ行ハシム衆議院解散セラレタルトキハ新ニ選舉ヲ云フ

議員ノ自ラ集合シテ會議スルモ會議ト認メス

議員ヲ召集シテ帝國議會各院ニ會議ヲ開クコトヲ得セシムルハ天皇大權ニ屬ス議員自ラ集合シテ議會ヲ開キ其權限ヲ行フコトヲ得ス憲法ノ認ムルトコロニ非サルナリ故ニ議員自ラ集合シテ會議スルモ之レヲ議會ト認ムルヲ得ス法律上普通ノ集會ナリ

議員ノ召集

憲法カ議員ヲ召集スルヲ天皇ノ大權ニ屬セシメタルハ議會ハ自立シテ立法者ニ非サルヲ明カニシ天皇ノ立法スルカ爲メニ用ユル機關タルコトヲ示スナリ又以テ議會ノ專制ニ陷ラントスルヲ制ス天皇召集セザレハ議會アルコトヲ得サルナリ

定時議會

然レトモ天皇ハ毎年一回之レヲ召集セサルヘカラス憲法ノ定ムルトコロタリ議會ノ立憲政體ノ要素タル所以ヲ完フセシムル所以タリ然レトモ毎年一回之レヲ召集スレハ足ル何時ニ之レヲ召集スヘキヤハ憲法ノ豫メ定ムルトコロニ非サルナリ臨時緊急ノ必要アル場合ニハ又議員ヲ召集シテ臨時會ヲ開カシム何ヲ臨時緊急ノ必要トスルヤハ一ニ天皇ノ定ムルトコロニシテ何等ノ制限アルコトナシ衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ召集スヘキモノトス又臨時議會タリ

召集ノ方式

召集ノ勅諭ハ集會ノ期日ヲ定メ少クモ四十日前ニ之レヲ發布スルコトヲ要ス法律ヲ以テ大權事項ヲ定ムルモノト雖モ召集ニ關スル一ノ制限ト爲スヘシ召集ノ勅諭ハ從來之レヲ官報ニ掲載シ公布セリ然レトモ召集ハ各議員ニ對スル命令處分タリ之レヲ以テ各自ニ通知スルニ代ヘ又一般ニ告ケ示スナリ議員ハ勅諭ノ指定シタル期日ニ各議院ノ會堂ニ集會シ内部ノ組織ヲ成立ス兩議院成立シタル後勅命ヲ以テ開會ノ日ヲ定メ兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシノ開院式ヲ行フ之ヲ以テ議會ハ開會ス開會ハ議會ノ活動ヲ開始スル所以

兩議院ノ成立
議會ノ開會

ニシテ之レヲ命スルハ又天皇ノ大權ニ屬ス開會ヲ命セラレ依テ議事ヲ開ク
開會ヲ命セラルルノ前帝國議會ノ會議アルコトヲ得ス開會ヲ命セラルルニ
於テ議會ハ其ノ權限ヲ行フコトヲ得

議事ノ定
足數

開會ニ依リテ議會ノ議事開カル兩議院ハ各々其ノ總議員ノ三分ノ一以上出
席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス兩議員ノ議事ハ過半數
ヲ以テ決ス憲法ノ改正ニ就テハ此ノ定足數及ヒ議決ノ數ヲ多クスルコト前
ニ述ヘタリ可否同數ナルトキハ議長ノ決スルトコロニ依ラシム議長議事ヲ
整理ス貴族院ニ在リテハ議員中ヨリ勅任セラレ衆議院ニ在リテハ議院ニ於
テ三名ノ候補者ヲ選舉シ其ノ中ヨリ勅任セララルモノトス議長故障アルト
キハ副議長之レヲ代理ス副議長モ故障アルトキハ假議長ヲ選舉シ議長ノ事
ヲ行ハシム

議事ノ整
理

議事日程

會議ノ順序ハ議長ノ定ムルトコロノ議事日程ニ依ル議事日程ハ政府ノ提出
シタル議案ヲ先ニスヘシ但シ他ノ議事緊急ノ場合ニ於テ政府ノ同意ヲ得タ
ルトキハ此限ニ非ス議院法ノ定ムルトコロナリ

法律案ノ
議決方法

法律ノ議案ハ三讀會ヲ經テ之レヲ議決スヘキモノトス但シ政府ノ要求若ク
ハ議員十人以上ノ要求ニ依リ出席議員三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ可決シタ
ルトキハ三讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ得ルモノトス
政府ヨリ提出シタル議案ハ委員ノ審査ヲ經スシテ之レヲ議決スルコトヲ得
ルヲ常則トス其ノ他ノ議案モ亦特ニ委員ヲ設ケ豫メ之レヲ審査セシメ會議
ニ附スルコトヲ得之レ等特別委員ノ他全院ノ議員ヲ以テ委員トスル全院委
員會アリ又特ニ之レヲ設クルニ非ス常任タル豫算委員決算委員等ノ如キア
リ

政府提出
ノ議案ニ
對スル議
決ノ方式

委員會

議案修正
ノ動議

凡テ議案ヲ發議シ及ヒ議院ノ會議ニ於テ議案ニ對シ修正ノ動議ヲ發スルモ
ノハ二十人以上ノ賛成アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス豫算案ニ就テ
ハ三十人以上ノ賛成ヲ要スルモノトス
國務大臣及ヒ政府委員ハ何時タリトモ會議ノ際ニ發言スルコトヲ得議院ハ
之ヲ許ササルヘカラス但シ之レカ爲ニ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス又
委員會ニ出席發言スルコトヲ得固ヨリ表決ノ數ニ加ハルコトナシ

國務大臣
及政府委員
ノ發言
權

會議ノ公

兩議院ノ會議ハ之レヲ公開ス但シ政府ノ要求又ハ其ノ院ノ議決ニ依リ秘密

會議ノ停

會ト爲スコトヲ得ルモノトス
議會ノ開會中ニ其ノ活動ヲ停止スルヲ停會ト云フ天皇ハ大權トシテ之レヲ
命スルコトヲ得其ノ目的立法ノ專制ヲ抑制セントスルニ在リ不當不法ノ決
議ヲ爲サントシ輕舉妄動一時ノ勢ニ乘セントスルカ如キ場合ニ之レヲ命シ
其ノ反省ヲ求メ事ヲ慎重カラシメントスルナリ停會ヲ命セラレタルトキハ
議會ハ全然其ノ活動ヲ停止セサルヘカラス唯リ會議ヲ開クコトヲ得サルノ
ミ委員會モ亦休止セサルヘカラス然レトモ停會ハ議會ノ開會ヲ廢スルモノ
ニ非ス唯々其ノ活動ヲ停止スルノミ

停會日程
ノ制限

停會ハ日限ヲ定メテ之レヲ命ス天皇ノ自由ナルトコロタリ但シ十五日ヲ超
ユルコトヲ得ス然レトモ何回之レヲ行フモ可ナリ十五日ノ制限ハ以テ天皇
ノ議會ヲ監督スル所以ノモノヲ奪ヒ一タヒ十五日ノ停會ヲ命スレハ最早ヤ
停會ヲ爲スノ權ヲ失ヒタリト爲スコトヲ得ス爲ニ全會期ヲ盡スト雖モ止ヲ
得サルナリ然ラサレハ停會ヲ憲法ニ認メタルノ主旨沒ス或ハ一會期ニ於テ

停會ハ全
會期ヲ盡
スコトヲ
得ル乎

停會ト閉
會ト異ナ
ル點

停會期日ヲ通算シテ十五日ヲ超ユルヲ得スト爲ス者アリト雖モ誤レリ十五
日ヲ超エサル限ニ於テ停會ノ期日ヲ定ムルハ天皇ノ自由ナルトコロタレハ
一タヒ之レヲ命シ期日前ニ之レヲ解止スルモ亦爲シ得ルトコロタリ
停會ノ期日ヲ過クレハ當然開會ス停會セラレタル當時ノ狀態ヲ其ノ儘ニ議
事ヲ繼續スルコト法タリ閉會ト異ル所以ナリ

會議ノ休

休會ト停
會トノ異
ナル點

各議院ハ又自ラ會議ヲ停止シ休會スルコトヲ得自ラ會議ノ日ヲ定ムルコト
ヲ得ルカ故ニ休暇準備等ノ爲メニ會議ヲ一定日數間開カサルコトヲ得ヘシ
之レ休會タリ休會ハ議院自ラスルモノニシテ事實上ノ議事ノ休止ニシテ停
會ト其性質ヲ異ニス其ノ會議ヲ開クコト能ハサルニ非ス何時ニモ休會期日
中ト雖モ再ヒ必要アレハ開會スルコトヲ得ヘシ又活動ヲ全然停止セサルヘ
カラサルニ非ス委員會ハ之レヲ休マサルモ亦可ナリ

會議ノ閉

天皇ハ議會ノ閉會ヲ命ス閉會ハ開會ニ對シ議會ノ活動ヲ終止セシムルノ效
果ヲ有ス閉會ヲ命セラレタル後ハ再ヒ集會議決シテ議會ノ事ヲ行フヲ得ス
集會ハ議會ニ非サルナリ

會期不繼
續ノ原則

議會ノ閉會セラレタルトキハ議案ノ議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス
閉會ト同時ニ悉ク消滅スルモノトス之レヲ會期不繼續ノ原則ト云フ次ノ會
期ニ於テ前會期ノ未決ノ案ヲ繼續シテ議スルコトヲ得ス其ノ手續ヲ新ニセ
サルヘカラサルナリ

議會ノ會
期

會期ハ天
皇ノ閉會
ヲ命スル
ノ標準ニ
シテ之レ
カ經過ニ
依リテ當
然閉會ス
ルモノニ
非ス
閉會ノ時
期閉會ノ
長

議會ノ會期ハ三ヶ月トス開會ノ日ヨリ三ヶ月ヲ經サレハ天皇ハ閉會ヲ命ス
ルコトヲ得ス三ヶ月ヲ以テ天皇ノ閉會ヲ命スルノ大權ヲ制限スルハ議會ヲ
シテ名アリテ實ナキニ至ラシムルコトナカラシムル所以ナリ三ヶ月ノウチ
ニハ停會休會ノ日數ヲ加算ス然レトモ三ヶ月ヲ經過スレハ議會ハ當然閉會
スルニアラス天皇ノ之レヲ命スルコトナケレハ閉會スルコトナシ三ヶ月ノ
會期ハ天皇ノ閉會ヲ命スルノ標準ヲ與フルモノニシテ三ヶ月以内ニ閉會ヲ
命スルコトヲ得スト爲スノミ會期ハ三ヶ月ヲ以テ當然終ルト爲スニ非サル
ナリ故ニ若シ三ヶ月ヲ經過スルモ天皇閉會ヲ命セサルトキハ議會ハ閉會シ
タルモノト爲スコト能ハス勅命ニ依リ兩議院會合シテ之レカ式ヲ舉行スル
ニ依リテ閉會スト爲スヘシ憲法ハ勅命ヲ以テ會期ヲ延長スルコトヲ得ル旨

ヲ定ム三ヶ月ノ會期ハ之レヲ短縮スルコトヲ得サルノミ之レヲ延長スルコ
トヲ妨ケス

臨時議會
ノ會期

衆議院ノ
解散

解散ノ主
旨

臨時緊急ノ必要アリテ召集開會スルハ之レヲ臨時會ト稱シ會期ハ特ニ勅命
ヲ以テ定ムルモノトス三ヶ月ヲ法トセザルナリ衆議院解散ヲ命セラレタル
トキハ新ニ議員ヲ選舉シ召集開會ス又臨時會タリ三ヶ月ヲ以テ會期トセス
特ニ天皇ノ定ムルトコロニ依ル天皇ハ衆議院ノ解散ヲ命ス貴族院ニハ解散
アルコトナシ解散ハ衆議院ノ總議員ニ對シ其ノ地位ヲ失ハシムルノ處分ナ
リ衆議院解散セラレタルトキハ衆議院ノ議員タルモノ一人モナキニ至ル閉
會ノ唯タ議會ノ活動ヲ終止スルト異ナリ閉會ヲ命セラルルト雖モ議員ハ存
ス再ヒ之レヲ召集開會スルヲ得解散ヲ命セラレタルトキハ議員ナシ新ニ選
舉ヲ行ヒ議員ノ地位ヲ有スル者ヲ生セサレハ召集開會スルコト能ハス
解散ハ天皇カ議會ヲ監督スル最後強烈ノ手段ナリ天皇ハ議會ノ爲ストコロ
常ニ不當不法ニシテ國家ノ立法ノ事ヲ議スル所以ニ非ス國家ノ機關タル地
位ニ居ルニ不適當ナル議員ノ多數ヲ以テ組織スルモノニシテ停會ヲ命シテ

一時ノ反省ヲ求ムルモ之レヲ救フニ足ラストスルトキハ新ニ別ニ立法機關タルニ適當ナル議會ヲ組織センコトヲ欲シ議員其ノ人ヲ更メンカ爲メノ目的ヲ以テ解散ヲ命スルナリ其ノ解散ノ憲法ニ認メラレタル主旨ハ主トシテ茲ニ在リ故ニ其ノ意ハ人民ニ向テ更ニ適材ヲ舉ケンコトヲ求ムルニ在リト爲スヘシ之レヲ或ハ解散ノ國民ニ訴ヘテ輿論ノ歸結ヲ問フノ處分ナリト爲ス者アリ解散ノ政治上ノ主旨茲ニ在リ唯タ議會ハ政治上國民ノ代表者タレハナリ

然レトモ天皇ハ此ノ目的ノ爲メニスルニ非サレハ解散ヲ行フコト能ハサルモノト爲スコトヲ得ス天皇ハ或ハ便宜ノ爲メノ故ニ解散ヲ命スルコトアルヘシ例ヘハ議員ノ任期將ニ盡キントスルトキノ如キ議會ヲ開會スル前ニ解散ヲ命シテ新ニ議員ヲ選舉セシムルカ如シ故ニ解散ハ之レヲ閉會中ニ行フモ亦妨ケス法律上議員ノ地位ヲ失ハシムル處分タレハナリ唯タ解散後新ニ選舉シタル議員ハ必ス一タヒ之レヲ召集セサルヘカラス憲法ノ命スルトコロタリ未タ一タヒモ召集セサルニ之レヲ解散スルコトヲ得ス衆議院ヲ解散

天皇ハ便宜ノ爲メ解散ヲ命スルコトヲ得ル

解散後ノ選舉及召集

シタルトキハ勅命ヲ以テ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ五ヶ月以内ニ之レヲ召集スヘキモノトス

衆議院解散ヲ命セラレタルトキハ貴族院ヲ停會ス蓋シ議會ハ兩院ヲ以テ成立ス開會及ヒ閉會停會皆同時ニ之レヲ行フ一院會議シテ議會ノ議決アルコトヲ得サレハナリ此ヲ以テ衆議院解散セラレタルトキハ貴族院ヲ停會ス停會ノ效果ハ貴族院ノ活動ヲ終止スルナリ閉會ト同シク停會ト云フト雖モ前述セルトコロノ兩院同時ニスルトコロノ停會ト全然其ノ性質ヲ異ニス閉會ト效果ヲ同シウシ次期ニ議事ヲ繼續セス
兩議院ヲ組成スル各員ヲ議員ト云フ何人ヲ以テ議員トスルヤノ議員ノ地位ヲ取得スル方法ハ前ニ之レヲ説ケリ議員カ議員タルノ地位ヲ喪失スルハ左ノ事由ニ依ル

衆議院解散ノ場合ニ於ケル貴族院ノ停會ハ此停會ハ通常ノ停會ト異ナ

議員タルノ地位喪失ノ原因

第一 任期ノ滿了

貴族院議員ノ任期ハ七ヶ年トシ衆議院議員ノ任期ハ四ヶ年トス皇族公侯爵ノ當然議員タル者及ヒ勅任セラレタル終身議員ハ任期ナシ

第二 死亡

第三 解散

解散ハ衆議院議員ノ地位ヲ失ハシムルノ處分タリ

第四 辭職

第五 除名

第六 議員タル資格要件ノ喪失

第七 衆議院議員ノ貴族院議員ニ任セラレタルコト

議員ハ議員タルノ資格ニ依リ特別ノ權利ト義務トヲ有セリ議員ノ權利ノ主ナルモノ左ノ如シ

第一 發言表決ノ自由

兩議院議員ハ議院ニ於テ發言シタル意見及ヒ表決ニ付キ院外ニ於テ責ヲ負フコトナシ憲法ノ定ムルトコロタリ之レヲ議員ノ發言表決ノ自由ト爲ス議員ノ議院ニ於ケル發言表決ハ一般法律ノ間フトコロト爲サスト爲スナリ蓋シ議員ノ職務ヲ尊重シ任スルトコロヲ執テ獨立自由ノ意見ヲ發表

議員ノ權利ノ自由

發言表決ノ自由ハ單純ナル事實ノ陳述ニモ及フヤ

發言表決ノ自由ハ委員會ニ於ケル意見ノ陳述ニモ及フヤ

センコトヲ希望スルニ出ツ

故ニ議員ノ發言表決ノ自由ハ單純ナル事實ノ陳述ニモ及ハサルヘカラス然ラサレハ之レヲ自由トスルノ主旨ニ適フコト能ハサレハナリ或ハ意見ノ文字ニ拘ハリ意見トハ思考ノ結果ノ義ヲ有ス單純ナル事實ノ陳述ハ意見ト稱スヘキモノニ非スト爲シ之レニ就テハ責ヲ院外ニ負フヘキモノタリト爲ス者アリト雖モ所謂思考ノ結果ト事實ノ陳述トハ而カク明確ニ之レヲ分別スルコトヲ得ルモノニ非サルカ故ニ若シ事實ノ陳述ハ責ヲ負ハサルヘカラストスレハ獨立自由ナル意見ノ發表モ爲メニ或ハ躊躇セララルコトアルヘク制度ノ主旨ハ一切院外ノ責任ヲ顧慮セシメサルニ在ルカ故ニ所謂意見ハ事實ノ陳述ヲモ包含スト爲ササルヘカラサルナリ發言表決ノ自由ハ議員ノ職務ヲ尊重スル所以ナリ故ニ唯リ本會議ニ於ケル發言表決ノミナラス委員會ニ於ケル意見ノ陳述モ亦無責任タリトスヘシ

然レトモ固ヨリ職務ヲ行フカ爲メニ發言シタルモノニ非サレハ無責任ト

ル發言ニ
付テ其責
ヲ負フヤ

議院内ニ
於テハ無
責任ナキ

身體ノ自
由

爲スコト能ハス議長ノ許可ヲ得スシテ發言シタルカ如キハ職務ヲ行フ爲
メノ正當ナル發言ト爲ササルナリ其ノ院外ニ於ケル言論ハ固ヨリ無責任
ト爲サス

又固ヨリ院外ニ於テ責ヲ負ハサルノミ議院内ニ於テ其ノ發言ノ爲メ議院
ノ懲戒ヲ受クルカ如キハ之レヲ妨ケス
院外ニ於テ責ヲ負ハサルトハ一般法律上ノ責ニ任セサルノ意ナリ唯リ刑
法ノミナラス一切ノ責任ヲ定ムル法規ノ適用ヲ受ケサルナリ

第二 自體ノ自由

兩議院ノ議員ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ關スル罪ヲ除ク外會期中其ノ院
ノ許諾ナクシテ逮捕セラルルコトナシ議員ハ會期中一身ノ自由ヲ保有ス
又議員ノ職務ヲ尊重シ其ノ事ヲ盡サシメントスルノ主旨ニ出ツ司法權ノ
獨立アリ故ナク政府ノ指揮ヲ受ケテ犯罪ノ故ヲ以テ議員ノ一身ヲ制縛シ
其ノ口ヲ箝スルカ如キハ常ニアルトコロニ非スト雖モ亦或ハ之レヲ以テ
不當ノ干涉ヲ試ムルコトナキヲ保セス之レニ對シテ議員ノ一身ノ自由ヲ

議院ノ許
否

身體ノ自
由ノ範圍
ノ及ビ時
限ノ種類
ヲ制スル

保障ス此ノ自由ノ各國憲法ニ認メラルルニ至リシ所以ナリ又議員ハ重要
ナル國務ニ參シ議會ノ開會中國家ノ必要ナル具タリ輕々シク犯罪ノ故ヲ
以テ之レヲ奪フハ國家ノ不便トスルトコロタリ故ニ此ノ自由アリ
サレハ議院ハ議員ヲ逮捕スルノ請求ヲ受ケタルトキハ如上ノ制度ノ理由
ニ考ヘ果シテ政府ノ不當ナル干涉ニ出ントスルモノニ非サルカ又其犯罪
タル果シテ一議員ヲ奪フニ足ル程ニ重大ノ程度ニ在ルカヲ審査シテ許諾
ヲ與ヘサルヘカラス必スシモ政府ノ不當ナル干涉ヲ試ムルニ非スト雖モ
其ノ犯罪タル輕微ニシテ以テ重要ノ公職ニ在ル議員ヲ奪フニ足ラストス
レハ之レヲ拒絶スルコトヲ得サルヘカラス
議員身體ノ自由ノ範圍ハ内亂外患ニ因ル罪及ヒ現行犯罪ニ及ハス憲法ハ
之レヲ例外トセリ

議員身體ノ自由ハ會期中ニ限ル之レヲ制度ノ主旨ヨリスレハ開會前ト雖
モ之レヲ享有セシメサルヘカラス然ラサレハ開會ノ間際ニ至リ之レヲ逮
捕ズルハ開會中ナルト其ノ害異ルコトナケレハナリ又既ニ逮捕シタル者

ト雖モ議會ハ之レカ解放ヲ求ムルヲ得ルト爲スヘシ然レトモ我カ憲法ハ之レヲ認メス立法ノ希望ヲ以テ解釋ヲ枉クルコト勿レ

歳費ノ受領

第三 歳費ノ受領

兩議院ノ議員ハ一定ノ歳費ヲ受ケ又旅費ヲ受クルノ權利ヲ有ス歳費ハ之レヲ辭スルコトヲ得

議員ノ義務

義務違背ノ制裁及代理ノ禁制

次ニ議員ノ義務トスヘキモノノ主要ナルモノハ左ノ如シ
議員ハ召集ノ命令ヲ受ケタルトキハ之レニ應シ議場ニ出席セサルヘカラス
素ヨリ議員タルノ本分タリ正當ノ理由ヲ以テ議長ニ届出テスシテ缺席スルコトヲ得ス一週間以上ノ請暇闕席ハ議院ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス此ノ義務ニ對シテハ一定ノ制裁アリ議員正當ノ事由ナクシテ勅諭ニ指定シタル期日後一週間内ニ召集ニ應セサルニ由リ又ハ正當ノ理由ナクシテ會議又ハ委員會ニ闕席スルニ由リ若クハ請暇ノ期限ヲ過キタルニ由リ議長ヨリ特ニ招狀ヲ發シ其招狀ヲ受ケタル後一週間内ニ仍故ナク出席セサル者ハ貴族院ニ於テハ其出席ヲ停止シ上奏シテ勅裁ヲ請フヘク衆議院ニ於テハ之ヲ除名ス

議員ハ自ラ議會ニ出席スルコトヲ要ス他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得ス之レ議員ノ義務ノ主ナルモノナリ

第四章 司法

第一節 司法

司法ノ作用——法ノ適用トハ何ゾ——司法ノ性質——司法作用ヲ特設ノ機關ナシテ行ハシムル
 理由——立憲政體ノ主旨ハ民事、刑事ニ關スル司法ノミ司法作用ニ屬セシメタリ——司法裁判
 所ノ行フヘカラサル消極的限界——行政官廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ
 訴訟ニ付憲法ハ特別ノ理由ニ依リ行政裁判所ノ裁決ニ屬セシム——司法作用ニシテ民事刑事ニ
 關セサル事項ニシテ實質上行政裁判所ニ屬セシメサル事項ニ關スルモノハ之レヲ司法裁判所ノ
 權限ニ附スハ必シモ憲法ノ禁スル所ニ非ス——司法裁判所ノ行フ訴訟事件ハ實質ニ於テ司法作
 用ニ非ス

司法ノ作
用
司法ノ作
用
トハ何ゾ

司法ハ法ヲ適用スル國家ノ作用ナリ其ノ性質ハ既ニ之レヲ述ヘタルトコロ
 ニ屬ス今再ヒ之レヲ約說スレハ國家ノ職分ハ唯タ法規ヲ定ムル立法ノ作用
 ヲ以テ盡クルモノニ非ス更ラニ之レヲ實際個個ノ場合ニ當テ適用スルノ作
 用アルコトヲ必要トス司法ハ即チ此ノ目的ノ爲メニ存スルトコロタリサレ
 ハ司法ハ法ノ適用ヲ目的トスルノ作用タリ法ヲ適用スルト云フハ一般ノ法

司法ノ性
質

則テ個個ノ場合ニ當テ具體的ニ何カ其ノ場合ニ法ナルカヲ定メテ法其ノ者
 ヲ實現スルコトヲ云フ其ノ特定ノ場合ニ就テ何カ法ノ規定スルトコロナル
 カヲ宣言スルモノ司法ノ作用ナリサレハ司法ノ作用ハ其ノ目的ト共ニ其ノ
 方法ニ於テモ法ノ適用タリ唯タ法ノ命スルトコロヲ其ノ儘ニ明カニスルノ
 ミ此ノ以上ニ注意ヲ加ヘテ其ノ場合ニ處スルハ司法ノ作用ニ非ス法ノ定規
 ヲ其ノ場合ニ當テ何カ法ナルカヲ明カニスルノミ利害ヲ酌量シテ人意ノ顯
 梅ヲ其ノ間ニ加フルハ司法ニ非ス法ノ適用タルノ目的ハ又其ノ方法ヲシテ
 法ノ適用ノ上ニ出ツルコト能ハサシム此ノ上ニ出ツルハ法ノ適用タル目的
 ニ反ス法ヲ適用スルモノニ非スシテ獨立ニ之レヲ決スルナリ司法ノ作用ニ
 當ル者獨立ニ之レヲ決スルコト能ハス——法ノ定ムルトコロニ依ルヘク法
 ノ命スルカ儘ニ之レヲ定ムヘク意ヲ加ヘテ動カスコトヲ得サルハ司法作用
 ノ性質タリ法ノ羈束ノ下ニ立チ自由ニ便宜ヲ酌量シテ法ノ定メサルトコロ
 ヲ附ケ加ヘテ決スルコト能ハサルハ其ノ法ノ適用タルノ目的ノ當然必要ト
 スルトコロタリ法ノ適用ヲ目的トスル國家ノ作用ニシテ故ニ法ノ適用ヲ方

司法作用
ヲ特設シ
機關ヲシ
テ行ハシ
ムル理由

法トスル國家ノ作用タルコト實ニ司法ノ性質タリ之レヲ以テ等シク國家ノ作用ノウテ立法ニ對シテ執行ニ屬スル行政ノ作用ト區別ス行政ハ國家ノ諸般ノ目的ノ爲メニ法ノ範圍内ニ於テ又ハ法ノ定メサル範圍ニ一ニ國家ノ目的ニ考ヘ利害ノ打算ニ依リテ自由ニ行動スルトコロタリ素ヨリ法ノ適用ヲ之レ目的トスルモノニ非ス近時立憲政體ノ國ニ在リテハ漸ク法ヲ以テ定ムルノ範圍滋ク行政ノ行動モ亦唯タ之レヲ其ノ儘ニ適用執行スルヲ以テ足レリト爲スカ如キ場合多シ然レトモ之レ行政ノ目的法ノ適用ニ在ルカ故ニ非ス法ノ規定詳密ニシテ又意ヲ加フルノ餘地ナキカ又ハ一ニ之レヲ其ノ儘ニ適用スルコトヲ以テ利害ノ打算ニ於テ勝レリトスレハナリ皆偶然ノ結果ニシテ法ノ適用タルハ行政ノ必然ノ性質タルカ故ニ非サルナリ司法作用ハ法ノ適用ヲ以テ法ノ適用ノ目的ヲ達スルノ國家ノ作用タルコトヲ性質トス然レトモ之レヲ前ニ述ヘタルカ如ク立憲政體ノ國家ニ在リテ司法ヲ以テ他ノ國家作用ト別テ特別ノ機關ヲシテ之レヲ行ハシメテ立憲政體ノ主旨トスルトコロヲ達セントスルハ如上ノ性質ヲ有スル國家ノ作用ノ全部ニ涉ルモ

立憲政體
ノ主旨ハ
民事刑事
ニ關スル
司法作用
ニ屬セシ
メタリ

ノニ非ス之レ必スシモ立法ニ就テ云ヘルカ如ク之レヲ不便ナリトスルカ故ノミニ非スシテ本ト司法ノ作用ト稱シ之レヲ獨立特設ノ機關ヲ以テ行ハシメントスル三權分立ノ希望カ既ニ司法ト見ルヘキ國家ノ作用全部ニ就テ存シタルトコロニ非サレハナリ法ヲ適用シテ個個ノ場合ニ何カ法ナルカヲ宣言スルカ如キ作用ハ主トシテ古來民事及ヒ刑事ノ區域ニ存セントコロニシテ臣民相互ノ權義ノ分界ヲ明カニシテ之レヲ保護シ國家ノ刑罰法ノ適用ヲ明カニシテ身體生命財產ノ安全ヲ期センカ爲メニ特ニ法ノ適用ノ作用ヲ此ノ區域ニ必要トシタルモノ司法作用アルノ原由ニシテ三權分立ノ主張モ亦之レヲ特設獨立ノ機關ヲシテ行ハシメントスルニ在リシナリ立憲政體ノ諸國ニ行ハルルニ至リ三權分立ノ思想ノ採用セララルルニ至リ司法ハ之レヲ他ノ國家作用ト分離シ行フト爲スニ至リテモ唯タ民事刑事ノ事項ニ就テ之レヲ要件トシ定メタルノミ他ノ事項ニ就テ性質上司法タルノ作用アルアリト雖モ之レヲモ併ハセ獨立セシメントスルニ非ス民事刑事ニ關スル司法作用ノミ之レヲ特設獨立ノ機關ヲ以テ行ハシムルコトヲ定メタルナリ之レ立憲

政體ノ司法作用ヲ特ニ他ノ作用ト分テ行フノ意義ナリ我カ憲法ノ精神モ亦此ニ在リ民事ト刑事トノ事項ニ屬スル司法作用ヲ以テ諸他ノ國家ノ作用ト分離シ特別ノ形式ヲ以テ行フト爲スナリ之レ憲法ノ司法權ハ裁判所之レヲ行フト爲スノ主旨ニシテ司法ノ意義タル一切ノ性質上ノ司法作用ヲ含ムモノニ非スシテ民事刑事ニ關スル司法作用ヲ指スノミ

サレハ國家カ行政法規ノ維持ノ爲メニ特ニ之レカ適用ヲ目的トスルノ行動ヲ爲スト雖モ之レヲ民事刑事ニ關スル法ノ適用ノ作用ト共ニ裁判所ヲシテ行ハシメントスルハ必スシモ憲法ノ主旨トスルトコロニ非ス別ニ之レヲ行フノ機關ヲ設ケスハ行政官廳ヲシテ行ハシムト雖モ憲法ノ規定ニ反スト爲ササルナリ

行政法規ノ維持ノ爲メニ特ニ司法作用ヲ行フハ近世立憲政體ノ國ニ發達シタルトコロナリ之レヲ後ニ述フルカ如シ又我國ニ於テモ行ハル之レカ機關タル行政裁判所ヲ置キ行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニ對スル司法作用ハ之レカ管掌シ行フトコロト爲ス上述ノ普

司法裁判所ノ行ハルハ消極的

行政官廳ノ違法處分ニ依リテ憲法ハ權利ヲ傷害セラレタルハ特別ノ訴訟ニ依リテ行政官廳ノ違法處分ニ依リテ權利ヲ傷害セラレタルハ普通民事刑事ノ司法裁判所ニ於テ之レヲ受理スルコトヲ得スト爲セリ何ヲ行政裁判ニ屬スル事項ト爲シ民事刑事ト區別スルカハ後ニ説クカ如シ行政官廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタルトスルノ訴訟ハ行政裁判ニ屬スヘキ事項タリ憲法ハ之レヲ司法裁判所ノ受理シ行フコトヲ禁スサレハ憲法ノ此ノ規定ハ司法裁判所ノ行フヘカラサル消極的ノ限界ヲ定ムルモノナリ民事刑事ニ關スル司法ハ司法裁判所ノ行フトコロナリ他ノ方法形式ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得ス此ノ以外ノ事項ニ關スル司法作用ハ如何シテ行フヘキカノ方法形式憲法ニ定マラス又司法裁判所ヲシテ行ハシムルコトヲ得ヘシト雖モ行政訴訟ハ之ヲ行ハシムルコトヲ得ス憲法ノ

通ノ裁判所ハ民事刑事ニ關スル司法作用ノ機關タルコト憲法ノ定ムルトコロニシテ之レヲ他ノ機關ヲシテ行ハシムルハ憲法上必要トシタルトコロニ反スルモノナリト雖モ之レヲシテ例ヘハ行政裁判ヲ行ハシムルモ必スシモ憲法ノ禁スルトコロヲ犯スト爲サスト雖モ他ノ特別ノ理由ニ依リテ憲法ハ行政官廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ハ行政裁判所ノ裁判ニ屬スヘク普通民事刑事ノ司法裁判所ニ於テ之レヲ受理スルコトヲ得スト爲セリ何ヲ行政裁判ニ屬スル事項ト爲シ民事刑事ト區別スルカハ後ニ説クカ如シ行政官廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタルトスルノ訴訟ハ行政裁判ニ屬スヘキ事項タリ憲法ハ之レヲ司法裁判所ノ受理シ行フコトヲ禁スサレハ憲法ノ此ノ規定ハ司法裁判所ノ行フヘカラサル消極的ノ限界ヲ定ムルモノナリ民事刑事ニ關スル司法ハ司法裁判所ノ行フトコロナリ他ノ方法形式ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得ス此ノ以外ノ事項ニ關スル司法作用ハ如何シテ行フヘキカノ方法形式憲法ニ定マラス又司法裁判所ヲシテ行ハシムルコトヲ得ヘシト雖モ行政訴訟ハ之ヲ行ハシムルコトヲ得ス憲法ノ

消極的ノ禁止タリ行政裁判所ノ權限ハ法律ヲ以テ定ム其ノ法律ヲ以テ定ムルヤ行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟タルノ實質ヲ有スルモノハ必ス之レニ屬セシメサルヘカラス一部ヲ司法裁判所ニ委任スルコトヲ得ス司法裁判所ノ權限ヲ法律ヲ以テ定ムルモ亦此ノ實質ヲ有スル事項ヲ之レニ附加シ其ノ行フトコロト爲スコトヲ得ス又行政官廳ノ違法處分ニ對シ司法作用ヲ行フコトヲ認ムル場合ニハ必ス之レヲ行政裁判所ノ權限ニ屬セシメサルヘカラス之レヲ司法裁判所ニ屬セシムルハ憲法ノ違反タリ

司法作用ニシテ民事ニ關シテハ民事刑事ニ關スル法ノ適用タル國家ノ作用ヲ云フ此ノ二種ノ事項ニ關スルニ非サルモノハ法ノ適用タル實質司法タルノ性質ヲ有スル國家ノ作用ト雖モ形式上憲法ニ云フトコロノ司法ニ非ス憲法ヲ以テ之レヲ獨立特設ノ機關ヲ以テ行フコトヲ要スト爲ストコロニ非サルナリ然レトモ民事刑事ノ外ニ之レヲ司法裁判所ノ權限ニ附シ行ハシムルハ必スシモ憲法ノ禁スルトコロニ非ス唯々行政官廳ノ違法處分ニ依リ

ハ必シモ憲法ノ禁スル所ニ非ス

司法裁判所ノ權限ニ關シテハ民事刑事ニ關スル法ノ適用タル國家ノ作用ヲ云フ此ノ二種ノ事項ニ關スルニ非サルモノハ法ノ適用タル實質司法タルノ性質ヲ有スル國家ノ作用ト雖モ形式上憲法ニ云フトコロノ司法ニ非ス

權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニ對スル司法作用ハ行政裁判所ノ權限ニ屬セシムヘキトコロニシテ司法裁判所ヲシテ行ハシムルヲ得ス憲法ノ設クルトコロノ消極的限界タリ

裁判所ノ權限ヲ定ムル法律ハ民事刑事ニ關スル司法作用ノ外個人ノ私權ノ確定、公證、保存ノ處分ヲ爲スヲ以テ裁判所ノ權限トセリ非訟事件ト云フモノ之ナリ非訟事件ハ實質ニ於テ司法作用ニ非ス行政ノ作用タリ又裁判所ハ其ノ職務ヲ遂行スルカ爲メニ必要ナル諸種ノ實質ニ於テ行政作用タルノ行動ヲ爲スコトヲ得セシメラル之レ等ハ裁判所ノ權限ニ屬スト云フト雖モ性質ニ於テ司法作用ニ非ス又憲法ノ云フトコロノ司法ニ非サルナリ

第二節 裁判所

裁判所ノ國法上ノ地位——裁判所ハ天皇カ司法權ノ行使ニ當ル統治機關(形式)ナリ——裁判所ノ司法權ヲ行フハ一ニ法律ニ依ル——裁判所ハ國法(法律、命令及慣習法)ヲ適用ス——裁判所ハ違法ノ命令(法律ニ違背スル内容ノ命令)ニ服従スルモノニ非ス——實質ノ如何ヲ問ハス所定ノ形式ヲ具備セサル

裁判所ノ地位

モノハ國家ノ命令ニ非ス——臣民ニ臨ムノ實際ニ於テ國法ノ形式如何ハ其違由ノ效力ニ何等ノ差等ナシ——裁判所ハ法律ノ内容カ違憲ナリト爲ストキハ之ヲ適用セサルコトヲ得ル乎——裁判所カ法律ノ内容違憲ナリトシテ之ヲ適用ナ拒ムコトヲ得ス——裁判所ハ所定ノ形式ヲ缺如スル法律若クハ命令ヲ適用ナ拒否スルコトヲ得ヘシ——裁判所ハ議會ノ協賛ヲ缺キタル法律ヲ適用セサル乎——議會ノ議定ナケレハ裁可アルコトナシテ裁可公布セラレタルモノハ裁判所之ヲ適用セサル可ラス——法律ノ僞似タルト否トハ天皇ノ決スル所ナリ——裁可ハ議會ノ議定ヲ經タルコトヲ立證ス之ヲ公布スルハ其違由ヲ命スルナリ公布アレハ足リ裁判所及臣民ハ之レカ違由ヲ拒否スルコトヲ得ス——實際ニ於テ議會ノ協賛ナキ法律アリヤ——不完全ナル協賛ハ協賛ナキナリ協賛ナキ法律ヲ認メス——裁可ハ協賛ノ正當ナルコトヲ立證ス——裁判所ハ法令ノ形式ヲ審查スルコトヲ得ヘシト雖モ法律ノ内容カ違憲ナリトシテ其ノ適用ヲ拒ムコトヲ得ス——裁判所ハ特ニ内容ニ於テ法律ニ違反スル命令ノ適用ヲ拒ムコトヲ得——裁判所ノ機關ハ法律ニ依リテ定マル——特別裁判所ノ構成——裁判官ノ獨立——裁判所ノ審理判決

司法權ハ裁判所之レヲ行フ裁判所ハ司法權ノ行使ニ當ル憲法上ノ統治機關ナリ國家ノ作用ヲ以テ他ノ立法及ヒ行政ノ作用ト分離シ獨立ノ裁判所ヲ以テ其ノ行使ノ機關ト爲スハ立憲政體ノ要因ノ一タリ司法ハ法ヲ適用シ人ノ權利義務ヲ明カニスル所以ナリ之レヲ獨立ノ機關ヲシテ行ハシメ立法及ヒ行政ノ外ニ置キ依テ民生ノ自由ノ確保セラレンコトヲ期スルモノ實ニ裁判

裁判所ハ天皇ノ司法權ノ行使ニ當ル統治機關ノ形式ナリ

所ヲ設クル所以タリ依テ立憲政體ノ希望ヲ實現セントス司法ノ作用ハ特ニ之レカ行使ニ任スルノ裁判所ヲ置クハ實ニ立憲政體ノ行ハルルニ至リシ以前ヨリ諸國ニ存在シタルコロノ制度タリ以テ權義ノ分界ヲ明カニシ生命身體財產ノ安全ヲ保證セントセリ立憲政體ハ實ニ此ノ意ヲ繼承シテ三權分立ノ旨ニ則リ之レヲ獨立ノ裁判所ヲシテ行ハシムルトコロト爲セリ然レトモ君主國體ノ國ニ在テハ固ヨリ裁判所ヲ以テ獨立ニ司法權ノ主體ト爲スニ非サルハ立法ト議會トノ關係ニ就テ說ケルカ如シ純正ナル君主國體ノ國ニ在テハ統治權ハ凡テ天皇ノ總攬スルトコロタリ司法ノ作用ト雖モ天皇ヲ擱テ出ツルトコロアリト爲スコト能ハス故ニ三權分立ノ主旨ニ從ヒ司法ハ獨立ノ裁判所之レヲ行フト爲スト雖モ之レヲ權力ヲ分有スルト爲スニアラス天皇ノ司法權ヲ行フニ就テノ形式方法トシテ裁判所ヲ通過シ行フナリ天皇ノ行フトコロタリ裁判所ハ之レカ具トシテ供ハルノミ唯タ憲法上此ノ形式ニ依ルコトヲ必要トス之レニ依ラサレハ司法權ヲ行使スルコト能ハス然レトモ天皇ノ憲法ヲ以テ特ニ之レヲ置キ自ラ司法權ヲ行フノ機關ト爲

スノミ裁判所ハ憲法ニ依リテ獨立固有ニ之レヲ行フコトヲ得ルノ地位ヲ附
與セラレタルモノニ非ス帝國憲法ハ此ノ意ヲ明カニシテ曰ク司法權ハ天皇
ノ名ニ於テ裁判所之レヲ行フ天皇ノ名ニ於テト云ヘルハ天皇總攬スルトコ
ロノ司法權ヲ行フモノタルコトヲ示スナリ素ヨリ然ルトコロト雖モ特ニ之
レヲ明言スルナリ

裁判所ノ主目ハ憲法ニ依リテ獨立
司法權ノ作用ヲ獨立ノ裁判所ヲシテ行フコトヲシムル立憲政體ノ主旨
ハ裁判所ヲ以テ他ノ干涉ノ下ニ立タシメサルニ非サレハ違スルコト能ハス
裁判所ナルモノ特ニ之レアリ司法ノ作用ヲ行フノ機關タラシムルモ若シ之
レヲ行政機關ノ命令指揮ノ下ニ立ツモノタラシメ之レニ隸屬スルモノタラ
シメハ特ニ之レヲ設ケタルノ主旨ハ全ク之レヲ違スルコト能ハス人民權利
ノ保障ヲシテ鞏カラシムル所以全ク沒セントス裁判所ヲ設ケ之レヲ司法ノ
機關ト爲スノ主旨ハ之レヲ以テ他ノ干涉ヨリ獨立ナラシムルコトヲ要求ス
此ノ故ニ帝國憲法ハ規定シテ曰ク司法權ハ法律ニ依リ裁判所之レヲ行フ司
法權ヲ行フハ一ニ法律ニ依ル行政ノ命令ヲ以テ之レカ遵依ノ規則ヲ設ケ行

裁判所ハ
憲法ニ依
リテ獨立
司法權ヲ
行使スル
コトヲシ
ムルヲ以
テ其ノ主
目ハ憲法
ニ依リテ
獨立ナル
コトヲ示
スナリ

裁判所ハ
憲法ニ依
リテ獨立
司法權ヲ
行使スル
コトヲシ
ムルヲ以
テ其ノ主
目ハ憲法
ニ依リテ
獨立ナル
コトヲ示
スナリ

政機關ノ處分ヲ以テ司法權ノ行使ヲ指揮左右スルコト能ハサルナリ裁判所
ヲ以テ行政ノ支配ノ外ニ立タシメントスルモノ實ニ憲法ノ主旨トスルトコ
ロタリ固ヨリ裁判所ハ國法ヲ適用ス國法ノ類ハ議會ノ協贊ヲ求ル法律ニ限
ルニ非ス其ノ他命令アリ又或ハ慣習法ナルモノアリトスレハ之レモ亦國法
タリ裁判所ノ適用スルトコロタリ皆ナ人ノ權利義務ヲ定メ臣民行爲ノ法則
タル實效ニ於テ何等ノ差異アルコトナシ憲法ハ裁判所ハ唯リ法律ノ形式ヲ
有スルモノヲノミ適用スルノ職分アリト爲スニ非ス國法ハ之レヲ適用シテ
權義ノ分ヲ明カニスルハ裁判所ノ權能タリ然レトモ之レヲ適用スルニ於テ
他ノ干涉ヲ容レス裁判ノ手續形式國法ノ解釋皆ナ一ニ法律ニ依ル行政ノ支
配ノ外ニ卓越シテ毫モ行政機關ノ意思ニ左右セララルコトナキヲ定ムルモ
ノナリ

故ニ裁判所カ國法ヲ適用スルニ當リテハ毫モ命令ニ束縛セララルコトナシ
若シ命令ノ規定スルトコロ之レヲ以テ違法ナリト爲ストキハ裁判所ハ之レ
ヲ適用セス其ノ適法ト信スルトコロヲ以テ判決スルコトヲ得ヘシ憲法ニ裁

命令内容ニ
服従スル
モノニ非
ス

實質ノ如
何ヲ問ハ

形式ヲ具
備セザル
モノハ國
家ノ命令
ニ非ス

臣民ニ臨
ム於テ實
際ニ如何
ニシテ其
如何ノ由
ヲ知ルニ
如クシテ
效力ノ差
等シクハ
ナシ

判所ハ法律ニ依リ司法權ヲ行フト云フハ主トシテ此ノ一點ヲ定メタルモノ
ナリ行政官廳ヤ一般臣民ヤ若シ命令ノ内容ヲ以テ之レヲ法律ニ違反スト思
意スト雖モ之レカ違由ヲ拒ムコトヲ得ス國家ノ命令ハ其ノ形式ノ故ヲ以テ
其效力ヲ異ニセス法律ト命令トノ形式相異ルカ故ニ他ノ形式ヲ以テ相變更
スルハ憲法ノ禁スルトコロタリト雖モ之レカ爲メニ違由ノ效力ヲ異ニスル
コトナシ行政官廳及ヒ一般ノ臣民ノ之レニ服従スルノ義務アルモノハ命令
ノ違法ヲ理由トシ憲法ノ此ノ禁止ヲ根據トシテ服従ヲ拒ムコトヲ得ス之レ
國家ノ命令ノ效力タリ之レヲ裁判所ニ在リテハ其ノ獨立ヲ保持シ之レヲ設
クルノ主旨ヲ違センカ爲メノ故ニ特ニ此ノ一般ノ原則ニ對シテ例外ヲ置キ
裁判所ハ法ヲ適用スルニ當リ命令ノ内容トスルトコロ法律ニ違反スト思爲
スルトキハ之レカ違由ヲ拒ミ適用セザルコトヲ得ト爲セルモノ實ニ憲法ノ
法律ニ依ルヘシト爲ズノ主旨ナリ特ニ設ケタルノ例外ナリ之レニ依リテ裁
判所ハ行政官廳ト異ナレル地位ヲ附與セラレテ獨立タリ
憲法ハ此ノ一點ヲ定ムルノミ他ノ法律命令ニ對スル違由ノ義務ニ至テハ一

般ノ原則ニ從フ憲法ハ何等特別ノ例外ヲ設クルコトナシ行政官廳及ヒ一般
臣民ト同シキトコロナリ之レヲ學者ノ裁判所ニ就テ特ニ法律命令ニ對スル
違由ノ效力ヲ論スルハ其ノ意特ニ一般ノ原則ヲ明カニシテ如上ノ例外ヲ明
カニスルニ在リ必スシモ裁判所ニ就テ特別ノ規則アルカ故ニ非サルナリ國
家ノ命令ニ服従スルノ義務アル者ハ國家ノ命令タル形式ヲ具有セザルモノ
ハ假令之レヲ法律ト云ヒ命令ト云フト雖モ之レニ違由スルノ義務素ヨリア
ルコトナシト雖モ其ノ内容ノ違憲違法ヲ論シテ服従ヲ拒ムコトヲ得ス法律
ハ憲法ノ下ニ在リ法律ヲ以テ憲法典ヲ變更スルコトヲ得ス然レトモ臣民
ハ法律ノ内容ノ違憲ヲ主張シテ其ノ服従ヲ拒ムコトヲ得サルナリ命令ト法
律トノ關係ニ於テモ亦同シキトコロ國法ノ形式ハ違由ノ效力上差等ヲ設ク
ルニ非ス其ノ臣民ニ臨ムノ實際ニ至テハ皆ナ同シ等シク服従セザルヘカラ
サルナリ唯々之レヲ裁判所ニ就テハ命令ノ内容法律ニ違反スルト爲ス者ハ
之レカ違由ヲ拒ミ命令ニ從ハサルコトヲ得ト爲スノミ其ノ他ニ於テハ如上
ノ原則ニ何等ノ例外ヲ設ケラレス裁判所ハ法律ト命令トヲ問ハス其ノ形式

裁判所ハ
法律ノ内
容ヲ違憲
ナリト爲
スルコト
ハ適ハ
ズルコト
ナリト爲
ルコトヲ
得ル

ヲ審査シテ國家ノ命令タル所定ノ形式ヲ有セサルモノハ國家ノ命令ニ非ス
之レニ違由スヘカラスト雖モ法律ノ内容ノ憲法ニ違反スルコトヲ信スルカ
故ニ之レカ適用ヲ拒ムコトヲ得サルナリ
然ルヲ或ハ覺ラス裁判所ハ法律ノ内容憲法ニ違反スルト爲ストキハ之レヲ
適用セサルコトヲ得ト爲ス者アリ何ノ憲法ニ根據トスルトコロアリテ特ニ
裁判所ニ就テ此ノ例外特權アリト爲スカ若シ裁判所ニ就テ必スシモ特別ノ
理由アルニ非ス唯タ法律ト憲法トノ關係上然リト爲スナラハ一般臣民ニ就
テモ行政官ニ就テモ同一ナリト爲ササルヘカラス論者ノ説ヲ聞クニ曰ク憲
法ニ違反シタル規定ヲ設クル法律ハ法律ニ非サルナリ裁判官ハ之レニ服從
セサルコトヲ得サルヘカラス然ラハ何故ニ一般臣民ハ法律ニ非サルモノニ
服從セサルヘカラサルカ内容違憲ノ法律ハ裁判所ニ對シテハ法律ニ非ス臣
民ニ對シテハ法律タリト爲スカ裁判所自己ノ意見ヲ以テ國家ノ法律トシテ
發布シタルトコロヲ或ハ法律タリト爲シ或ハ法律ニ非スト爲シ之ニ違由ス
ルト否トヲ隨意ニ定ムルコトヲ得ハ臣民モ亦之ヲ爲スコトヲ得サルヘカラ

裁判所ハ
法律ノ内
容ヲ違憲
ナリト爲
スルコト
ハ適ハ
ズルコト
ナリト爲
ルコトヲ
得

ス裁判所ノ之ヲ爲スコトヲ得ルハ論者ノ説ヲ聞クニ單純ニ違憲ノ法律ノ性
質ナリ裁判官ニ就テ特別ノ理由アルコト違法ノ命令ノ如クナルニ非スサス
レハ臣民ニ就テモ同一ナラサル可ラス之ヲ彼レニ可トス此レニ否トス然カ
モ何等ノ理由アルニ非サルナリ其謬レルヤ知ルヘキノミ裁判所ノ違法ノ命
令ニ違由スルコトヲ要セサルモ其當然ノ性質ヨリ然ルニハ非スシテ憲法特
ニ之カ例外ヲ設クレハナリ何ソ推シテ違憲ノ理由ニ及ホスコトヲ得ンヤ
サレハ特ニ裁判所ニ就テ法律命令ノ違由ノ效力ヲ説クコトヲ必要トスルニ
非スト雖モ屢々誤解ヲ爲ス者アルカ故ニ簡單ニ之レヲ説明スヘシ裁判所ニ
就テ論スト雖モ必スシモ裁判ニ限ルコトニ非ス一般ノ原則タルコトヲ忘レ
サランコトヲ要ス

裁判所ハ法律ノ内容カ憲法ニ違反スルヤ否ヤヲ審査シ之レヲ違憲タリト思
爲スルカ故ニ之レヲ主張シテ適用ヲ拒ムコトヲ得ス裁判所ハ國法ヲ適用ス
ルノミ立法ノ監督ヲ以テ職務トスルモノニ非ス法律ノ内容カ憲法ニ違反ス
ルヤ否ヤ固ヨリ學理ニ訴ヘテ理論上主張スルコトヲ得ヘシト雖モ法律上之

レヲ決スル權能ハ裁判所ノ有スルトコロニ非ス之レカ爲メニ特ニ解釋ヲ定
 ムルノ權能ヲ與ヘラレタルノ機關ノ設ケアラハ之レニ依リテ違憲タルコト
 ノ決セラレ法律ノ無効ヲ宣告セラルルニ至ル迄臣民タルト裁判所タルトニ
 論ナク之レニ服從セサルヘカラス若シ之レカ爲メニ特別ノ機關ノ設ナク
 ハ素ヨリ法律ノ内容ノ違憲タルト否トノ解釋ハ立法者タル天皇ニ屬スト爲
 ササルヘカラス立法ニ關スル立法者ノ意思ハ終局的ニ公正ナル解釋ナリ裁
 判所之レト解釋ノ當否ヲ爭ヒ其ノ信スルトコロヲ執テ國法ヲ適用スルノ職
 分ヲ廢スルコトヲ得サルナリ裁判官ハ法律ノ内容ヲ審査スルノ權能モナク
 義務モナシ唯タ之レヲ法律ノ命スル儘ニ適用スルノミ
 然レトモ裁判所カ遵由シ適用スルコトヲ要スルハ國法タラサルヘカラス若
 シ國法ヲ定ムルニ一定ノ形式ノ定メ之レアルトキハ此ノ形式ヲ踐マサルモ
 ノハ之レヲ國法トシテ認ムルコトヲ得ス法律タルト命令タルニ論ナシ裁
 判所ハ憲法ニ定メタル法律タリ命令タルノ形式ヲ有スル法律タリ命令タリ
 トシテ認ムヘキモノナリヤ否ヤヲ審査シ若シ其ノ所定ノ形式ニ於テ缺クル

裁判所ノ如クハ
 所定ノ法律ニ
 式ヲ缺クハ
 若シテハ
 令クハ
 令ノ適用
 ナクハ
 拒ムコト
 得ヘシ

裁判所ノ協
 賛ヲ缺キ
 タル法律
 ナルハ
 適用スル
 事ナラズ

トスルアランニハ之レカ適用ヲ拒ムコトヲ得ヘシ又之レヲ拒ムハ國法ヲ適
 用スル者ノ義務タリ例ヘハ法律命令ハ凡テ國務大臣ノ副署ヲ具ヘ式ニ從テ
 公布セラレサルヘカラス其ノ之レ等ノ條件ヲ缺クハ法律命令ニ非ス適用ス
 ヘカラサルナリ
 然レトモ外形ニ於テ法律命令トシテ認ムヘク天皇ノ法律命令トシテ式ヲ具
 ヘテ公布シタルトコロハ必ス之レヲ適用セサルヘカラス法律ハ議會ノ協賛
 ヲ經ルヲ以テ其制定ニ必要ナル手續トス之レヲ經サレハ法律ノ制定アルコ
 ト能ハス憲法上ノ要件タリ學者之ヲ以テ假令法律ノ名ヲ以テ裁可公布セラ
 ルト雖モ憲法上必要トセラルルトコロノ機關ノ參與ヲ缺キ所定ノ手續ヲ經
 テ成立シタルニ非サルモノハ眞ノ法律ニ非ス國家ノ命令トシテ認ムヘキモ
 ノニ非サルカ故ニ裁判所ハ法律ノ名ノ下ニ於テ公布セラレタル法規ハ果シ
 テ眞ノ法律ナリヤ否ヤ即テ憲法上必要トセラルルトコロノ手續ヲ踐ンテ成
 立セルヤ否ヤヲ審査シ其之レヲ缺ケルモノハ法律ニ非サルコトヲ主張シテ
 適用ヲ拒ムコトヲ得サルヘカラス之レ法ヲ適用スル裁判所當然ノ職責ナリ

其ノ議決カ憲法ニ從テ行ハレタルコトヲ認ムルカ故ニ裁可ハ之レヲ證明スルナリ此ノ天皇ノ解釋ヲ爭フ權能ハ素ヨリ裁判所ノ有スルトコロニ非サルナリ

裁判所ハ法律命令ノ形式ヲ得ヘシト雖モ法律ノ内容ニ違フコトヲ拒ムコトヲ得ス

裁判所ハ特ニ於テ法律ニ違反スル命令ヲ拒ムコトヲ得

之レヲ要スルニ裁判所ハ法律命令ノ形式ニ就テ其ノ果シテ國家ノ命令トシテ認ムヘキ形式ヲ具フルヤ否ヤヲ審査シ法律命令公布ノ所定ノ式ニ合ハス法律命令トシテ認ムルコト能ハサルモノハ之レヲ適用スルコトヲ得ス又之レカ適用ヲ拒ムコトヲ得然レトモ法律ノ内容カ憲法ニ違反スルヤ否ヤ憲法所定ノ手續ヲ經テ成立シタルヤ否ヤハ一ニ天皇ノ最高ノ決定ニ依ル既ニ法律命令ノ外形ヲ具ヘテ公布セラレタルモノヲ覆審シテ之レカ適用ヲ拒ムコト能ハサルナリ唯々裁判所ニ於テ然カリト云フノミナラス一般臣民モ行政官モ皆ナ同シキトコロニシテ而カモ裁判所ハ之レカ例外タルノ地位ニ置カラルコト國法ノ明文ニ一モ之レナキナリ唯々國法ニ違由スル者ハ命令ノ内容ノ法律ニ違反スルヤ否ヤヲモ審査シテ服從ヲ拒ムコトヲ得サルニ裁判所ハ此ノ點ニ付テ特例ノ下ニ置カレ特ニ之レヲ審査シ違法ト思爲スルノ命令

ヲ適用スルコトヲ拒ムコトヲ得又拒マサルハカラサルナリ憲法ノ定メニ法律ニ依ルト爲シ行政ノ支配ノ外ニ獨立セシメタルニ依ル司法權ノ獨立ヲ定メタルニ依ル裁判所ハ命令ノ支配ノ下ニ立タス一ニ法律ニ依リ法ヲ適用ス之レニ依リテ其ノ憲法ニ特ニ裁判所ヲ特設シテ司法權行使ノ機關ト爲ス所以ノ主旨完カラントス

裁判所ノ獨立ヲ保持シ以テ臣民權利自由ノ保障ヲシテ完カラシメントスルノ目的ハ更ニ裁判所ヲシテ一ニ法律ノ定ムルトコロニ依リ其ノ職務ヲ行フモノト爲スニ依リテ完キコトヲ期スヘシ法律ヲ以テ裁判所ノ職務權限及ヒ其ノ組織ヲ定ムルハ又立憲政體ノ要義タリ日本臣民ハ法律ニ依リ定メタル裁判官ニ依リテ裁判セラルルノ權ヲ奪ハルルコトナシ裁判所ハ法律ヲ以テ之レヲ定メサルヘカラス司法權ハ法律ニ依リ之レヲ行フハ又裁判ノ手續カ法律ヲ以テ定メサルヘカラサルコトヲ命ス命令ヲ以テ之レヲ定ムルコトヲ得ス

特別裁判所ノ構成

裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ定ム又臣民ノ權利自由ノ確保ノ爲メニ裁判所ノ

地位ヲ獨立安固ナラシムル所以ナリ如何ナル裁判所ヲ設クルカ其ノ内部ノ組織ハ如何ニ定ムヘキカ其ノ職務ノ權限ノ分配擔任ハ如何ニ定ムヘキヤ皆ナ法律ヲ以テ定ムト爲ス憲法ノ命スルトコロタリ裁判所ノ權限トスル民事刑事ノ裁判ノ裁判事項ニ付キ特別ノ範圍事項又ハ人ニ對シテ裁判スルコトヲ得ルモノトシテ設クルヲ特別裁判所ト云フ特別裁判所ノ管轄ニ屬スル範圍ハ法律ヲ以テ之レヲ定ム憲法ノ特ニ定ムルトコロタリ

裁判官ノ獨立

裁判所ノ獨立ハ又タ之レヲ組成スル裁判官ノ地位ヲシテ獨立ナラシムルニ依テ完シ裁判官ノ任免黜陟ノ權行政官ノ手ニ在ルトキハ裁判所ノ獨立ハ其ノ實アルコトヲ得ス裁判ノ行動ニ於テ行政官ノ指揮ヲ受クルコトナシトスルモ行政官隨意ニ之レカ地位ヲ奪フコトヲ得ヘクンハ何ノ行動ノ獨立カ之レアルコトヲ得ン是ヲ以テ憲法ハ定メテ曰ク裁判官ハ法律ニ定メタル資格ヲ具フル者ヲ以テ之レニ任ス妄リニ裁判官ヲ任命スルコトヲ得サルナリ又曰ク裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其ノ職ヲ免セラルルコトナシ懲戒ノ條規ハ法律ヲ以テ之レヲ定ム之レヲ外ニシテ其ノ地位ヲ奪ハ

裁判所ノ審理判決

ルルコトナシ
裁判ノ對審判決ハ之レヲ公開ス又執法ノ公正ヲ期シ行政ノ不當ノ干涉ヲ容レズ之レカ獨立ヲ保チ臣民ノ權利自由ヲ完全ニ保障スル所以ナリ但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ對審ノ公開ヲ停ムルコトヲ得而シテ之レモ亦法律ニ依ルカ又ハ裁判所自ラ決スルトコロニ依ラサルヘカラス

第五章 行政

第一節 行政

帝國憲法ハ國家統治ノ作用ノ形式ヲ三別ス——國家統治ノ作用ハ其三大別ノ形式ニ依リテノミ定マルモノニ非ス——行政ノ意義ハ消極的ニ定マル——實質上ノ行政作用ノ性質——行政作用ハ間斷ナシ——行政作用ハ普遍的ナリ——行政作用ハ自由ナル作用ナリ——法治行政——政策ノ決定ト其實行——行政作用ハ實質上立法ニ非スシテ處分タルコトヲ其ノ本領トス——行政處分——行政處分ハ個個ノ場合ヲ定ム——法規ト處分トノ區別——處分ハ法ノ範圍内ニ行ハル——處分ノ形式——處分ノ形式ヲ以テ法規ニ抵觸スルヲ得ス——處分ヲ發スル權ハ命令ヲ發スル權ニ含マレンス——行政處分ハ單純ナル法ノ適用ニ非ス——行政處分ハ必スシテ獨立ニ人ノ自由ヲ制限スルコトヲ得サルモノニ非ス——公法上ノ契約——公法上ニハ契約ノ觀念ヲ容レズ——自由權ハ之ヲ拋棄スルヲ得ル——依法處分ト裁量處分——行政處分ノ強制方法——強制罰又ハ執行罰、代執行、直接強制——行政ノ行動ハ法ノ範圍内ニ於テスヘキモ其範圍内ニハ廣キ行動ノ自由ヲ有ス——行政ノ行動ハ常ニ法律ノ下ニ以テセサルヘカラス——法規ハ一般ノ法規タルヲ以テ行動ノ拘束タリ——行政ノ行動ハ命令ニモ拘束セラル——行政官ノ命令審査ノ權——權限爭議裁判ノ制度——權限爭議ノ裁決ハ性質上裁判タリ——權限爭議提起ノ要件——權限爭議提起ノ時期——權限爭議ヲ提起スル者——權限爭議裁判所ノ組織——判決ノ内容及ヒ效果——消極ノ權限爭議

帝國憲法ハ國家統治

帝國憲法カ立憲政體ニ則ルノ主旨ニ依リ國家統治ノ作用ノ行ハルルニ就テ

治ノ作用ノ形式ヲ三別ス

國家統治ノ作用ハ其三大別ノ形式ニ依リテ定マルモノニ非ス

方法形式ヲ定ムルモノ三アリ一ヲ憲法上ノ大權ト爲ス一定ノ事項ハ天皇之レヲ親裁攝行スヘシト爲シ諸他ノ機關ニ附シテ之レヲ行フノ形式ニ依ルコトヲ得サラシムニテ立法ト爲ス法律ト稱シ一定ノ形式ヲ有スル國法ノ制定ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ルヲ以テ必要ナル手續トシ一定ノ事項ハ必ス此ノ形式ヲ以テ定メサル可ラス三ヲ司法ト爲ス民事及刑事ニ關スル法ノ適用ハ獨立ノ司法裁判所ニ於テ之レヲ行フ之レヲ我カ立憲政體ノ綱領ト爲ス上來論シタルトコロナリ此ノ分類ハ國家作用ノ實質的分類ト相當スル者ニ非サルコト之レヲ前ニ述ヘタリ又之レヲ以テ國家ノ統治ノ作用悉ク盡クト爲スコト能ハサルハ素ヨリタリ國家ハ法律ヲ制定シ民事刑事ニ關スル法ヲ個個ノ場合ニ適用シ又二三ノ事項ヲ天皇親裁シテ行フヲ以テ其ノ目的職分ヲ盡シテ餘ナキコトヲ得ルモノニ非ス國家ハ尙ホ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ臣民ノ幸福ヲ増進スルカ爲メニ及ビ百般ノ目的ノ爲メニ凡ユル手段ヲ盡シテ行動セサルヘカラサルナリ如上ノ三ノ形式定マルモノノ如キハ極メテ限局セラレタル一部分タルノミ此ノ外ニ於テ國家行動ノ種類千差萬別タリ

行政ノ意識
的ニ定マ
ルハ消極

之レヲ概括シテ行政ト云フ其ノ形式ハ憲法ニ定マルトコロノ國家ノ作用ニ
非サルナリ唯々其ノ範圍ハ消極的ニ定マル憲法上ノ大權ト云ヒ立法ト云ヒ
司法ト云ヒ三ノ形式定マレルモノヲ除キ他ノ國家作用ヲ概シテ行政ト名ク
ルノミ故ニ其ノ内容ハ難然トシテ數ヘテ相舉クルコト能ハス

實質上ノ
行政作用ノ
性質

サレハ國家ノ作用ヲ其ノ實質ニ就テ相分テ立法司法行政ト爲スノ性質上ノ
行政作用トハ著シク其ノ範圍ヲ異ニス性質上司法ト區別スヘキ行政ノ何タ
ルハ既ニ司法ニ就テ述ヘタルトコロナリ行政ハ法ノ適用以外百般ノ國家ノ
目的ノ爲メニ存スルトコロノ作用タリ其ノ手段モ亦必スシモ一定セス少シ
ク行政作用ノ何タルヲ知ルニ足ル二三ノ性質ヲ説明スヘシ蓋シ形式上行政
ニ屬スルモノハ唯リ此ノ實質ヲ有スル作用ニ限ラスト雖モ素ヨリ其ノ本領
ハ此ニ在リテ之レヲ以テ立法及ヒ司法ニ對シテ相分テ獨立ノ地位ヲ與ヘラ
ル實ニ立憲政體當初ノ希望タレハナリ

行政作用
ハ間斷ナ
シ

行政ハ國家ノ間斷ナキ生活ヲ代表スルトコロノ國家ノ作用ナリ吾人ハ國家
ハ常ニ活動ノ状態ニ在ルコトヲ行政ノ作用ニ依リテ推知ス行政ノ作用ハ國

行政作用
ハ普遍的
ナリ

家ノ存在ノ繼續ヲハ外部ニ示ストコロノ作用ナリ前ニ司法ノ作用ハ間歇的
ナリト云ヘリ司法作用ハ其ノ要求セララルニ於テ發表ス要求セララルコト
ナケレハ司法作用ハ永キ間行動スルコトナカルヘシ之レ其ノ消極的作用タ
ル當然ノ結果ナリ立法作用モ亦々間歇的ナリ法ヲ制定スルコトナクシテ國
ヲ統治セル時代ハ實際ニ之レアリシノミナラス其レヲ十分ニ想像シ得ルト
コロナリ法ノ制定ハ間斷ナク行ハルルコトヲ要セス寧ロ間斷ナク法ヲ制定
スルト云フハ想像スルコト能ハス然ルニ之レニ反シテ行政作用ハ斷ニス行
ハレ間歇ナキコトヲ性質トス立法ト司法トナシト雖モ國ノ統治アルコトヲ
得國家ノ生存アルコトヲ得專制ノ君主ハ特別ニ立法ト司法トヲ有セス混同
シテ行政トシテ行ヘリ然レトモ行政ナケレハ統治ナシ行政ナケレハ國家ノ
生存ナシ行政ハ間斷ナキコトヲ其ノ性質トス

行政ハ又普遍的又ハ包括的ナリ普遍的又ハ包括的ナリト云フハ國家ノ活動
ノ何レノ部分ニモ存在スルコトヲ云フナリ法ノ制定ノ作用モ其ノ準備トシ
テ其ノ手段トシテ行政アルコトヲ必要トス法ノ制定ト云フコトハ行政作用

ニ依リテ行ハル法ノ適用ノ司法ノ作用モ行政ノ作用ニ依リテ行ハル其ノ實
行ハ行政作用ニ之レ俟ツナリ之レヲ行政ハ普遍的又ハ包括的ナリト云フナ
リ而シテ斯カル性質ハ立法及ヒ司法ノ作用ニハ之レナキトコロナリサレハ
三ノ作用ノ分ルルハ國家ノ一般ノ作用ヨリ立法ヲ除キ司法ヲ除キ最後ノ殘
リノ部分カ行政作用タルニ至レリト見ルヘク行政ノ觀念ヲ定ムルモ從テ消
極的ナルヘキハ學者ノ屢々論スルトコロナリ

國家ノ行動ニハ法ニ依リテ羈束セラルルモノト其ノ然ラスシテ自由ナルモ
ノト之レアリ抑モ國家ハ獨立ナル意思ノ主體ニシテ法規以外ニ其ノ活動ノ
餘地ヲ有セサルモノニ非ス諸般ノ事實的作用ヲ以テ其ノ生活ヲ發現シ其ノ
目的ヲ達セントス論理上國家ノ行動ニ法ノ羈束アルハ國家アリテ然ルノチ
ニ生スルコトナリ國家各般ノ行動ハ獨立ニ國家ニ發スル原動的ノ第一次ノ
行動ヨリ生ス之レニ依リテ國家ハ自己ノ存在ヲ保チ其ノ生活ヲ顯表ス之レ
ニ依リテ國家ノ一般ノ方針定マリ一切ノ運動之レヨリ開始ス斯クノ如キ行
動ハ始メヨリ法ノ羈束ノ外ニ在リ自己ニ發スル自由ナル作用ナリ斯カル自

行政作用
ハ自由ナル
作用ナリ

由ナル作用ハ國家アレハ必スナカルヘカラサルノ作用ニシテ若シ凡テノ國
家ノ行動カ羈束サレタルモノナランニハ國家ハ活動ニ由ナカルヘシ

自由ナル性質ヲ有スル行動ハ國家ノ三ノ作用ノ何レニモ存在ス如何ナル國
家ノ作用ト雖モ自由ナケレハ活動スルコト能ハス立法ハ最モ著シク自由ノ
作用タル性質ヲ有ス立法ノ性質上自由タルヘキモノニシテ國家ハ何ヲ法ト
シテ命スルヤニ就テ法ノ羈束ヲ受クルコトナキハ其ノ本質ヨリ然リ司法ノ
作用ハ主トシテ羈束セラレタルノ性質ヲ有スレトモ司法作用ト雖モ一般的
抽象的ノ法ヲ各個ノ場合ニ適用シテ法ヲ實現スルニハ見方ニ依リテハ法ヲ
創設スルモノトモ見ルヘク大ニ自由ナル作用アルコトヲ要スルハ前ニ之レ
ヲ述ヘタルカ如シ

行政ハ素ト自由ナル作用ナリ行政カ便宜ニ酌量シテ自由裁量ノ餘地アル作
用タルノ點ヲ以テ司法ト別ツノ標準ト爲スノ說ヲ爲スモノアリテ其ノ誤レ
リトセサルハ前ニ之レヲ述ヘタルカ如シ然レトモ行政ハ法ノ執行タルニ止
ルコトアリ此ノ場合ニハ行政ヲ以テ自由ナル作用ナリト爲スコト能ハス然

法治行政

レトモ行政ノ作用ハ法ノ執行ニ止ラス其ノ本來ノ分領ハ大ニ他ニ之レアルナリ佛蘭西ノルンウハ立法權ヲ重ニスルニ過キテ行政ヲ以テ全然法ノ執行ニ止ルモノト爲シ其ノ思想今ノ佛蘭西ニ及フ然レトモ佛蘭西ニ在テモ實際ニ於テハ行政ハ法ノ執行ニ止ラス自由ナル裁量ノ行動ヲモ含ムニ至レリ凡テノ行政ヲシテ實際ニ法ノ執行タラシムルコトハ實際的ニ不能ニシテ而カモ國家ノ目的之レヲ許ササレハナリ現行ノ立憲政體ハ同時ニ法治行政ヲ以テ主旨トシ行政カ法ニ準據シ法ノ範圍内ニ行ハレンコトヲ求ム然レトモ之レ行政ノ本質之レヲシテ然ラシムルト云フニ非スシテ特別ノ外部ノ理由ニ基クモノナリ然リ而シテ法治行政ノ下ニ於テモ行政ハ決シテ法ニ羈束セラレタル作用ニ變セス其ノ本質ヲ失フコトナクシテ自由ナル作用タリ抑モ行政ノ目的トスルトコロハ法ノ適用ニ非ス法ノ實現ニ非ス其ノ作用ヲ指導スルトコロノ動念ハ目的ニ適スルコトナリ言ヲ換ユレハ便宜ナリ其ノ目的ハ國家ノ一般ノ目的ヲ達スルニ在リテ法ノ關係ヲ離レテ行政ノ作用ヲ概念スルコトヲ得テ其ノ目的ヲ達スルカ爲メニ執ルトコロノ行動ノ方法モ如何様

政策ノ決定
ト其實行

ニモ種種ナルヲ得テ其ノ種類カ豫定セラルルコトナシ常ニ便宜ヲ酌量シ目的ノ方向ニ向テ活動ス其ノ活動作用ハ如何ノ形式如何ノ徑路ヲ執ルヘキヤハ素トヨリ之レヲ爲ス者ノ自由ナル考量ニ決スヘク政治學上ノ辭ヲ假リテ云ヘハ政策ノ指導スルトコロニ依リテ行動スルモノニシテ政策ノ決定ハ自由ノ撰擇ニ依ルコト素トヨリ論ナシ行政ノ作用ハ分別スレハ政策ノ決定ト其ノ實行トヲ含ム共ニ自由ナル作用ナリ故ニ行政ハ自由ナル作用ナリト云フナリ彼ノ法治行政ノ下ニ於テ行政ノ行動ハ法ニ準據シ法ノ範圍内ニ於テ爲サルヘシト云フト雖モ便宜ヲ酌量シテ政策ヲ決定シ目的ノ方向ニ行動スルノ餘地ヲ奪フモノニ非ス之レヲ自由ニ裁量シテ法ノ命スルトコロニ從ヒ法ノ禁スルトコロヲ避クレハ以テ法ニ準據シ法ノ範圍内ニ行動スルモノト見ルコトヲ得唯若シ法ノ規定カ詳細ニ過キ細微ニ涉レハ裁量ノ餘地ナク偶偶其ノ行動カ羈束セラルルコトアルノミ若シ法治行政ノ下ニ於テハ行政ハ羈束セラルヘク其ノ以外ニ行動ノ餘地ナシトスレハ行政ハ活動ニ由ナキニ至ルヘシ

以上ハ實質上行政作用タルモノノ性質タリ憲法ノ解釋ニ於テ他ノ形式定マ
ルモノト區別シ云フトコロノ形式的意義ニ於ケル行政トハ大ニ其ノ範圍ヲ
異ニスルハ前ニ説ケルカ如シ

行政ノ作用ハ實質上立法ニ非ス個個ノ場合ニ活動スル處分タル事其本領タ
リ行政處分ハ個個ノ場合ニ行政ノ目的ヲ達スルカ爲メニ關スル國家ノ權力
ノ行爲ナリ行政處分ハ立法ニ對ス即チ法規ヲ生スル國家ノ命令ニアラス立
法ハ一般ノ法則ヲ定メ處分ハ個個ノ場合ニ於ケル命令タリ其ノ國家ノ權力
ヲ以テスル命令タルハ相同シ共ニ法律上ノ關係ヲ定メ之レヲ羈束スルノ效
果ヲ有ス等シク國家ノ權力ノ行動タリ然レトモ處分ハ特定ノ個個ノ現實ノ
場合ニ就テ具體的ニ直接ニ之レヲ定ムルコトヲ以テ性質トス法ハ斯クノ如
キモノニ非ス抽象的ニ間接ニ一般ノ法則ヲ定メ個個ノ場合カ之レニ觸接ス
ルトキハ初メテ之レヲ定メントスルモノナリ法ハ何人ニ對シテモ等シク一
般ニ其ノ之ニ觸ルル者ニ適用セラルヘキ抽象的ノ法則ナリ處分ハ個個ノ場
合ニ直接シテ一定ノ關係ヲ定ム之レ處分ノ法規ト異ナル要點ニシテ行政作

行政作用
ハ實質上
立法ニ非
スシテ處
分タルコ
トヲ其ノ
本領トス
行政處分
行政處分
ハ個個ノ
場合ヲ定
ム
法規ト區
別分トノ
區

處分ハ法
ノ範圍内
ニ行ハル

處分ノ形
式

處分ノ形
式ヲ以テ

用ト分カルルハ茲ニ在リ

處分ハ個個ノ場合ヲ定ムルモノナレハ從テ自ラ一般ノ法則タル法ヲ以テ其
ノ標準ト爲スモノナリ法ハ個個ノ場合ヲ定ムルノ準則タリ固トヨリ處分ハ
法ヲ現實ノ場合ニ其ノ儘ニ適用スルコトヲ以テ本質トスルモノニ非サレト
モ其ノ之レヲ指導スルヲ目的トスル法則ハ處分カ行クヘキ方向ノ路標タリ
處分ノ決定カ最モ廣キ官廳ノ自由ナル裁量ニ屬スル場合ト雖モ法ハ常ニ其
ノ準則タリ

サレハ法規ト處分トハ素トヨリ性質ヲ異ニセリ其ノ性質ノ異ナルヨリシテ
其ノ發セラルル形式モ亦々異ナル國家カ法規ヲ命令スルニハ其ノ法律タル
ト命令タルトヲ問ハス一定ノ式ヲ具ヘ一定ノ方法ニ依リテ一般ニ之レヲ公
布スルコトヲ要スレトモ處分ニ就テハ其ノ性質上自ラ之レヲ必要トセラレ
ス便宜ノ方法ニ依リテ或ハ之レヲ受クル者ニ告知スルカ如キ現ニ其ノ場合
ヲ定ムルニ適切ナル方法ヲ用ユルヲ以テ足レリトスルナリ
處分ト法規トハ其ノ性質異ナリ從テ形式モ異ナルカ故ニ處分ヲ以テ法規ニ

法規ニ轉
得スルヲ

處分ヲ發
スル權ハ
命令ヲ發
スル權ニ
含マレシ
ス

抵觸スルハ固トヨリ能ハサルトコロタリ一切ノ國家ノ法規ニ抵觸スルヲ得
 ス法律及ヒ勅令其他上級機關ノ命令ノミナラス自己ノ發スルトコロト雖モ
 處分ヲ以テ直チニ命令ト相異ナル決定ヲ爲スヲ得ス
 サレハ行政官廳ニ行政處分ヲ以テ一定ノ事務ヲ處理スルノ權限ノミカ附與
 セラレアルトキハ其ノ權限ノウチニハ一般ノ法則タル命令ヲ發スルノ權限
 固トヨリ含マルコトナシ加之素トヨリ其ノ性質カ相異ナルモノタルカ故ニ
 命令ヲ發スル權限ヲ有スル官廳ト雖モ之レヲ以テ其ノ事項ニ關シ處分ヲ爲
 スノ權限同時ニ存スト爲スヘカラス一般ノ定メヲ爲シ得ヘクンハ又々個個
 ノ場合ヲモ定ムヘシト云フカ如キモノニ非ス法規ト處分トハ數量相異ナル
 ノミニシテ處分ハ法規ノ小ナルモノト云フカ如キモノニ非ス性質ノ相異ナ
 ルモノハ互ニ相含クムト爲スヲ得サルナリ之レノミニ非ス此ノ場合ニ命令
 ノ形式ヲ以テ内容處分タル定メヲ爲スハ理論トシテハ不可ナリトセサルヘ
 カラス或ハ諸國ノ現行ノ有様ニ於テハ行ハレサルトコロニシテ屢々命令ノ
 形式ヲ以テ個個ノ場合ヲ定ムルコト行ハル爲メニ命令ト處分トハ唯々其ノ

行政處分
ハ單純ナ
ル法ノ適
用ニ非ス

形式ニ依リテノミ別ツヘシト爲ス者アリテ之レヨリシテ或ハ法規ト處分ト
 ノ區別ハ一般ノ法則ヲ定ムルト個個ノ場合ヲ定ムルトニ非ストシ別ニ之レ
 カ標準ヲ求メントスル者アリ然レトモ吾輩ハ此ノ現行ノ有様ノ爲メニ學術
 上重要ナル價值ヲ有スル此ノ觀念ノ區別ヲ紊亂センコトヲ欲セサルナリ
 行政處分ハ又司法ニ對ス即チ法ノ適用ニアラス固トヨリ法規ヲ標準トシテ
 行ハルト雖モ全然拘束セラレタル作用ニ非サルコトハ行政ノ行動ノ性質タ
 ルコト前ニ之レヲ縷述セリ行政ノ行動ニ對シテ法ハ司法ニ於ケルカ如キ一
 切ノ其ノ發動ノ場合ト方法トヲ限局スルモノニ非ス行政處分ニハ廣キ自動
 的ノ發動ノ範圍アリ司法ハ法ノ實現ヲ目的トスルモノニシテ法ノ定ムル嚴
 格ナル範圍ノ外ニ其ノ實現ノ作用カ固トヨリ發動ノ餘地アルヘクモナクシ
 テ司法ニ對シテ法ハ完全ニ殘ル方ナク羈束セリ之レニ反シテ前ニモ述ヘタ
 ルカ如ク行政ノ行動ハ法ナキトコロニモ目的之レヲ必要トスレハ活動スヘ
 キ性質ヲ有スルモノニシテ行政處分ハ其ノ個個ノ場合ヲ定ムルニ法ノ規定
 スルトコロ詳細嚴密ナル場合ハ止ムヲ得ス其ノ適用タル形ヲ有スルコトア

リト雖モ法ノ定ムルトコロヲ外側ノ限界トシテ自由ナル活動ノ餘地ヲ有セ
 リ行政ノ目的ハ法ノ適用ニ非スシテ法ハ其ノ手段ニ過キス其ノ目的之レヲ
 必要トセハ法ニ違反セサル範圍内ニ法ノ根據ヲ離レテ活動スルコトヲ得又
 活動セサルヘカラス法治國ノ原則ハ出來得ル限り行政ノ行動カ法ニ依遵ス
 ヘキコトヲ欲スト雖モ行政ノ自由ナル所以ヲ奪テ其ノ目的ニ不適當ナラシ
 ムルハ固トヨリ期スルトコロニ非ス殊ニ吾カ國憲法ノ定メニ於テハ法律ヲ
 以テスルニ非サレハ之レヲ定ムルコトヲ得ス法律ノ根據ナケレハ行政ノ行
 動スルコト能ハストスル範圍極メテ限局セラレアルカ故ニ從テ行政處分カ
 自發的ニ個個ノ場合ニ獨立ニ定メ得ル事項ノ範圍ハ極メテ廣シ憲法ノ定メ
 其ノ儘ナラハ行政處分ハ以テ極メテ廣キ自由ナル活動ノ餘地ヲ有スルナリ
 法律命令ヲ以テ定ムル事項實際甚タ多キヲ致スニ至テ又詳密ヲ來スニ至テ
 行政處分ノ自由ナル餘地ハ又甚タ狭メラレツツアリト雖モ尙ホ其ノ自由ナ
 ル範圍ハ極メテ廣シ

行政處分
ハ必スシ

人ノ自由ヲ制限スルハ法律命令殊ニ法律ニ根據アルニ非サレハ獨立ニ個個

モ獨立ニ
人ノ自由
ヲ制限ス
ルコトヲ
得サルモ
ノニ非ス

ノ場合ハ行政處分ヲ以テスルヲ得サルコト屢々論セラル特ニ警察ニ就テ論
 セラルルトコロナリ吾カ憲法ニ於テハ法律ヲ以テ定ムヘシトスル事項ノ範
 圍ハ極メテ狭ク行政行動ノ廣汎ナル餘地存スルコトハ茲ニ之レヲ論スルコ
 トヲ用キサラシ煩ハシキノミ事柄ハ明白ナリ加之之レヲ國家ノ本質ニ顧ミ
 ルニ思フニ臣民ハ義務ヲ以テ本則トス臣民タルノ性格ハ國家權力ニ絕對無
 限ニ服従スルニ在リ之レ臣民ノ原則性質ナリ憲法ニ臣民ニ一定ノ自由ノ範
 圍ヲ認メ法律ヲ以テスルニ非サレハ之レヲ干涉スルコトナキコトヲ定ムル
 トキハ斯クノ如キ原則トシテノ絕對無限ノ服従ヲ性質トスル臣民ハ憲法上
 保障セラレタル一定ノ自由ノ範圍ヲ有スルニ至ル若シ國家カ之レヲ干涉セ
 ントスルトキハ必ス法律ニ其ノ根據ヲ求メサルヘカラス然レトモ之レ明カ
 ニ例外タリ憲法ノ此ノ定メアルヲ俟テ初メテ然ルトコロニシテ此ノ定メ之
 レナケレハ臣民ハ復タ服従ノ本則ニ還ラサルヘカラス或ハ法治國ニ於テハ
 臣民ハ自由ナル性格ヲ有シ服従ノ強キラルルハ一切明カナル法ノ根據ニ俟
 ツヘシト爲スハ臣民ノ性格ヲ忘ルル者ナリ臣民タルノ本質ヨリスレハ臣民

ニハ服従カ原則ニシテ例外トシテ一定ノ自由ノ範圍カ認めラルルナリ學者或ハ臣民ニハ自然ニ警察義務トモ名ツクヘキモノ存スト説ク者アリ吾輩ノ全然首肯スルトコロニ非ス彼レモ臣民ノ義務ヲ例外トスル者タリト雖モ又自然ニ存スト云フカ如キ一種ノ偏見ニ基クト雖モ法律ノ根據ナクシテ臣民トシテ國家權力ニ服従スヘキ者タルコトヲ認ムルハ卓見ト謂ツヘシ吾輩ノ云フトコロハ斯クノ如クニ狹カラス臣民ハ憲法ノ定メノ外ニハ至ラズ限ナキ服従ヲ強キラルル性質ヲ有スト爲スナリ此ノ事ハ前ニモ一言シ又タ後ニモ述フルトコロナリ吾輩ハ臣民ハ服従ヲ性格トシ自由カ制限セラルルニハ法律ノ根據ヲ要ストセラルル場合ハ唯タ憲法ニ明文ノ之レアル場合ナルコトヲ信スル者ナリ而カモ明文ノ定ムルトコロノ自由ノ範圍其ノモノモ甚タ狭キコト前ニ之レヲ述ヘタリ

公法上ノ契約

凡テ行政處分ハ法律ノ根據アルコトヲ要ス殊ニ其ノ自由ノ制限ヲ目的トスルモノハ法律ノ根據アルコトヲ要ストスル者其ノ結果實際上極メテ窮屈ナルヲ致スニ困却シテ遂ニ公法上ノ契約ナル觀念ヲ認ムルニ至レリ曰ク臣民ノ自由ハ國家モ之レヲ干渉スルコトヲ得ス國家ノ一方的ナル意思表示タル行政處分ヲ以テ臣民ニ一定ノ義務ヲ命スルハ許ルサレサルトコロナリ法規ノ定ムル範圍内ニ行動スル限りハ國家ノ權力ノ行使モ絶對ニ自由ナリトスルヲ得ス一ニ法ニ根據セサルヘカラサルモノナリ然レトモ合意契約ヲ以テ臣民ニ一定ノ義務ヲ生スルハ之レヲ妨ケス臣民ノ意思ニ拘ラス國家カ權力ヲ以テ之レヲ命スルハ許ルサレサルトコロナリト雖モ臣民カ自己ノ自由ナル意思ニ出テテ法律上與ヘラレタル自由ヲ拋棄シ又タ制限スルハ自由ナリ憲法ニ於テ法ニ依ルニ非サレハ臣民ノ自由ヲ制限スルヲ得スト云フハ本人ノ意思ニ反シテ之レヲ制限スヘカラサルノ意タリ若シ本人之レヲ承諾セハ固トヨリ如何ナル義務ヲ負擔スルモ亦タ妨ケス臣民ノ自由ヲ法規ニ依ラスシテ制限スルハ此ノ合意契約ノ方法ニ依ルト然レトモ吾輩ノ信スルトコロヲ以テスレハ公法上ニ於テ契約ナルモノアリ得ルコトナシ合意契約ナルコトハ其ノ相互ノ當事者カ對等ナル意思ノ力ヲ有スルコトヲ前提ス國家ハ臣民ニ對シテ法律ヲ以テスルニ非サレハ干渉ス

公法上ニハ契約ノ觀念ヲ容レヌ

ヘカラサル一定ノ自由ノ範圍ヲ認ムルト雖モ其ノ行動ハ常ニ權力ノ發動タリ
リ國家ト臣民トノ關係ハ公法上決シテ對等ナルコト能ハス謂フ所ノ公法上
ノ契約ナルモノハ其ノ實契約ニ非ス合意ニ非スシテ國家ノ一方的權力ノ處
分タリ

サレハ學者ノ公法上ノ契約ナルモノヲ認ムル者ト雖モ并ハ假リニ斯クノ如
ク名クルノミ私法上ノ契約ト云フカ如キ完全ナル合意ニ非サルコトヲ論ス
ル者アリ故ニ特ニ公法上ノナル語ヲ附シテ其ノ眞ノ契約ニ非サルコトヲ示
スト爲ス之レヲ契約ト稱スト雖モ國家ト臣民トノ意思ノ力ヲ對等ナリト爲
スモノニ非ス其ノ效力ヲ生スルハ專ラ國家ノ意思ニ依ル臣民ノ承諾ハ其ノ
效力ヲ完全ニ發生スル條件タルニ過キス然レトモ臣民ノ意思カ全然度外セ
ラレサルカ故ニ之レヲ契約ト名クルノミト或ハ名稱ノ如キハ問フトコロニ
非ス其ノ意味サヘ明カナレハ可ナリ矢筈シク論スルニ及ハスト云フ者アリ
然レトモ唯々其ノ窮セルヲ見ル彼等モ亦タ其ノ實契約ニ非サルコトヲ認ム
ルモノナリ而カモ強テ契約ノ名ヲ維持セントスルニ至テハ殆ント解スヘカ

自由權ハ
之ヲ拋棄
スルヲ得
ル乎

ラサラントス好テ誤解ヲ招カントスル者ナリ
其ノ之レヲ契約ト名クルノ非ナルハ深ク論スル迄モナシ行政處分ノ一方的
權力行爲ヲ以テシテハ自由ヲ制限スルヲ得スト云フノ狭キモ再三論セリ復
タ云ハス其ノ自由カ憲法上認めラレ其ノ制限ハ法律ヲ以テスルニ非サレハ
爲スヲ得ストスル狭キ範圍ニ於テモ本人タル臣民ノ承諾アレハ法律ヲ俟タ
スシテ之レヲ制限スルヲ妨ケスト云フ議論ハ行政處分權ノ範圍ニ關シ係ル
トコロ重大ニシテ其ハ妄ニ許ルス可ラサルナリ所謂臣民ノ自由ハ臣民自己
ノ意思ニ依テ果シテ之ヲ自由ニ拋棄シ制限スルコトヲ得ルモノナルヤ之レ
ヲ能ハストスレハ自由ハ眞ノ自由ニ非スト爲ス者アリ然レトモ自由權ハ之
レヲ拋棄シ得サルモノタルコト前ニ之レヲ述ヘタリ固トヨリ公權ト雖モ悉
ク拋棄シ得サルニ非ス然レトモ自由權ト云フカ如キ臣民タルノ事實ト共ニ
存在スルモノハ之レヲ有スル者カ臣民タル以上ハ之レヲ有セサルヘカラス
且ツ其ノ存在ハ本人一人ノ利益ニ非スシテ重大ナル公益タリ一人ノ意思ヲ
以テ公益ヲ害フヘカラス其ノ之レヲ有スルト否ト決シテ臣民ノ自由ニ屬セ

ス國家ハ一方ノ權力ヲ以テ之レヲ廢シ得ヘシトスルモ臣民自由ニ之レヲ拋棄スルヲ得ト爲ス者ハ未タ私法ノ思想ニ支配セララルコトヲ離ルルコト能ハサル者ナリ公法上ノ契約ヲ認ムルノ誤レルハ固トヨリ承諾カ國家ノ處分ヲ以テ之レヲ制限消滅セシムル要件タリトスルモ亦タ許ルスヘカラサルナリ

依法處分
ト裁量處分

行政處分ノ法ニ對スル關係ハ其ノ羈束セララルコト最モ嚴密ナルモノヨリ最モ緩和ナルモノニ及フ此ノ差異ヨリシテ通常行政處分ヲ別テ裁定又ハ依法處分ト狹義ノ處分又ハ裁量處分ノ二ト爲ス裁定又ハ依法處分トハ法ノ定ムルトコロ詳密ニシテ處分ハ唯々之レヲ個個ノ場合ニ其ノ儘ニ適用スルコト司法作用ノ如ク獨立ニ何事ヲモ定ムルコトヲ得ス一ニ法ニ之レ依ルモノヲ云フ之レニ反シ處分ノ決定ニ多少ノ自由裁量ノ餘地カ存スルトキハ之レヲ狹義ノ處分又ハ裁量處分ト爲ス行政處分ノ眞ノ性質ハ裁量處分ニ見ハル其ノ自由裁量ヲ容ルル範圍程度ハ一定セス便宜ノ指ストコロニ從ヒ法ニ違ハサル範圍内ニ於テスルモノニシテ其ノ裁量ノ範圍ノ最モ廣キハ法ニ何等

行政處分
ノ強制方

ノ定メナキトコロニ新ナル關係ヲ處分ヲ以テ生スル場合ナリ之レヨリ狹キ範圍ト程度ニ法ノ定ムルトコロヲ補充シ添加シテ處分ス皆ナ多少ノ範圍程度ノ自由裁量ノ餘地アルモノニシテ單純ナル法ノ適用ニ非ス故ニ即チ依法處分ニ在テハ其ノ適法ナルヤ否ヤカ問題トナルノミナレトモ裁量處分ニ在テハ公益ニ反セサルヤ目的ニ適ヘリヤカ論セララル而シテ又固トヨリ法規ニ違反スヘカラサルカ故ニ其ノ上ニ適法ナルヤ否ヤカ論セララルナリ自由裁量ノ處分ト雖モ行政ノ目的ノ指導スルトコロ通常用キラルル語ヲ以テスレハ公益ニ適スルヤ否ヤニ依リ決定セサルヘカラサルハ云フ迄モナシ然レトモ其公益ニ適スルヤ否ヤノ決定カ法ニ既ニ定マラスシテ行政官廳ニ委セララルヲ自由ナリトハ云フナリ依法處分ノ場合ニハ公益ニ適スルヤ否ヤ既ニ法カ之レヲ決定セリサレハ更ラニ其ノ之レニ依ル行政處分ノ公益ニ適スルヤ否ヤノ問題ハ起ラサルナリ

行政處分ニ由リテ臣民ニ一定ノ義務ヲ生シタルトキハ國家ハ之レヲ強制シテ處分ノ指示セル状態ヲ發生セシムル方法手段ヲ有セサルヘカラス行政處

シト云フハ法律ノ定ムルトコロニ違反スヘカラスト云フ消極的ノ限界ヲ示
 スノ意義ヲ有スルモノニシテ其ノ自由ナル行動タル本質ヲ奪テ法ノ單純ナ
 ル適用タル性質ヲ有セルモノニアラス唯々法律ノ下ニ行ハルヘキノ結果ト
 シテ法律ノ規定詳細ニ過キ嚴密ヲ極ムルカ爲メニ固トヨリ自由ナル作用タ
 ル本質ヲ失ハスト云ヘ法ノ適用ニ止マルコトアリ然レトモ之レヲ以テ其ノ
 作用ノ本質ト爲スコトナシ常ニ法律ハ行政作用ノ成立條件ニ非スシテ其ノ
 制限ナリ法律ハ外側ノ繩張ヲ成スニ止マリ法律カ禁セサルトコロハ凡テ之
 レヲ爲スコトヲ得ルモノナリ法律カ行政作用ニ對シテ嚴密詳細ノ規定ヲ爲
 ストキハ事實ニ於テ法律ヲ適用スルノ外何事ヲモ爲ス能ハサラシムト雖モ
 之レヨリモ寬ニ其ノ事柄ノ内容ニ就テハ法ニ嚴密詳細ニ規定スト雖モ特定
 ノ場合ニ之レヲ實行スヘキヤ否ヤノ決定ハ一ニ行政ノ定ムルトコロニ依ラ
 シムルコトアリ更ニ寬ニ法律ハ唯々大體ノ原則ヲ定ムルニ止マリ行政ハ此
 ノ廣キ範圍内ニ之レヲ補充シ之レヲ添加シテ行動スルコトアリ更ニ寬ニ法
 律ニハ何等ノ實質的ノ定メヲ爲スコトナクシテ行政ヲシテ一ニ公益ノ爲メ

行政ノ行
 動ハ常ニ
 法律ノ下
 ニ於テセ
 ラルヘカ
 ラス

法規ハ一
 般ノ法則
 タルヲ以
 テ行動ノ
 羈束タリ

ニ必要トスルトコロヲ裁量シテ便宜ニ行動スルコトヲ得セシムルコトアリ
 其ノ法律ノ定メ一モ之レアルナキ場合ト雖モ行政ハ行動ス行動セサルヘカ
 ラス之レ行政ノ行政タル所以ナリ
 然レトモ常ニ法律ノ下ニ行動セサルヘカラス其ノ最モ自由ナル場合ト雖モ
 專制國ニ於ケルカ如キ獨立ノ權力行使ニ非スシテ其ノ外側ニハ法律ノ限界
 アリ之レヲ越エ之レニ違反スルコトヲ得ス法律ニ定メ之レアル限り之ニ
 羈束セラレサルヘカラスサレハ行政官ノ法律審査ノ權限ハ裁判官ト異ナル
 コトナシ法律カ適法ノ形式ヲ有セサルモノハ法律トシテ認ムルコト能ハス
 固トヨリ之レニ依遵スルヲ要セスト雖モ苟クモ其ノ形式ニシテ備ハラハ其
 ノ實質ノ適法ナリヤ否ヤハ行政官ノ間フコトヲ得ルトコロニ非ス間フコト
 ヲ要スルトコロニ非ス

行政ノ行動カ斯クノ如ク法律ノ規律ノ下ニ行ハルルコトヲ必要トスルハ法
 治國ノ原則ニ由ルト雖又々法律其ノモノノ實質ニ基ケリ抑モ法律ハ法規ヲ
 定ムルヲ以テ其ノ内容トスルモノナリ法規ハ行動ノ規律ナリ行動ノ規律タ

ル其ノ性質ニ於テ既ニ行政ノ行動力之レハ羈束セラルヘキコトヲ示セリ斯クノ如キ行政ノ行動ヲ羈束スルモノハ一般ノ法則ナリ個個ノ現實ノ特定ノ關係ヲ定ムルモノハ一般ノ法則ニ非ス其ノ關係ヲ離レテハ羈束スルコトナシ法規ハ一般ノ法則タルコトヲ以テ行動ノ羈束タリ現實ノ個個ノ場合ヲ定ムルニ非スシテ間接ニ抽象的ニ一般ノ定メヲ爲シ之レニ適合スル場合ヲ羈束スヘキ一般ノ標準ヲ與フ此ノ一般ノ法則タルニ於テ行政ノ行動ハ羈束セラレ之レヲ後ニ述フルカ如ク法規ハ一般ノ法則タルコトヲ性質トシ此ノ故ヲ以テ行政ノ行動ノ羈束タリ行政ノ行動カ法律ノ下ニ在ルハ又其ノ實質カ法規タルコトニ存スルナリ

行政ノ行動ハ命令ニモ羈束セラル

故ニ行政ノ行動ハ命令ニモ羈束セラル吾カ憲法ニ於テハ實質的立法作用ノ一部ヲ移シテ形式的行政作用ニ屬セシム命令之レナリサレハ命令モ亦タ内容ハ法規タリ一般ノ法則タリ行政ノ行動ハ凡テ其ノ法律ノ下ニ立タサルヘカラス其ノ規律タル性質ヲ以テシテ下級官廳ノ命令ト雖モ個個ノ現實ノ場合ニ處スル上級官廳ノ行動ノ規律タリ之レニ從ハサラント欲セハ上級官廳

ハ等シク命令ヲ以テ之ヲ變更廢止シタル上ニ非サレハ直チニ之レニ違反スルコトヲ得ス行政ノ行動ハ命令ニモ拘束セラル之レ命令ノ法規タル性質ニ基クモノナリ

行政官ノ命令審査ノ權

行政官ノ命令審査ノ權ハ司法官ニ於ケルト異ナレリ法律審査權ト趣ヲ異ニス下級官廳ハ上級官廳ノ命令ニ對シテ獨立ノ地位ヲ有スルモノニ非ス一切之レニ從ハサルヘカラス唯タ其ノ權限ニ屬セス適法ノ形式ヲ缺キタル等ノ場合ニハ服從スルノ義務ナキコト之レ前ニ述ヘタルカ如シ

權限爭議裁判ノ制度

行政ノ司法ニ對スル其ノ限界ハ既ニ之レヲ述ヘタリ憲法ノ定ムルトコロダリ司法ハ形式上民事刑事ニ關スル司法作用ヲ本領トシ實質上ノ司法作用ト雖モ行政訴訟ニ對スルモノヲ其ノ權限ニ屬セシムルコトヲ得ス既ニ權限ノ界定アリ司法モ亦獨立タラサルヘカラスト云フト雖モ行政モ亦獨立ナラサルヘカラス相許ササルヲ以テ立憲政體ノ主旨トス此ノ分界ヲ定ムルノ制度ヲ權限爭議裁判ト爲スハ權限爭議裁判ハ司法ト行政トノ分界ヲ明カニスル所以ノ旨ニ從ヒ之レヲシテ互ニ相侵スコトナカラシムルコトヲ目的トスル

モノニシテ二者權限ヲ爭フテ決スルノ方法タリ相爭フ二ノ機關カ共同ノ監督權ノ下ニ服スル場合ハ極メテ明瞭ナリ

然カレトモ各獨立ナル司法裁判所ト行政官廳トノ間ニ權限ノ解釋ノ牴觸アルトキハ之レヲ如何ニスヘキヤ三權分立ノ旨ニ依リ司法ト行政トハ共ニ獨立ノ職權トシテ相對立ス其ノ一ヲ以テ優勝ナリトスルハ權限ノ爭ナカラシムル一ノ方法タレトモ立憲政體ノ旨ニ合ハス司法ヲ以テ優勝ナリトスル觀念ハ佛蘭西ノバルマンノ歴史ニ依リテ或ハ實際ニ支配シ獨逸帝國裁判所構成法ノ如キハ裁判所ノ權限ノ決定ハ依遵セラルヘキモノト定ムト雖モ一般ニ用ユヘカラサルナリ行政官廳ノ決定ニ委スルモ亦々同シ等シク當事者ノ一方ヲシテ決定ニ當タラシムルノ誹ヲ免カレス元首自ラ之レヲ決定スルハ事理ニ適セリ獨逸諸國ノ法律ハ此ノ權ノ國王ニ屬スルコトヲ明言ス現今行ハルルトコロ之レカ爲メニ特別ノ機關ヲ設クルノ制度ナリ特ニ之レニ任スル機關ヲ置クヲ以テ最モ當レリトス之レヲ即チ權限爭議裁判所ト爲ス權限爭議トハ司法ト行政トノ權限ノ爭ヲ云ヒ之レヲ特別ノ機關ノ定ムルトコ

權限爭議ノ性質上裁判タリ

ロニ委ス

斯クノ如キ爭ノ決定ハ自ラ裁判タル性質ヲ有ス法ノ適用タリ法ノ適用ハ固トヨリ行政行為ノ如キ方法ヲ以テモ爲スコトヲ得レトモ權限爭議ノ裁決ハ法ノ適用カ目的タリ同時ニ手段タルモノナレハ性質上裁判タリト云フヘク民事裁判ニ類似シタル形式ヲ以テ決セラル之レヲ權限爭議裁判ト爲ス

權限爭議ノ提起ハ常ニ行政ノ側ヨリ爲サルヘク行政官廳カ特ニ其ノ自己ノ權限ニ屬スト主張スルコトヲ必要トセラル優勝ナル司法裁判所カ其ノ權限外ト見ラルヘキ事件ヲ裁判セントスルノミニテハ足ラス行政官廳又ハ行政裁判所カ自ラ其ノ自己ノ權限ニ屬スルモノタルコトヲ主張スルコトヲ以テ權限爭議裁判所開始ノ要件トス

權限爭議ノ提起ノ期

權限爭議ハ其ノ爭ハレントスル事件ニ付キ既ニ司法裁判所ノ確定判決アリタルトキハ最早ヤ之レヲ提起スルヲ得ス之レ蓋シ判決ノ性質正ニ然ルヘキカ故ニ非スシテ定マレル法律關係ヲ妄リニ攪亂シテ當事者ニ不安ノ念ヲ抱カシメ公益ニ害アルコトヲ避クルカ爲メナリ素ト便宜ノ目的ニ出ツサレハ

獨逸諸國ノ法ニ於テハ未タ本案ノ判決ナキモ司法裁判所カ先決問題トシテ
 權限ノ自己ニ屬スルコトヲ決定シタルトキハ又同シク權限爭議ヲ提起スル
 ヲ得ストスト雖モ未タ本案ノ決定ナキ場合ニハ斯カル不便ヲ醸ス恐ナキカ
 故ニムシロ權限爭議ヲ提起スルコトヲ許スハ事宜ニ適ヘリトス確定判決ア
 リタルトキハ最早ヤ權限爭議ヲ提起スルコトヲ得ストスルトキハ目的ノ便
 宜上其ノ範圍ニ於テ之レヲ提起シ得ル時期ヲナルヘク廣クスルハ又事宜ニ
 適ヘリト爲スヘシ其ノ事件カ裁判所ニ繫屬スル間ハ何時ニテモ之レヲ提起
 スルヲ得トスルヲ當レリトス

權限爭議
ヲ提起ス
ル者

權限爭議ヲ提起スル者ハ行政廳ナリ司法裁判所ニ繫屬スル事件カ自己ノ處
 分又ハ裁決ヲ爲スヘキトコロニ屬スト爲ス行政廳之レヲ提起ス爭議ノ相手
 方ハ司法裁判所ナリ然カレトモ之レ等ヲ嚴正ニ原告ト稱シ被告ト稱スヘキ
 モノニ非ス行政廳ト云ヒ司法裁判所ト云ヒ皆ナ國家ノ機關ニシテ自己ノ權
 利ノ爲メニ爭フ主體ニ非ス權限爭議裁判ノ主旨ハ權利ノ保護ニ非スシテ權
 限ヲ定ムル法ノ維持カ其ノ目的タリ行政ト司法トノ權限ノ範圍ヲ法ニ依テ

權限爭議
裁判所ノ
組織

決定スルノミ行政モ司法モ共ニ當事者ニ非ス唯タ形式上當事者ノ地位ニ置
 カルルノミ
 權限爭議裁判所ノ組織ハ通常法律ヲ以テ定ム少クモ裁判官ノ半數ハ司法裁
 判官ヲ以テ之レニ充ツルヲ例トス裁判官ハ司法裁判官ノ如キ地位ノ獨立ヲ
 有セシム

判決ノ内
容及ヒ効
果

權限爭議裁判ノ判決ハ行政廳カ己レノ權限ニ屬シ司法裁判所ノ裁判スヘキ
 モノニ非ストスル事件カ司法裁判所ニ屬スルヤ否ヤヲ決ス判決ハ關係ノ司
 法裁判所及ヒ行政廳ヲ羈束ス其ノ事件カ司法裁判所ノ權限ニ屬セスト判決
 セラレタルトキハ司法裁判所ニ繫屬スル訴訟ハ棄却セラレタルモノトナリ
 之レニ抵觸スル裁判ハ凡テ其ノ效力ヲ失フヘキモノタリ若シ之レニ反シ其
 ノ事件カ司法裁判所ノ權限ニ屬スト判決セラレタルトキハ一タヒ中止シタ
 ル訴訟ヲ繼續スルコトヲ得セシム

行政ノ權
限爭議

司法ト行政トノ權限ノ抵觸ハ以上述フルカ如キ司法裁判所ニ繫屬スル事件
 ヲ行政廳カ自己ノ權限ニ屬スト爲ス場合ニ發生スルカ如ク又共ニ一ノ事件

ヲ他ノ權限ニ屬スト爲ス場合ニモ發生スヘシ學者ハ前ノ場合ヲ積極ノ權限
爭議ト云ヒ後ノ場合ヲ消極ノ權限爭議ト云フ

消極ノ權限爭議ヲ提起スル要件ハ行政廳ト司法裁判所ト交互ニ一ノ事件カ
他ノ權限ニ屬スヘキモノタリトノ理由ニ基ツキ確定ノ裁判又ハ裁判ニ依リ
訴訟ヲ棄却シ又ハ訴願ヲ却下シタルコトニ在リ此ノ場合ニ權限爭議ヲ提起
スル者ハ行政廳ニ非ス之レカ爲メニ權利ノ救濟ヲ得ルコト能ハサル私人ナ
リ從テ提起ノ時期モ積極ノ場合ト異ナリ確定ノ判決アリタル後ナルコトヲ
要ス消極ノ權限爭議ニ對スル判決モ亦タ同シク其ノ事件カ司法裁判所ノ權
限ニ屬セルヤ否ヤヲ決ス若シ司法裁判所ノ權限ニ屬スト判決セラレタルト
キハ司法裁判所ノ前ニ爲セル棄却ノ判決ハ凡テ效力ヲ失フ其ノ權限ニ屬セ
スト判決セラレタルトキハ行政廳ノ爲セル訴願ノ却下ノ裁決ハ凡テ效力ヲ
失フ

第二節 行政機關

行政機關ノ意義——國法上ノ行政機關——官廳ハ國家ノ機關ナリ人格ヲ有スルモノニアラス
——官廳ハ官職ヲ有スル官吏ヲ以テ組織ス——官廳ノ權限職權及ヒ職務——官廳ノ權限ハ事務
ノ實質ニ依リ又タ土地ノ區劃ニ依リ定マル——地方官廳ト中央官廳——官廳ノ職務權限ノ委任
——中央官廳——地方官廳——地方行政ハ自治行政ト相並ンテ官廳ニ依リ行ハル——特種ノ事
務ニ關スル地方官廳——公共團體ハ國家ノ機關タル人格ナリ——公共團體ト官廳トノ區別——
公共團體ハ自治ヲ行フ——公共團體ハ國家ノ監督ノ下ニ立ツ——公共團體ノ人格タル範圍ハ法
令ニ依リテ定ル——地方公共團體ノ事務ノ範圍ハ內務行政ノ區域ニ屬シ地方人民ノ利益ニ直
接ニ關係スル事務ナリ——地方公共團體ノ事務ノ範圍——地方公共團體ノ人格ノ範圍ヲ內務行
政ノ內助長行政ノ事務ニ限界ス——土地ノ區域ヲ以テ限界ス——公共團體ノ命令權——公共團
體ノ分類——公共團體ト公共組合——市町村——市町村ノ事務——國家ノ領土ハ凡テ市町村ニ
區分モラル——市町村ノ區域——市町村ノ住民——市町村ノ機關——郡及ヒ府縣ノ自治ノ範
圍ハ市町村ニ比シ大ニ狹シ——郡——府縣——郡及ヒ府縣ノ區域——郡及ヒ府縣ノ住民——郡
及ヒ府縣ノ機關

行政機關
ノ意義

憲法上ノ大權ハ天皇之レヲ親裁シ立法ハ議會ノ協賛ヲ以テ之レヲ行フ司法
ハ裁判所ニ依リテ行フ行政ハ必スシモ憲法ニ形式ノ定メアリテ之カ機關ヲ
指定スルコトナシ天皇之レヲ親裁シ又他ノ機關ニ委シテ行フコトヲ得其ノ
機關ノ類モ一ナラス行政ノ作用ノ爲メニ天皇ノ用ユルトコロ機關ヲ概括シ
テ行政機關ト云フ

行政機關タル地位ヲ有スルモノ官廳及ヒ公共團體アリ近世諸國行政ノ組織ハ官廳ニノミ依ラスシテ公共團體ニ依ルトコロノ所謂自治ノ行政ヲ併ハセ用ユ我カ行政ノ組織モ亦中央ノ行政ハ官廳ニ依リ地方ノ行政ハ主トシテ公共團體ニ依レリ

行政機關ノ組織權限ヲ定ムルハ天皇ノ大權ニ屬ス前ニ說明セリ天皇ハ行政各部ノ官制ヲ定ム行政ヲ機關ニ附シテ行ハシムト雖モ天皇ノ指揮統督スルトコロタリ

官廳ハ國家ノ機關ナリ人格ヲ有スルモノニ非ス

行政機關ハ官廳ヲ以テ其ノ主タルモノトス國家ノ行政ノ行動ハ官廳ヲ機關トシテ行ハル官廳ハ行政ノ機關ナリ機關ニシテ人格ヲ存セサルコトヲ官廳ノ性質ト爲ス公共團體ハ行政ノ機關ナレトモ其ノ國家ノ事務トシテ行フトコロハ同時ニ自己ノ事務ナリ公共團體ノ名ニ於テ行ハレ其行政行動ノ出ツルトコロノ源泉ハ公共團體ニ在リ公共團體ハ其レ自身自我ノ存在ヲ有ス官廳ハ人格ヲ存セス唯國家ノ事務所タリ道具タルニ止ルノミ其ノ決定シ表示スルトコロノ意思及行爲ハ主權者タル人格ノ行動ニシテ機關ノ行動ニ非ス

官廳ハ官職ヲ有スルモノニ非ス以テ組織ス

其ノ責任ハ國家ニ屬シ機關ハ之レヲ歸スヘキ自我ノ存在ヲ有セス機關ハ權利ヲ有セス國家ニ屬スル權利ナリ自我ノ存在モナケレハ自我ノ目的モナシ其ノ行フトコロハ國家ノ利益ニシテ國家ノ目的ノ爲メニスルナリサレハ甲ノ官廳ノ行爲モ乙ノ官廳ノ行爲モ同シク國家ノ行爲ナリ出ツルトコロノ源泉ハ一ナリ又官廳カ廢止セラルルコトアルモ其ノ一タヒ爲シタルトコロハ國家ノ行爲トシテ尙ホ存在ス人格ノ行動ハ人格亡ケレハ消滅ス然レトモ機關ノ行動ハ機關ノ廢止セラルルト雖モ人格ノ行動トシテ變更アルコトナシ官廳ノ廢止カ其ノ行動ノ效力ニ變更ヲ及ボササルハ其ノ機關タル性質ニ依ルナリ之レヲ要スルニ官廳ハ國家ノ機關ニシテ人格ニ非ス但シ官廳ト雖モ法規ニ依リテ特ニ之レニ人格ヲ附與スルトキハ自我ノ存在ヲ有シ行爲ノ源泉タルニ至ルト解スヘキコト前ニ人格ヲ論スルニ當リテ述ヘタルカ如シ

官廳ハ一人又ハ數人ノ官吏ヲ以テ組織ス官吏ハ官廳ヲ組織スル要素ナリ官廳ヲ組織スル官吏ハ官廳ヲシテ主權者ノ機關タル所以ノ行爲アラシメンカ爲ニ一定ノ範圍ノ事務ヲ有セサルヘカラス各一定ノ範圍ノ事務ヲ存スル官

官廳ノ權
限職務及
ヒ職權

吏ノ行動ニ依リテ官廳ハ活動スルコトヲ得ルナリ此ノ一定ノ範圍ノ事務ヲ
 官職ト云フ官職ヲ官吏ヨリ離レテ客觀的ニ之レヲ見レハ官廳ハ官職ヲ以テ
 成ルト云フモ亦タ可ナリ然レトモ凡テノ官職ハ官廳ヲ成スモノナリト爲ス
 コトヲ得ス官廳ノ活動ヲ成立セシムルニハ直チニ其ノ活動トナルヘキ官職
 ノ他ニ之レヲ補助シ之レヲ準備スルカ如キ事務ナカルヘカラス之レ等ノ事
 務ハ官廳ノ活動アラシムル爲メニ必要ナル事務ナリト雖モ嚴格ニ云ハハ官
 廳ヲ成ストコロノ要素ニ非ス

官廳カ國家ノ機關トシテ行動シ國家ノ行爲ヲ生スルハ一定ノ範圍内ニ於テ
 セサルヘカラス之レヲ機關タル官廳ノ性質ト爲ス定限ナク凡テノ行政ノ事
 項ニ關シテ主權者ノ行爲ヲ生スルモノニ非ス之レヲ官廳ノ權限ト云フ官廳
 ハ其ノ權限ノ範圍内ニ於テ國家ノ機關タリ之レヲ超越スレハ國家ノ機關ニ
 非ス官廳カ國家ノ行爲ヲ生スルニハ其ノ權限ニ屬スルコトヲ要件トス權限
 ノ範圍ハ事務ノ實質ニ依リテ定マルコトアリ或ハ土地ノ區劃ニ依リテ定マ
 ルコトアリ此ノ範圍内ニ於テ事務ノ性質カ國家ノ命令ニ屬スルトキハ命令

官廳ノ權
限職務
ノ實質ニ
依リ又土
地ノ區劃
ニ依リ定
マル

地方官廳
ト中央官
廳
官廳ノ職
務權限ノ
委任

ノ權限ヲ存ス即チ國家カ命令スルトコロノ機關タルヲ得之レヲ稱シテ官廳
 ノ職權ト云フ此ノ權限ニ屬スル事務ハ官廳之レヲ處理セサルヘカラス法令
 ノ規定ニ自由ナル裁量ノ餘地ヲ與フルコトアリト雖モ常ニ之レヲ處理セザ
 ルヘカラス此ノ方面ヨリシテ官廳ハ一定ノ範圍ノ職務ヲ存スト云フ

官廳ノ權限ハ事務ノ實質ニ依リテ定マリ或ハ土地ノ區劃ニ依リテ定マル行
 政ノ組織ニ事務分掌制度ト地方區劃制度トアリ事務分掌ノ制度ニ依ルトキ
 ハ官廳ノ權限ハ事務ノ實質ニ依リテ限ラレ地方區劃ノ制度ニ依ルトキハ土
 地ノ區劃ニ依リテ定メラレ此ノ區別ハ全國ニ互テ其ノ職權ヲ行フヲ得ルト
 職權ヲ行フヲ得ルノ區域限ラルルトノ區別ニ非ス土地ノ區劃ニ依リテ權限
 定マル官廳ト雖モ全國ニ對シテ職權ヲ得ルモノアリ又事務分掌ノ制度ニ依
 ル官廳ニシテ同時ニ職權ノ及フ區域ヲ限ラルルモノアリ此ノ職權ノ及フ區
 域ヲ管轄區域ト云フ管轄區域アル官廳ヲ地方官廳ト稱シ全國ニ互テ職權ノ
 行ハルル官廳ヲ中央官廳ト云フ

官廳ノ職務權限ノ分配ハ官制ニ定マリ官廳自ラ隨意ニ之レヲ變更スルヲ得

中央官廳
地方官廳
地方自治行政
ハ自治行政
ハ行政官廳
ニ依リ行政
ハニ依リ行政

ス自己ニ屬スル職務ヲ以テ他ノ官廳ニ委任スルカ如キハ原則トシテ能ハサルトコロナリ然レトモ實際ノ行政ノ施行ノ必要上職務ノ一部ヲ他ノ官廳殊ニ下級ノ官廳ニ委任スルコトヲ得セシメサルヘカラサレハ官廳ノ職務權限ノ分配ヲ紛更スルニ非ス單ニ下級官廳ヲ利用スルモノト見ルヘキ場合ニハ之レヲ許スヲ例トセリ殊ニ法令カ一事件毎ニ之レヲ決定スヘキ旨ヲ一ノ官廳ニ命スル場合ニハ之レヲ委任スルヲ得サルモノト解セサルヘカラス
管轄區域ヲ限局セラレス其ノ職權ノ全國ニ及フモノヲ中央官廳ト稱ス或ハ中央官廳ナル意義ヲ國ノ行政ノ機關ノ意ニ取り公共團體ニ依リテ行ハルル地方自治ノ行政ニ對セシメテ凡テノ官廳ヲ中央官廳ト稱スル者アリ中央官廳ハ內閣、內閣總理大臣、各省大臣ヲ主タルモノトス
地方ノ行政ハ之レヲ公共團體ノ自治ニ任スルコト吾カ行政組織ノ大體ノ主旨タリ地方官廳ハ公共團體ノ自治ニ任セサル行政即チ名ケテ云ハハ國ノ行政ト稱スヘキ行政事務ヲ管掌スルトコロノ行政官廳ニシテ其ノ職權ノ範圍土地ニ依リテ區劃セラレタル管轄區域ヲ有ス中央官廳ノ政令ハ事實上地方

ニ數多ノ官廳ヲ分置シ之レヲ利用スルニ非レハ普ク人民ニ及フコト能ハス或ハ事情ニ適切ナラサルヲ致シ或ハ德澤ニ霑ハサルノ民アルヲ見ントス全國ヲ幾多ノ行政區劃ニ分割シ各區劃ニ地方官廳ヲ設ケ行政ノ施設ノ完カラシムコトヲ期スルハ各國皆ナ行フトコロナリ唯々近來自治制度布カレ地方ノ行政ハ地方ノ公民ヲシテ自ラ之レヲ處理セシムルノ政策採用セラルルニ至リ國カ自己ノ行政官廳ヲ地方ニ布置スルノ必要ハ著シク減少シタリ之レヲ吾現行ノ行政ノ區劃ニ當テテ云ヘハ最下級ノ行政區劃タル市町村ニ於テハ殊ニ其ノ然ルヲ見ル市町村ニ在テハ國カ特別ニ公共團體ノ自治ニ委シタルモノノ他ニ行政官廳ヲ設クル必要殆ントアルコトナシ府縣郡ノ區域ニ在テモ亦々自治行政ノ作用ハ十分ニ行ハレテ國ノ行政官廳ノ施設ニ係ルモノ極メテ狭カラントス然レトモ國ノ政務ハ悉ク之レヲ其ノ團體ノ自治ニ委スヘカラサルハ云フ迄モ無シ或種ノ政務ハ自治行政トシテ適セサルノ性質ヲ有セリ或ハ自治ニ委セサルヲ利ナリトスル性質ヲ有セリ之レ等ノ政務ニ在テハ地方ニ自治アリト雖モ又々之レト共ニ國ノ行政官廳ヲ設ケテ管掌處理セ

ンメサルヘカラス斯クノ如キ種類ノ政務ハ市町村ノ如キ小區劃ニ至ル迄特別ノ官廳ヲ設ケテ之レヲ管掌セシムルノ必要少ク市町村ノ如キ小區劃マテヲモ爲シテ事情ニ適切ニ行政ノ普通ナランコトヲ期スヘキ政務ハ寧ロ之レヲ自治ニ委スルヲ適セリトスルトコロノ政務ニシテ市町村ニ在テハ凡テ自治行政ニ委シテ何等ノ支障ヲ見ルコト無シサレハ現行法市町村ノ如キ小區劃ニ在テハ其行政ハ主トシテ之ヲ自治ニ委セリ唯タ其ノ稍大ナル區劃タル郡及ヒ府縣ノ如キ行政區劃ニ在テハ凡テ行政事務ヲ自治ニ委スルニ適セス又ハ不利トスルカ故ニ郡及ヒ府縣ニ在テハ特ニ行政官廳ヲ設ケテ自治行政ト相竝ンテ或ル種ノ行政ヲ管掌處理セシム斯クノ如キ官廳ヲ地方官廳トス地方官廳ハ其ノ種類一ナラス各特種ノ行政事務ニ付キ地方官廳ノ設ケアリ之レヲ例ヘハ土木監督署ノ如キ税關ノ如キ稅務監督局ノ如キ林區署ノ如キ又ハ鑛山監督署ノ如キ其ノ他管轄地域ノ定ルト共ニ事務ノ種類モ特定スル地方官廳多シ汎ク一般行政ニ關スル地方官廳ハ府縣知事警視總監北海道廳長官臺灣總督郡長及ヒ島司ヲ主タルモノトス

特種ノ事務ニ關スル地方官廳

公共團體ハ國家ノ機關タル人格ナリ

國家ノ行政ハ官廳ト公共團體ニ依リ行ハル公共團體ハ官廳ト共ニ國家行政ノ機關ナリ機關ト云フトキハ國家行政ノ行動力之レニ依リテ發動スルコトヲ意味ス法令ノ定ムルトコロニ依リ一定ノ範圍ニ於テ國家ノ行爲ヲ生ス其ノ生スルトコロハ國家行政ノ事務ニシテ國家行政ノ事務ヲ處理スル職務ト權限トヲ有シ之レカ爲メニ命令權ヲ有ス

公共團體ト官廳ト區別

公共團體ハ國家ノ機關ニシテ國家ノ事務ヲ行フモノナリ然ラハ何ヲ以テ官廳ト之レヲ區別スルヤ公共團體ヲ官廳ト區別スルハ其ノ人格ナリ蓋シ官廳ハ人格ヲ有セス其ノ爲ストコロノ行爲ハ國家ノ行爲ニシテ官廳ノ行爲ニ非ラス其ノ有スルトコロハ國家ノ事務ヲ處理スル職務ニシテ義務ニ非ラス一定範圍ノ權限ニシテ權利ニ非ラス其ノ之レカ爲メニ有スルトコロノ命令權ハ職權ニシテ權利ニアラス凡テ國家ニ屬ス官廳ニ屬セス之レニ反シテ公共團體ハ國家ノ機關タルト同時ニ獨立ノ人格ナリ自我ノ存在ヲ有シテ獨立シテ行爲ノ源泉タリ其ノ機關トシテ處理スヘキ事務ハ又同時ニ人格タル自己ニ屬スル事務ナリ其ノ爲ストコロハ國家ノ行爲タルト同時ニ自己ノ行爲ナ

公共團體
ハ自治ヲ
行フ

リ其ノ處理スル事務ハ自己ニ屬スル義務タリ權利タリ命令ノ權ハ公共團體ニ屬ス之レヲ以テ公共團體ヲ官廳ト別ツナリ

公共團體ハ一方ニ於テ其ノ人格タル點ニ於テ之レヲ官廳ト別ツヘク他方ニ於テ其ノ國家ノ機關タル點ニ於テ他ノ人格ニ對シ特色ヲ有ス國家ノ内ニハ幾多ノ人格アリ然レトモ其ノ公共團體ニ非ラサル者ハ國家ノ機關ニアラスシテ其ノ生存ノ目的タル事務ハ國家行政ノ事務ニアラス國家行政ノ行動ノ依テ以テ發動スルトコロニアラスシテ其ノ行為ハ自己ノ行為ナレトモ國家ノ行為ニ非ス國家ノ機關トシテ國家ニ對シ職務ヲ有シ權限ヲ有スルコトナシ從テ命令權ヲ有セス命令權ヲ有スルコトハ國家行政ノ事務ヲ自己ノ生存目的タル事務トスル國家ノ機關タル公共團體ノ特色ナリ國家ノ内ニ在テ國家ノ事務ヲ自己ノ事務トシ命令權ヲ有スル人格ハ公共團體ノ外ニ在ルコトナシ斯クノ如キ人格ヲ公共團體トハ云フナリ

公共團體ハ國家ノ機關ナレトモ其ノ事務タル國家ノ事務ヲ自己ノ事務トスル人格ナリ公共團體ナル人格カ自己ノ事務トシテ國家ノ事務ヲ施行スルコ

公共團體
ハ國家ノ
監督ノ下
ニ立ツ

公共團體
カ人格ヲ
ル範圍ハ
法令ニ依
リテ定ル

トヲ自治ト云フコト前ニ之レヲ述ヘタリ自治行政ノ官治行政ト分ルル所以ハ之レヲ行フトコロノ機關カ人格ヲ有スルコトニ在リ即チ其ノ行フトコロヲ自己ノ事務トスルコトニ在リ公共團體カ法規ノ範圍内ニ於テ意思ノ獨立ヲ享有シ自己ノ生存目的タル國家公共ノ事務ヲ自ラ行フコトヲ自治ト稱ス然レトモ公共團體ハ人格タルト同時ニ國家ノ機關ニシテ其ノ自己ノ生存目的タル事務ハ即チ國家ノ事務ナルカ故ニ國家ノ監督ヲ受ケサルヘカラサルコト又前ニ之レヲ説ケリ公共團體カ國家ノ監督ヲ受クルハ其ノ國家ノ機關タル性質ニ本クモノナリ

公共團體ノ人格ハ法ノ與フル所ナリ其ノ人格ノ範圍モ亦タ法ニ依テ定マラサルヘカラス凡ソ人格ハ自我ノ存在ニシテ法カ其ノ自我ノ存在ヲ認ムル範圍ニ於テ人格タリ言ヲ換ヘテ之レヲ云ヘハ法カ其ノ獨立ノ目的ノ存在ヲ認ムル範圍ニ於テ人格ナリ之レヲ例ヘハ商事會社ノ人格ハ其ノ存在ノ基礎タル定款又ハ會社契約ニ定ムル目的ヲ以テ其ノ範圍ヲ限ラル之レヲ踰ユレハ人格ニ非ス此ノ範圍ニ於テ人格トシテ權利ヲ有シ義務ヲ負フナリ公共團體

モ亦然リ其ノ人格ハ其ノ生存ノ目的ヲ以テ其ノ範圍ヲ限ラレサル可ラス其ノ生存ノ目的ノ範圍ニ於テ人格タリ

公共團體ノ生存目的ハ國家公共ノ事務ヲ處理スルニ在リ然レトモ如何ナル國家公共ノ事務カ公共團體ノ生存目的トシテ其ノ人格ノ範圍ヲ定ムルヤハ一ニ法令ノ定ムルトコロ如何ニ依ル國家カ法令ヲ以テ一ノ公共團體ヲ創設シ其ノ人格ヲ附與セントスルニハ必ラス同時ニ之レカ生存ノ目的トシテ處理スヘキ事務ノ範圍ヲ一定シテ委任セサルヘカラス之レニ依リテ公共團體ノ目的ノ範圍定マリ人格ノ範圍定マル

一定ノ事項カ公共團體之レヲ處理スヘキ義務アリ又權利アリヤ否ヤノ問題ハ一ニ其ノ人格ノ範圍如何ニ依リテ定マル公共團體ノ人格ノ範圍ハ官廳ノ權限ト相似タリ之レヲ雖レテ公共團體ハ何等ノ行爲ヲモ爲スコトヲ得ス唯タ其ノ範圍ニ於テ權利ヲ有シ義務ヲ負フノミ

サレハ公共團體ノ人格ノ範圍ハ先ツ法令ニ定マラサルヘカラス公共團體ノ人格ノ範圍ハ一ニ法令ノ定ムルトコロニ依ル然レトモ法令ニ明文アルニ非

地方公共團體ノ事務ハ行政ノ範圍ニ屬スルニ依リテ其ノ範圍ヲ定ムルコトハ法律ニ依リテ之ヲ規定スルコトヲ得ヘキナリ我府縣制ハ府縣ヲ法人トシテ其ノ公共事務並ニ從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及ヒ將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理スル旨ヲ規定シ郡制ハ郡ヲ法人トシテ其ノ公共事務並ニ法律勅令ニ依リ郡ニ屬スル事務ヲ處理スル旨ヲ規定シ市制町村制ハ市町村ハ法律上一個人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡テ市町村ノ公共事務ヲ處理スル者タルコトヲ規定セリ之等ノ規定ハ地方公共團體ノ人格ノ範圍ヲ定メタル者ナリ其法律命令ニ依リ屬セシメタル事務ハ論スル迄モナク明白ナリ只タ其ノ公共事務ト云ヘルハ汎博ナル觀念ニシテ之レニ依リテ直チニ公共團體ノ事務ノ範圍ヲ定ムルコト能ハス公共事務ト云フハ公共團體ノ事務ト云フト異ナルコトナシ公共團體ノ事務ノ何タルハ之レニ依リテ知ルコト能ハス公共團體ハ國家ノ行政ヲ以テ自己ノ生存目的ト爲スモノナルコト之レヲ前ニ述ヘタリ去レハ公共團體ノ人格ノ範圍ハ之レヲ先ツ國家ノ行政

ラサレハ公共團體ノ人格ノ範圍定マルコトナシト云フヘカラス法令ニ明文ナシト雖モ公共團體ノ性質ト行政法規ノ全體ノ精神トニヨリ概シテ其ノ人格ノ範圍ハ之ヲ定ムルコトヲ得ヘキナリ我府縣制ハ府縣ヲ法人トシテ其ノ公共事務並ニ從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及ヒ將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理スル旨ヲ規定シ郡制ハ郡ヲ法人トシテ其ノ公共事務並ニ法律勅令ニ依リ郡ニ屬スル事務ヲ處理スル旨ヲ規定シ市制町村制ハ市町村ハ法律上一個人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡テ市町村ノ公共事務ヲ處理スル者タルコトヲ規定セリ之等ノ規定ハ地方公共團體ノ人格ノ範圍ヲ定メタル者ナリ其法律命令ニ依リ屬セシメタル事務ハ論スル迄モナク明白ナリ只タ其ノ公共事務ト云ヘルハ汎博ナル觀念ニシテ之レニ依リテ直チニ公共團體ノ事務ノ範圍ヲ定ムルコト能ハス公共事務ト云フハ公共團體ノ事務ト云フト異ナルコトナシ公共團體ノ事務ノ何タルハ之レニ依リテ知ルコト能ハス公共團體ハ國家ノ行政ヲ以テ自己ノ生存目的ト爲スモノナルコト之レヲ前ニ述ヘタリ去レハ公共團體ノ人格ノ範圍ハ之レヲ先ツ國家ノ行政

事務ニ屬スル範圍ニ限ラサルヘカラサルハ明ラカナリ問題ハ國家ノ事務ノ
 ウテ如何ナル事務ハ國家自ラ之レヲ直接ニ處理シ如何ナル事務ハ之レヲ公
 共團體ニ委シテ處理セシムルヤニ在リ
 抑モ地方公共團體ノ自治ナルモノハ其ノ主旨タル地方ノ人民ヲシテ自己ノ
 利益ニ直接ニ關シ國家全般ノ利益ニ直接ニ關係セサル行政ノ事務ヲ自ラ處
 理セシムルニ存ス國家行政ノ政策運用ノ上ヨリ之レヲ云フモ國家全般ノ利
 益ニ直接ニ關スル政務ハ之レヲ地方ノ自治ニ委スルニ適セス國家直接ノ行
 政トシテ之レヲ中央統一ノ機關ノ手ニ依リテ行フヲ當レリトス又國家全般
 ノ利益ニ直接ニ關スル政務ハ地方ノ自治ニ委シテ行フコト能ハサルノ性質
 ヲ有ス國家ノ行政組織カ集權ト分權トノ傾向ヲ併用シ自治ト官治ト共ニ行
 ハントスル制度ヲ取ルモノハ實ニ此ノ主旨ニ出テ國家全般ノ利益ニ直接ニ
 關スル政務ハ國家ハ官廳ヲ用キテ直接ニ之レヲ施行シ地方ノ利益ニ直接ニ
 關スル事務ハ地方公共團體ノ自治ニ委シテ行ハントスルモノナリ一ハ以テ
 政務ノ統一ト運用ノ敏活ヲ期シ一ハ以テ行政ノ適實ト德澤ノ普及ヲ求ムル

ナリ

去レハ之レヲ行政全體ノ組織ト公共團體自治ノ性質ニ見ルニ地方公共團體
 ノ目的人格ノ範圍ヲ定ムル事務ノ範圍ハ國家ノ事務ノウチ主トシテ地方ノ
 利益ニ直接ニ關係スル事務ニ在リテ國家全般ノ利益ニ直接ニ關係スル事務
 ニ在ラスト云ハサルヘカラス地方ノ利益ニ直接ニ關係スルト云フコトヲ更
 ラニ適切ニ云ハハ地方人民ノ利益ニ直接ニ關係スルト云フヘシ地方公共團
 體ノ生存目的タル事務ハ地方人民ノ利益ニ直接ニ關係スルトコロノ事務タ
 リ

地方公共
團體ノ事
務ノ範圍

國家ノ事務ノウテ如何ナル政務ハ之レヲ地方人民ノ利益ニ直接ニ關係スト
 爲スカ凡ソ國家ノ事務ハ大體之レヲ分テ外交、軍事、財政、司法及ヒ内務ト爲ス
 コト前ニ之レヲ述ヘタリ之レ等ノウテ外交及ヒ軍事ハ明カニ國家全般ノ利
 益ニ直接ニ關スルモノニシテ國ノ直接ニ行フヘキ政務ナリ之レニ伴フトコ
 ロノ財政事務モ亦タ國家ニ屬ス司法モ亦タ往時之レヲ自治ニ任シタルコト
 アリ現ニ之レヲ地方ノ事務トスル國モアリト雖モ今日ハ一般ニハ之レヲ國

家全般ノ利益ニ直接ニ關シ國家ニ屬スル政務ト見ルコトヲ得ヘシトセリ内務行政ノ事務ハ地方人民ノ利益ニ直接ニ關係ヲ有スヘキ政務ナリサレハ地方公共團體ノ事務ハ内務行政ノ區域ニ在リト云フコトヲ得ヘシ之レヲ要スルニ地方公共團體ノ事務タル性質ヲ有シ其ノ人格ノ範圍ニ屬スル事務ハ内務行政ノ區域ニ在リテ地方人民ノ利益ニ直接ニ關係スル事務ナリト云フコトヲ得ヘシ

然レトモ之レ推定セラレヘキ地方公共團體ノ事務ノ範圍ナリ此ノ外ニ法令ヲ以テ特ニ一定ノ事務ヲ地方公共團體ニ委任スルコトヲ得ルト共ニ此ノ範圍ノ内ニ在テモ法令ノ明文ニ於テ之レヲ除キ又ハ反對ノ意思カ推知セラルルナラハ地方公共團體ノ事務ニ屬セサルコト云フ迄モナシ内務行政ノウチ警察ノ事務ハ其ノ地方ニ特ニ關スル地方警察ニ限り之レヲ地方公共團體ノ事務トスルモノアリト雖モ吾カ市制町村制ハ警察ハ凡テ國ノ直接ノ行政トスル制度ヲ採ルモノノ如シサレハ地方公共團體ノ事務ハ内務行政ノ殘リノ部分タル助長行政ノ事務ニ限ルト云フヘシ助長行政ノ事務トハ人民ノ幸福

地方公共團體ノ範圍
格内ノ範圍
行政ノ助長
長官ノ限
事務ニ關ス

ヲ保護進捗スルコトヲ目的トスル行政ナリ即チ助長行政ニ屬スルコトヲ以テ地方公共團體ノ人格ノ範圍ヲ限ルヘシ之レ事物ノ實質ニ依ル事務ノ範圍ナリ人格ノ範圍ナリ此ノ他ニ地方公共團體ノ事務ハ土地ノ區劃ヲ以テ其ノ範圍ヲ限ラル地方公共團體ハ一定ノ區域ノ定マレル領土ヲ有ス此ノ領土ヲ出テテハ處理スヘキ事務アルコトナシサレハ地方公共團體ノ人格ノ範圍ヲ定ムル事務ハ其ノ區域内ノコトニ屬スルコトヲ以テ限界トス

土地ノ範圍
テ以テ
限界トス

公共團體
ノ命令權

公共團體ハ其ノ事務ヲ處理スルカ爲メニ國家ヨリ委任セラレタル命令權ヲ有ス其ノ命令權ハ法令ニ依リ國家ニ屬スル命令權ヲ委任シタルモノニシテ同時ニ人格ヲ有スル公共團體ニ屬スル命令權ナリ學者或ハ公共團體ノ命令權ヲ公共團體ニ固有ナルモノト國家ヨリ委任セラレタルモノトノ二種アルコトヲ論ス吾輩カ前キニ固有事務ト委任事務トノ區別ノ當ラサルコトヲ論シ公共團體ノ事務ハ凡テ國家ヨリ委任セラレタルモノニシテ同時ニ自己ニ屬スルモノナルコトヲ云ヘリシカ如ク其ノ命令權ニモ亦タ二種ノ區別アリ

公共團體
ノ分類

トナスコトヲ得ス凡テ國家ノ委任スルトコロニシテ之レニ依リテ公共團體
自己ニ屬スルモノナリ

地方公共
團體ト公
共組合

公共團體ニハ地方公共團體ト公共組合トノ二種アリ地方公共團體ハ地方行
政ノ爲メニ存在スル公共團體ニシテ公共組合ハ地方ナルコトニ關セスサレ
ハ地方公共團體ノ事務範圍ハ事物ノ性質ト土地ノ區域トニ依リ定マリ公共
組合ノ事務ノ範圍ハ事物ノ性質ノミニ依リ定マル公共團體ハ其ノ事物ノ性
質ト土地ノ區域トニ依リ限ラレタル範圍内ニ於テ人格ヲ有シ公共組合ノ人
格ノ範圍ハ其ノ生存ノ特種ノ目的ニ依リ定マルコト又前ニ之レヲ述ヘタリ
公共團體ヲ別テ二種トスル其ノ區別ハ其ノ事務ノ範圍カ土地ノ區域
ニ依リ限ラルルヤ否ヤノ點ニ在リ地方公共團體ハ國家ノ領土ノ一部ヲ限界
シテ其ノ事務ノ範圍ヲ限キル又ハ命令權ノ及フトコロハ一定ノ土地ノ區域
ノ内ニ限ラルル其ノ土地ノ區域内ニ在ラサレハ地方公共團體ノ命令權及フト
トナク又積極ニ其ノ土地ノ區域内ニ在テハ住民籍ノ有無ニ拘ハラス其ノ命
令權ヲ施スヘシ公共組合ハ斯クノ如キ領土ヲ有セス其ノ事務ノ範圍ハ唯々

普通地方
公共團體
ト特別地
方公共團
體

市町村

市町村ノ
事務

其ノ特種ノ目的ニ依リ定マルノミ而シテ其ノ命令權ノ及フハ其ノ組合員タ
ルコトヲ要件トス

地方公共團體ハ通常其ノ土地ノ區域内ニ置ケル公共事務ヲ一般ニ處理スル
コトヲ目的トス然レトモ特別ノ目的ノ爲メニ設置セラルル地方公共團體ア
リ前者ヲ普通地方公共團體ト爲シ後者ヲ特別地方公共團體ト爲ス其ノ事務
カ一般的ナルト特別ナルトヲ云フナリ吾國現行ノ地方制度ニ依レハ普通地
方公共團體ハ市町村及ヒ郡府縣ナリ一般ノ公共事務ヲ處理スルカ爲メニス
ル町村組合モ亦々普通公共團體ナリ特別地方公共團體ハ水利組合學校組合
郡組合等ノ如シ

市町村ハ最下級ノ地方公共團體ナリ其ノ目的ハ市町村ノ區域内ニ在リテ公
共事務ヲ處理スルコトニ存シ之レヲ以テ其ノ人格ノ範圍トス義務ノ範圍ト
ス命令權ノ範圍トス

市町村ノ事務ハ市町村人民ノ利益ニ直接ニ關係スル公共事務ヲ處理スルニ
在リ而シテ此ノ種ノ事務ノウチテ吾カ現行法ニ依リ市町村ニ屬スル事務ハ主

トシテ助長ノ事務ニシテ地方警察ノ事務ハ之レヲ市町村ニ委任セサルコト
 前ニ之レヲ述ヘタリ市町村ノ事務ハ主トシテ助長ノ事務ニ在リテ道路ノ敷
 設上下水道ノ設備等地方人民ノ利益ヲ増進センコトヲ圖ルニ在リ教育ニ關
 シテハ現行法ハ其ノ小學校ノ設備費用ニ關スル事項ヲ市町村ノ事務トスレ
 トモ學校ノ管理就學ノ督促等ノ事務ハ之レヲ市町村ニ委任セス其ノ他市町
 村ニ委任シタル事務ニ就テハ各種ノ行政ヲ論スルニ當リテ之レヲ述フヘシ
 之レ等ノ事務ノ爲メ要スル費用ヲ支辨スルカ爲メ自己ノ財政ヲ處理スルコ
 ト及ヒ自己ノ組織ヲ定メ機關ヲ設クルコトモ其ノ事務ニ屬スルコト廣ク公
 共團體ニ就テ述ヘタルカ如シ

國家ノ政務ハ或ハ之レヲ官廳ニ依リテ行ヒ或ハ之レヲ公共團體ニ依リテ行
 フ而シテ其ノ官治ト自治トニ政務ヲ分テ行フハ土地ノ區域ニ依ルニ非ラス
 事務ノ實質ニ依ルサレハ政務ノ普及ヲ期センカ爲メニハ國家ノ領土ハ凡テ
 市町村ニ區分セラレサルヘカラス苟クモ市町村ノ區域ニ屬セサル土地アラ
 ンカ或ル種ノ政務即チ市町村ニ委任シテ行フトコロノ政務ハ遂ニ此土地ニ

國家ノ領
 土ハ凡テ
 市町村ニ
 區分セラ
 レテ

市町村ノ
 境界

市町村ノ
 住民

行ハルル方法ナカルヘシサレハ國家ノ領土ハ凡テ市町村ニ屬セシムルコト
 近代ノ地方制度ノ精神タリ然レトモ諸國ニハ往往國家ノ領土ニシテ市町村
 ニ屬セサルモノアルコトヲ認ムルモノアリ之レヲ例ヘハ無人ノ地皇居離宮
 ノ敷地等ノ如シ獨逸ニ在テ市町村ノ外イハユル私領地ナルモノアリ私人ノ
 所有地ニシテ廣大ナルモノハ市町村ノ區域ニ屬セシメシテ市町村ト同シ
 地位ヲ有セシメ其ノ所有者ハ市町村ノ權利及ヒ義務ヲ有シ本人又ハ其ノ代
 表者ハ市町村長ノ職務ヲ行フ然レトモ此ノ場合ニハ此レ等ノ大地主ハ公法
 上ノ人格即チ公共團體タル權利義務ヲ有スルモノト見ルヘシ

市町村ハ一定ノ境界ヲ有スルコトヲ其ノ性質トス境界ハ市町村ノ事務ノ範
 圍ヲ定ムルモノニシテ其ノ命令權ノ行ハルル範圍限界ナリ市町村ノ境界ハ
 其ノ命令權ノ行ハルル範圍ヲ成スニ止マリ市町村ハ其ノ上ニ所有權ヲ有ス
 ルニ非ス又公法上ノ物權ト稱スヘキモノヲ有スルニ非ス
 市町村ハ其ノ住民ヲ團體員トシテ組織セラル何ヲ住民ト爲スカニ付テハ或
 ハ特別ノ行爲ヲ以テ之レヲ附與スル制度アリ市町村内ニ於テ土地ヲ所有ス

市町村ノ機關

郡及ヒ府縣ノ自治範圍ハ比シテ大ニ狭シ

ルコトヲ以テ住民タル資格ノ要件トスル制度アリ然レトモ吾カ市町村制ハ凡テ市町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ之レヲ市町村住民ト爲ス斯クノ如ク住居ヲ以テ市町村住民タルノ資格ノ要件ト爲スハ現今各國ニ行ハルルトコロナリサレハ市町村ノ境域ハ其ノ命令權ノ行ハルル範圍タルノミナラス住民タル資格ヲ有スルノ基礎タリ住民タル資格ハ市町村内ニ住居ヲ有セサルニ依リ消滅ス

市町村ノ事務タル自治行政ハ市町村ノ事務ヲ議決スルコトヲ掌ル機關ト之レヲ執行スルコトヲ掌ル機關トニ依リテ行ハル議決ヲ掌ル機關ヲ市町村會ト爲シ執行ヲ掌ル機關ヲ町村長市參事會ト爲ス

市町村ノ上級ニ位スル地方公共團體ヲ郡及ヒ府縣ト爲ス郡及ヒ府縣ハ其ノ自治ノ範圍市町村ノ下級地方公共團體ニ比シテ頗ル狭シ之レ郡及ヒ府縣ハ其發達市町村ニ比シテ頗ル遅ク多クハ始メヨリ自治體タルカ如キ形ヲ有シタルニ非スシテ法律ニ依リテ始メテ自治行政ヲ擔任スル獨立ノ公共團體タルニ至リシモノナレハナリ或ル國ニ在テハ郡府縣ヲ以テ單ニ之レヲ國ノ行

郡

府縣

郡及ヒ府縣ノ境域

政區劃トスルノミニシテ之レヲ以テ一ノ公共團體ト爲サス蓋シ郡及ヒ府縣ハ其ノ區域市町村ニ比シテ頗ル廣ク其ノ之レニ屬スヘキ行政事務ハ直接ニ國家全體ノ利害ニ關スルコト市町村ニ於ケルヨリモ廣クシテ深キモノアルカ故ニ或ハ之レヲ國ノ行政ノ區劃トシテ國家直接ノ行政ノ下ニ置クヲ當レリトスルノ理由ナキニアラス吾國ニ在テハ之レヲ一ノ地方ノ公共團體ト爲スト雖モ亦タ其ノ自治ノ範圍ヲシテ大ニ狭カラシメタル所以ナリ郡ハ從來ノ行政區劃トシテ郡ノ區域ニ依リ町村ヲ包括ス一ノ地方公共團體トシテ法律命令ノ範圍内ニ於テ公共事務竝ニ法律命令ニ依リ之レニ屬セシメラレタル事務ヲ處理ス

府縣ハ最上級ノ地方公共團體ナリ府縣從來ノ區域ニ依リ郡市及ヒ島嶼ヲ包括ス法律命令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務竝ニ從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及ヒ將來法律命令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理ス郡及ヒ府縣ハ一定ノ境域ヲ有ス其ノ境域ノ性質ハ市町村ニ於ケルト異ナルコトナシ其ノ事務ノ範圍ハ之レニ依リテ定マリ命令權ノ行ハルル區域タリ

之レ等ノ境域ハ同時ニ國ノ行政區劃ニシテ官廳タル郡長及ヒ知事ノ管轄區域タリ之レト混同スヘカラス

郡ノ區域ハ從來ノ區域ニ依リテ市制ノ行ハルル地ヲ除キ町村ヲ包括シ府縣ノ區域ハ從來ノ區域ニ依リ郡市及ヒ島嶼ヲ包括スルコト前ニ述ヘタルカ如シ

郡及ヒ府縣ノ住民

郡及ヒ府縣ノ團體員ハ其ノ住民ナリ其ノ包括スルコトコロノ町村郡市等ノ住民ヲ郡及ヒ府縣ノ住民トス郡府縣制ニハ特別ニ之レカ住民ニ關スル規定ヲ置カス市町村ノ住民ヲ直チニ住民トスレハナリ

郡及ヒ府縣ハ其ノ住民ヲ以テ組織スルモノニアラス郡ハ其ノ包括スルコトコロノ町村ヲ分子ト爲シ府縣ハ其ノ包括スル郡市ヲ分子トス町村郡市ナル法人カ郡及ヒ府縣ヲ構成スルモノナリト論スルハ往往ニシテ聞クトコロナリ然レトモ郡及ヒ府縣カ有スルトコロノ自治權ニ依ル命令權ハ之レヲ町村及ヒ郡市ニ對シテ行ハルルト見ルヨリモ矢張り其ノ住民ニ對シテ行ハルルモノニシテ住民カ直接ニ命令權ノ支配ヲ受クルモノナリト見ルヲ郡府縣制ノ

郡及府縣ノ機關

穩當ナル解釋トスルカ如シ或ハ町村及ヒ郡市カ組成員ナルノ結果トシテ郡會府縣會ハ町村郡市ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ組織シ郡ノ費用ハ町村ノ負擔トシテ之レヲ徵收スルハ又以テソノ住民組成員ニ非サルコトヲ證スルニ足ルト爲ス者アリ然レトモ之レトモ一ハ選舉ノ便宜ノ爲メニスル方法ニ過キス一ハ郡費賦課ノ方便形式ニ止ルト見レハ可ナリ之レヲ以テ町村郡市カ郡府縣ノ組成員タル證左ト爲スニハ未タ足ラスト云フヘシ
郡及ヒ府縣ノ事務モ亦タ議決機關ト執行機關トノ二ツニヨリテ處理セララル郡ノ議決機關ヲ郡會及ヒ郡參事會ト爲シ府縣ノ議決機關ヲ府縣會及ヒ府縣參事會ト爲ス

第三節 行政裁判

法治國ノ原則ハ行政裁判ノ制度ニ依テ完成ス——公法上ノ權利ノ確立ハ獨立ナル行政裁判アルアリテ始メテ完キナリ得——獨佛行政裁判制度ノ沿革——行政裁判ハ司法裁判ノ外ニ在リ——行政裁判ト司法裁判トノ區別——行政裁判ト民事ノ裁判——行政裁判ト刑事ノ裁判——先決問題トシテノ行政事項ノ決定ハ司法裁判所ニ屬スル乎——行政裁判ハ實質上行政行爲ニ非ス——行政裁判ハ裁判ナリ——行政裁判ノ目的ハ法ノ維持ニシテ常ニ必スシモ權利ノ保護ニ非ス——自